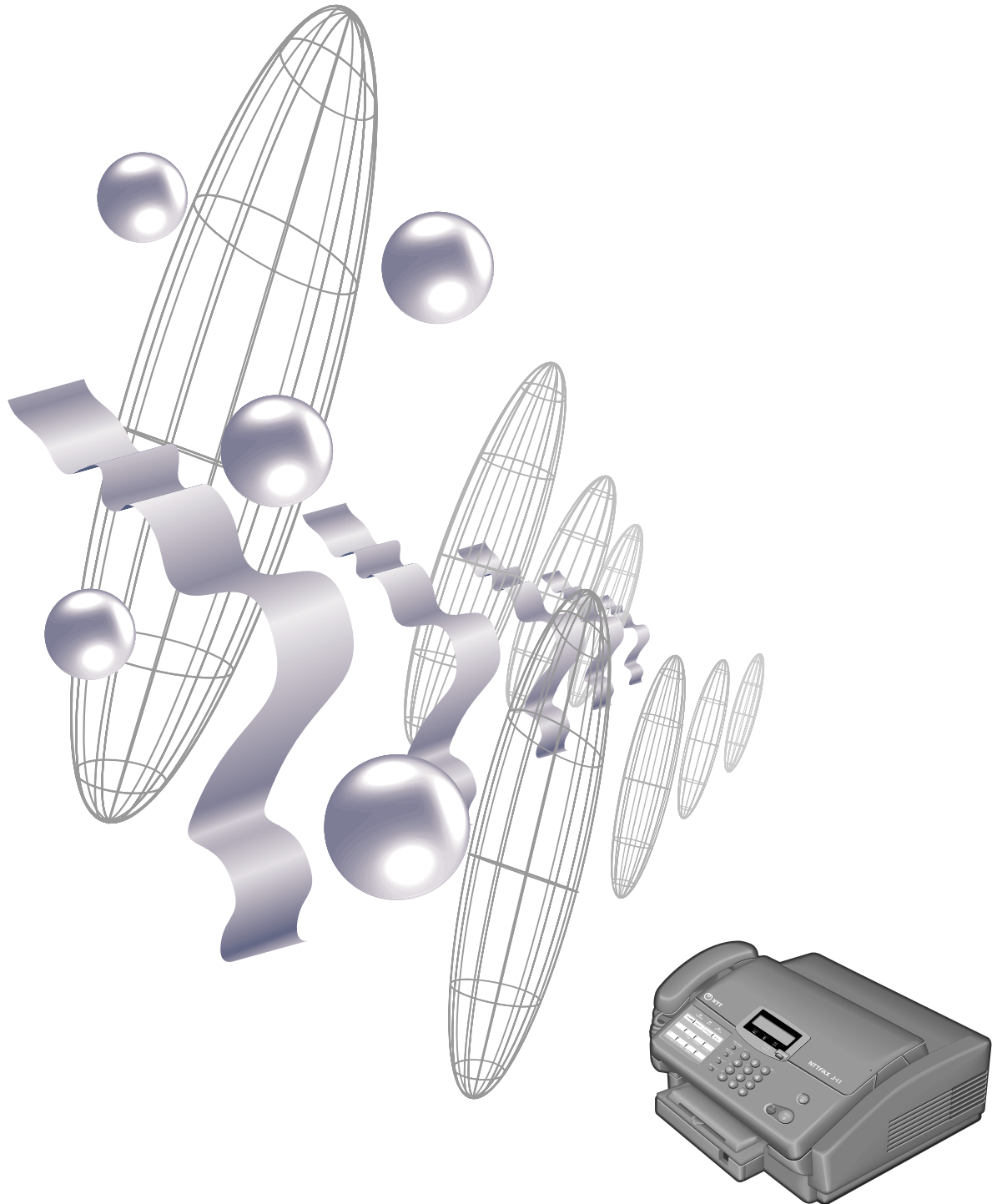


取扱説明書

NTTFAX J-11

Dナンバー・ディスプレイ対応



このたびはNTTFAX J-11をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手元に置いてお使いください。



1
お使いになる前に

2
電話をかける／
受ける

3
ファックスを送る／
受ける

4
コピーをする

5
電話番号や名前を
登録して使う

6
プリンタ／スキャナ
として使う

7
ナンバー・ディス
プレイを利用する

8
より便利に使っ

9
登録／設定の
操作一覽

10
こんなときは






安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお願いします。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本装置を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本装置を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本装置の外付け電話機用差込口は、一般加入電話回線の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。

本装置と一般加入電話回線の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが一般加入電話回線の仕様と完全には一致していないため、本装置が正常に動作しないことがあります。

本装置の故障、誤操作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、ファクスの送受信、通話、録音などの機会を逸したため生じた損害や万が一、本装置に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本装置に登録された情報内容は別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。

本装置を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。

本装置を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。

本装置は、お買い求めのときには国内の相手の方と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認してください。正常に通信できないときは、設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので当社のサービス取扱所へご相談ください。

操作ガイドを使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

警告

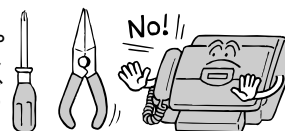
万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本装置の電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、本装置を落としたり、キャビネットを破損した場合、本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

万一、内部に水などが入った場合は、本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

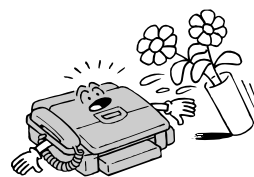
インクカートリッジの交換や紙づまり、お手入れなどで開閉部などを開けたときに、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。異物を落とした場合は、まず本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて取り除いてご使用ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本装置を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所へご依頼ください。



本装置のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。

本装置のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



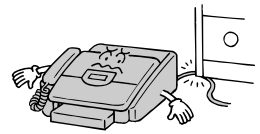
安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

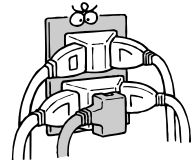
電源コードは、必ず付属のものをお使いになり、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。



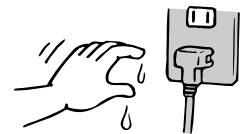
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。



テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



ぬれた手で本装置を操作したり、電池を交換しないでください。感電の原因となることがあります。



電源コードをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

- アース線が取り付けられるところは以下の部分です。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片などを65 cm以上、地中に埋めたもの
 - 接地工事（第3種）が行われている接地端子
- 以下のようなところには、絶対にアース線を取り付けしないでください。
 - ガス管
 - 電話専用アース線
 - 避雷針
 - 水道管や蛇口



警告

本装置を 構内交換機（PBX）等 に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本装置は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

電源コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本装置の電源を切り、電源プラグを抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。

電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

インクカートリッジは火の中に絶対に投げないでください。爆発したり激しく燃えて、火災ややけどの原因となることがあります。使用後のインクカートリッジはビニール袋などに入れて燃えないゴミとして処理してください。

電池は、充電、ショート、分解、変形、加熱、火に入れるなどしないでください。この電池は、リチウム、有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、発火、発熱、破裂の原因となることがあります。

電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池と混ざると発火、破裂の原因となることがあります。

電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。万一、飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

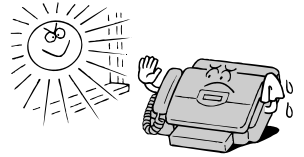
安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 注意

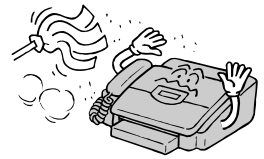
お使いになる前に

設置環境

直射日光の当たるところや、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。



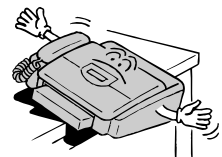
調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



以下のことを必ず守ってください。電池の取り扱いを間違えると、漏液や破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となることがあります。

- プラス(+)、マイナス(-)を正しく入れてください。
- 新しい電池と使用した電池、他の種類の電池を混ぜて使わないでください。
- 電池に直接はんだ付けしないでください。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



本装置のまわりには物を置かないでください。原稿づまりや記録紙づまりの原因となることがあります。

本装置の底面部は放熱のため温度が上昇しますのでカーペットやソファなどの上に設置しないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。

本装置底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

! **注意**

お使いのとき

近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。



本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

インクカートリッジのインクを飲んだりなめたりしないでください。飲んだりなめたりすると身体に害を及ぼし、病気の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

インクカートリッジの交換や紙づまりなどで開閉部などを開けるときは、突起物に引っかけたり、開閉部で手を挟むとけがの原因となることがあります。

本装置に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

小さなお子様が原稿挿入口から、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

原稿の読み取り中は、髪の毛やネックレスなどがローラに巻き込まれないようご注意ください。巻き込まれるとけがや本装置の故障の原因となることがあります。

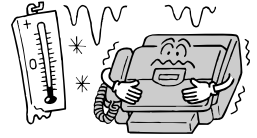
安全にお使いいただくために必ずお読みください

STOP

お願い

置き場所について

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本装置が正常に動作しないことがあります。



寒い場所や結露の発生しやすい場所に置かないでください。誤動作の原因となることがあります。

高温、多湿、低温の場所には置かないでください。
いつも良い条件でお使いいただける環境の範囲は以下のとおりです。

温度 5 ~ 35
湿度 15 ~ 85 %

以下のようなところには置かないでください。

- クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所
- ほこりや振動が多い場所
- 換気の悪い場所
- 揮発性可燃物やカーテンに近い場所

本装置の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。
このような現象が本装置の影響によると思われる場合は、本装置の電源をいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以下のような方法を試みてください。

- 本装置をテレビなどから遠ざける。
- 本装置またはテレビなどの向きを変える。

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコンなど）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。



硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本装置の寿命が短くなる場合があります。

STOP

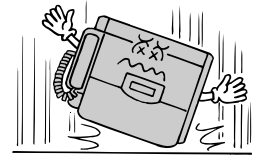
お願い

取り扱いについて

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください（本装置の変色や変形の原因となることがあります）。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



電源プラグを抜いたままにしないでください。

- ファクスを送受信することができません。
- 電池の寿命が短くなります。

通信やコピーなどの動作中に電源を切ったり、電源プラグを抜いたり、本装置の開閉部を開けたりしないでください。故障の原因となることがあります。

本装置は傾けないようにしてください。正常に動作しない場合があります。

使用中のインクカートリッジを機器より取り出し、放置しないでください。放置したままにすると中でインクが固まるなどして、記録不良の原因となります。

使用期限を過ぎているインクカートリッジを使用しないでください。中でインクが固まるなどして、記録不良の原因となります。

インクカートリッジは常温で保存してください。高温すぎたり低温すぎたりすると、インクが変化するなどして、記録不良の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

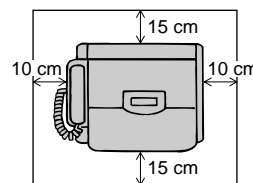
STOP

お願い

取り扱いについて

記録紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の記録紙をお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。

本装置の操作、消耗品の交換、日常点検など、本装置を正しく使用し機能を維持する作業を行うために、図のようなスペースを確保してください。



STOP

お願い

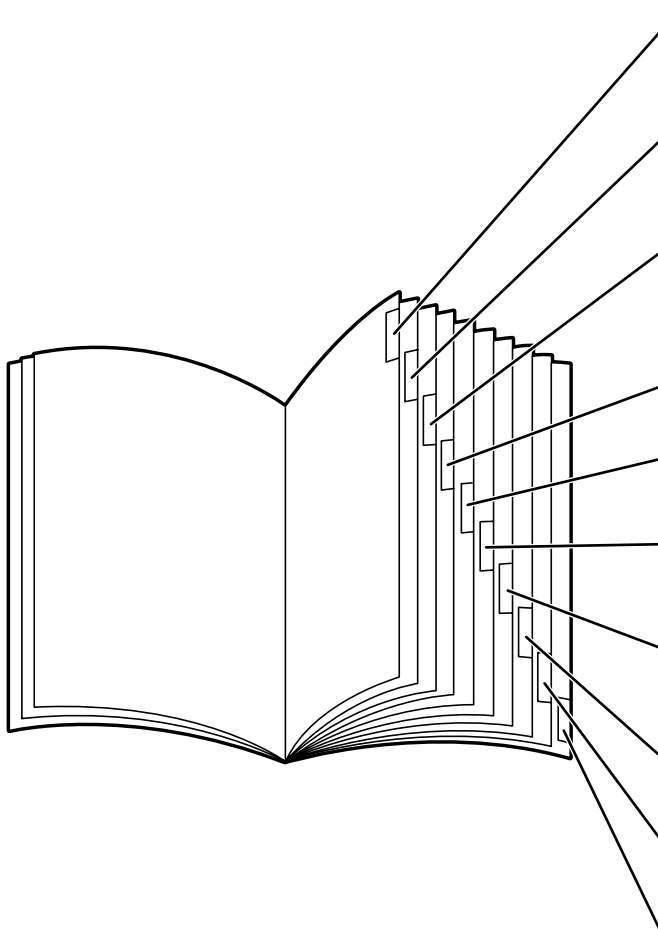
その他

キャッチホンサービスをご契約になる場合には、以下の点にご注意ください。

- ファクスの送信や受信中に、他の方から電話がかかってくると、画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
- また上記の場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんのでご了承ください。
- なお、キャッチホンサービスをご利用になり、割り込み音の回数を「0」回に設定していただくと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。

この取扱説明書の見方

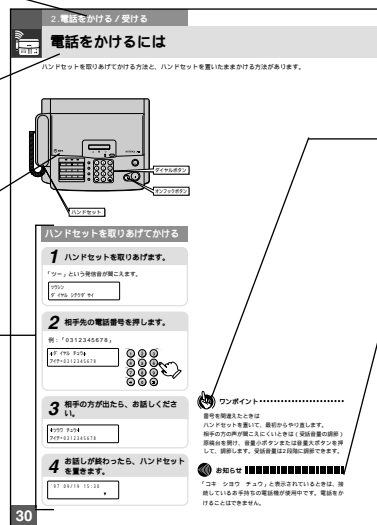
この取扱説明書の構成



- 1** お使いになる前に
 お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。
- 2** 電話をかける / 受ける
 電話をかけたたり、受けたりする基本機能について説明しています。
- 3** ファクスを送る / 受ける
 原稿のセットのしかたや原稿についての注意事項、ファクスを送ったり、受けたりする基本機能について説明しています。
- 4** コピーをする
 コピーする方法について説明しています。
- 5** 電話番号や名前を登録して使う
 電話番号や名前を登録する手順を説明しています。
- 6** プリンタ / スキャナとして使う
 プリンタ / スキャナとして使うための手順を説明しています。
- 7** ナンバー・ディスプレイを利用する
 ナンバー・ディスプレイを利用するための手順を説明しています。
- 8** より便利に使う
 便利な機能の使い方について説明しています。
- 9** 登録 / 設定の操作一覧
 各種機能の登録 / 設定の手順を説明しています。
- 10** こんなときには
 付属品の説明、または故障かなと思ったときの確認方法などを説明しています。

操作説明のページの構成

- 章タイトル**
 この章のタイトルです。
- タイトル**
 目的ごとにタイトルが付けられています。
- 正面図**
 操作で使うボタンなどの位置を示します。
- 操作手順説明**
 順番に操作を説明しています。



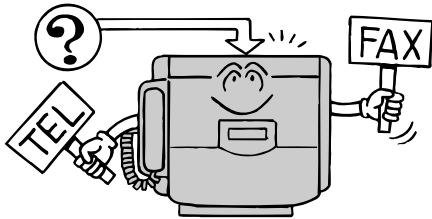
- ワンポイント**
 本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。
- お願いまたはお知らせ**
<お願い>
 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。
<お知らせ>
 この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

特 長

ファクスと電話を自動的に切り替えることができます

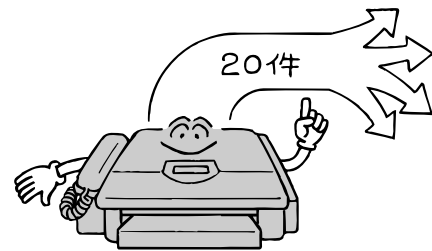
電話優先

相手に合わせて、自動的にファクスと電話を切り替えます。自動送信のファクスは自動受信、電話の場合は呼出音を鳴らします。(●P48)



同じ原稿を複数の相手先に送信できます
順次同報送信

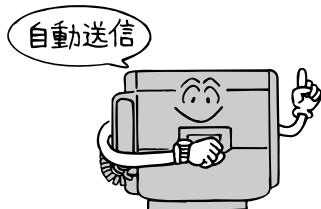
一度の操作で最大20か所の相手先に、同じ原稿を送信することができます。(●P76)



指定した時刻にファクスを自動送信することができます

タイマ送信

あらかじめ指定した時刻に、原稿を送信することができます。通信料金の安い夜間や留守中の送信に、ご利用になれます。(●P80)



受信したファクスをすぐにプリントしないでメモリに保存しておくことができます

メモリ受信

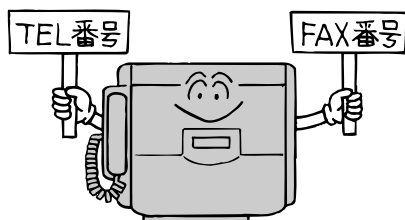
受信したファクスをメモリに保存して、あとでまとめてプリントすることができます。大切な文書を受信したとき、他人の目に触れる心配がありません。また、外出先のファクスから取り出すこともできます。(●P88、89)



1本の電話回線で電話専用番号とファクス専用番号を登録できます

ダイヤルイン

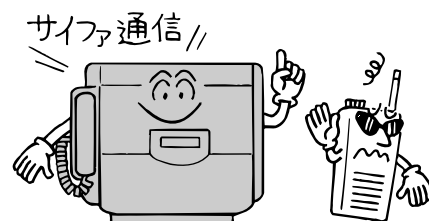
ダイヤルインサービスをご契約になると、1本の電話回線に電話用の番号とファクス用の番号を登録して、電話とファクスをスムーズに使い分けることができます。(●P93)



通信の秘密を守ることができます

サイファ通信

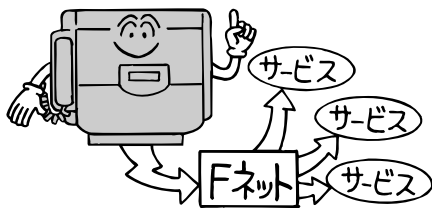
当社独自の暗号化方式で、原稿を暗号化して通信します。16桁のサイファキーが一致しないと、たとえ盗聴されても原稿の解読はできません。(●P98)



Fネット（ファクシミリ通信網）サービスをご利用になれます

Fネットアクセス

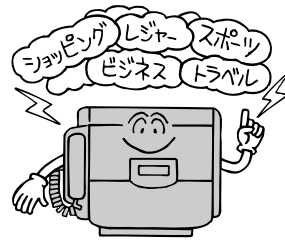
NTTコミュニケーションズのFネット（ファクシミリ通信網）サービスをご契約になると、同報通信、夜間配送、親展通信などのサービスを、簡単な操作でご利用になれます。（●P106）



各種情報サービスを簡単な操作で取り出すことができます

FAX情報取出アシスト

各種サービス機関が提供しているサービスを簡単な操作でご利用になれます。（●P96）



本を送信、コピーすることができます

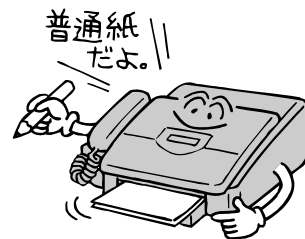
ブックフィーダ

ブックフィーダで本などの厚い原稿を読み取り、コピーや送信をすることができます。（●P54）



インクジェット方式による普通紙記録

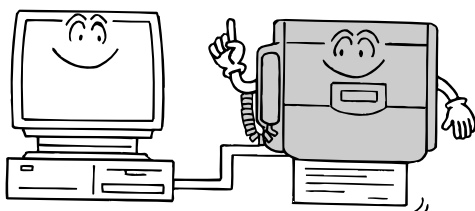
普通紙なので受信した原稿やコピーはそのまま保存、書き込みをすることができます（蛍光ペンなどを使って記入するとインクがにじむことがありますのでご注意ください）。



プリンタまたはスキャナとして使うことができます

プリンタ・スキャナ

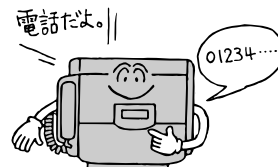
FAXモデムの付いているパソコンや電子手帳などのプリンタまたはスキャナとして使うことができます。プリンタやスキャナのスペースを取りません。（●P67）



電話をかけた方またはファクスを送った方の電話番号（ファクス番号）などを、受信側のディスプレイに表示させることができます

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）

ナンバー・ディスプレイをご契約になると、電話に出る前に相手の方の電話番号を確認できるなど、便利な機能を利用することができます。（●P70）



目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください・・・ 2
この取扱説明書の見方・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

1 お使いになる前に



セットを確認してください・・・・・・・・・・・・ 17
各部の名前・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
ファクスを接続します・・・・・・・・・・・・・・ 21
電話回線の種別を合わせます・・・・・・・・・・ 22
記録紙をセットします・・・・・・・・・・・・・・ 23
インクカートリッジをセットします・・・・・・・・ 24
日付 / 時刻を合わせます・・・・・・・・・・・・ 25
自分の名前と電話番号を登録します
（発信元データ / ID番号）・・・・・・・・・・ 26
発信元データを登録する・・・・・・・・・・・・ 26
ID番号（電話番号）を登録する・・・・・・・・ 26
文字を入力するには・・・・・・・・・・・・・・ 28
文字入力の例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

2 電話をかける / 受ける



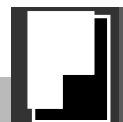
電話をかけるには・・・・・・・・・・・・・・ 30
 ハンドセットを取りあげてかける・・・・ 30
 ハンドセットを置いたままかける
 （オンフックダイヤル）・・・・・・・・・・ 31
電話がかかってきたときは・・・・・・・・・・ 32
相手の方に待っていただくには（保留）・・・・ 33
同じ相手にかけ直すには（再ダイヤル）・・・・ 34
プッシュホンサービスを利用するには
（DP PB切替）・・・・・・・・・・・・・・ 35
ファクスとお手持ちの電話機でお話しするには
（親子電話）・・・・・・・・・・・・・・ 36
 ファクスからお手持ちの電話機を呼び出す・・・ 36
外からの電話を取りつぐには（保留転送）・・・・ 38
 ファクスからお手持ちの電話機へ取りつぐ・・・ 38
留守番電話機を接続して使うには・・・・・・・・ 40

3 ファクスを送る / 受ける



原稿をセットするには・・・・・・・・・・・・・・ 42
原稿に合わせて画質を選ぶには・・・・・・・・ 44
電話で話しをしてからファクスを送るには
（手動送信）・・・・・・・・・・・・・・ 45
話しをしないでそのままファクスを送るには
（自動送信）・・・・・・・・・・・・・・ 46
同じ相手先に送り直すには（再ダイヤル送信）・・・ 47
受信モードを選ぶには・・・・・・・・・・・・ 48
 自動受信・・・・・・・・・・・・・・ 48
 手動受信・・・・・・・・・・・・・・ 49
 おやすみ受信・・・・・・・・・・・・ 49
 留守受信・・・・・・・・・・・・・・ 49
電話で話しをしてからファクスを受けるには
（手動受信）・・・・・・・・・・・・・・ 50
お手持ちの電話機でファクスを受けるには
（リモート受信）・・・・・・・・・・・・・・ 51

4 コピーをする



コピーするには・・・・・・・・・・・・・・ 52
本や厚い原稿を読み取るには
（ブックフィーダ）・・・・・・・・・・・・・・ 54

5 電話番号や名前を登録して使う



電話番号や名前を登録するには・・・・・・・・ 56
 ワンタッチダイヤルを登録する・・・・・・ 56
 短縮ダイヤルを登録する・・・・・・・・・・ 58
 グループダイヤルを登録する・・・・・・ 60
登録した電話番号で電話をかけるには・・・・ 62
 ワンタッチダイヤルで電話をかける・・・・ 62
 短縮ダイヤルで電話をかける・・・・・・ 62
 電話帳ダイヤルで電話をかける・・・・・・ 63

目次

登録した電話番号でファクスを送るには	64
ワンタッチダイヤルでファクスを送る	64
短縮ダイヤルでファクスを送る	65
電話帳ダイヤルでファクスを送る	66

6 プリンタ/スキャナとして使う



プリンタ/スキャナとして使うための 準備をするには	67
プリンタとして使うには (PCプリント)	68
スキャナとして使うには (PCスキャナ)	69

7 ナンバー・ディスプレイを利用する



ナンバー・ディスプレイを利用するには	70
電話をかける/ファクスを送るとき	70
電話がかかってきた/ファクスが 送られてきたとき	70
サービスを利用した便利な機能	71
かけてきた方にこちらからかけ直すには	73

8 より便利に使う



送信の便利な機能を使うには	74
メモリに記憶させて送信する (メモリ送信)	74
複数の相手先に送信する (順次同報送信)	76
他の送信に割り込んで送信する (優先通信)	78
送信を予約する (送信予約)	79
指定した時刻に送信する (タイマ送信)	80
送付書を付けて送信する (送付書送信)	82
海外に送信する (海外通信)	84
よく使うモードをホームポジションとして設定する	85

受信の便利な機能を使うには	88
受信したファクスをメモリに保存する (メモリ受信)	88
メモリ受信の原稿を外出先で取り出す (メモリ受信リモート取り出し)	89
相手先を選んで受信する (セレクト受信)	90
設定した時刻に受信モードを切り替える (受信モードタイマ切替)	90
2枚の原稿を1枚の記録紙にプリントする (ページ合成受信)	91
プリンタの設定をする	91
チャイルドロックするには (チャイルドロック)	92
チャイルドロックをセットする	92
チャイルドロックを解除する	92
ファクス番号と電話番号を使い分けるには (ダイヤルインサービス)	93
受信側の操作で通信を行うには (ポーリング通信)	94
ファクシミリ情報サービスを利用するには (FAX情報取出アシスト)	96
原稿を暗号化して送信/受信するには (サイファ通信)	98
通信の結果を指定した内線電話に知らせるには (送受信通知)	102
Fネット (ファクシミリ通信網) を利用する には (Fネットアクセス)	106

9 登録/設定の操作一覧



レポートやリストをプリントする (リストプリント)	110
通信管理レポート/ダイヤルリスト/ パラメータリスト	110
受信関連の設定をする (ジュシンモード)	112
自動受信/留守受信/受信モードタイマ切替/ ダイヤルイン/モデムダイヤルイン	112

ダイヤル登録をする (ダイヤルトウロク).....	114
ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル /	
グループダイヤル / ダイヤルリスト	114
レポートの設定をする (レポートセッテイ).....	116
通信結果レポート / 通信管理レポート	116
機能の設定をする (キノウセッテイ).....	117
リモート受信 / セレクト受信 / オンフック	
受信 / メモリ受信 / ページ合成受信	117
送受信通知 / 親子電話 / PC接続 /	
リモートメンテナンス / 発信番号機能	118
装置の設定をする (ソウチセッテイ).....	120
発信元記録 / ホームポジション /	
留守録無音検出	120
プリンタの設定をする (プリンタセッテイ).....	122
自動縮小 / 切り捨て / 分割重ね書き /	
エコノミーモード	122
各種の登録をする (トウロクモード).....	123
時計設定 / 発信元データ / ID番号 /	
ポーリングパスワード / メモリ受信	
リモート取り出し用パスワード /	
ベル回数 / 自動再ダイヤル	123
サイファ通信関連の登録をする	
(サイファトウロク).....	124
サイファキー登録 / サイファキー登録用	
暗証番号 / サイファキーリスト	124

10 こんなときには



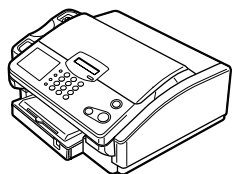
通信の予約を解除するには.....	126
原稿がつまったら	128
記録紙がつまったら	129
インクカートリッジを交換するには	130
電池を交換するには	131
お手入れするには	132
宛先カード、消耗品 / 別売品について	134
停電になったときは	135
故障かな?と思ったら.....	136
主なエラー番号	139
主な仕様	140
保守サービスのご案内	141
索引	142



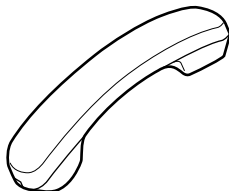
セットを確認してください

以下の物がそろっているか、確かめてください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などには、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

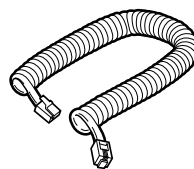
本体（一式）



ファクス本体

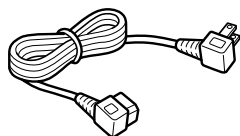


ハンドセット

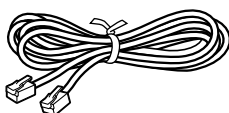


ハンドセットコード

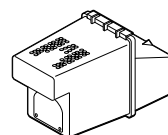
付属品



電源コード（1本）



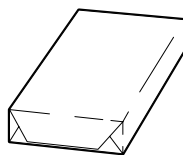
電話機コード（1本）



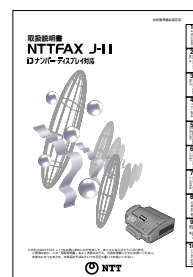
インクカートリッジ B 1個



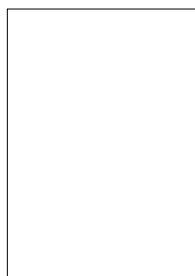
電池（1個）



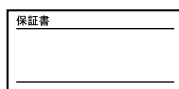
記録紙（50枚）1包



取扱説明書 1部



工事説明書 1枚



保証書 1枚



「NTT通信機器お取扱相談センター」シール 1枚

1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 ファクスを送る／受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

6 プリンタ／スキャナとして使う

7 ナンバー・ディスプレイを利用する

8 より便利に使う

9 登録／設定の操作一覧

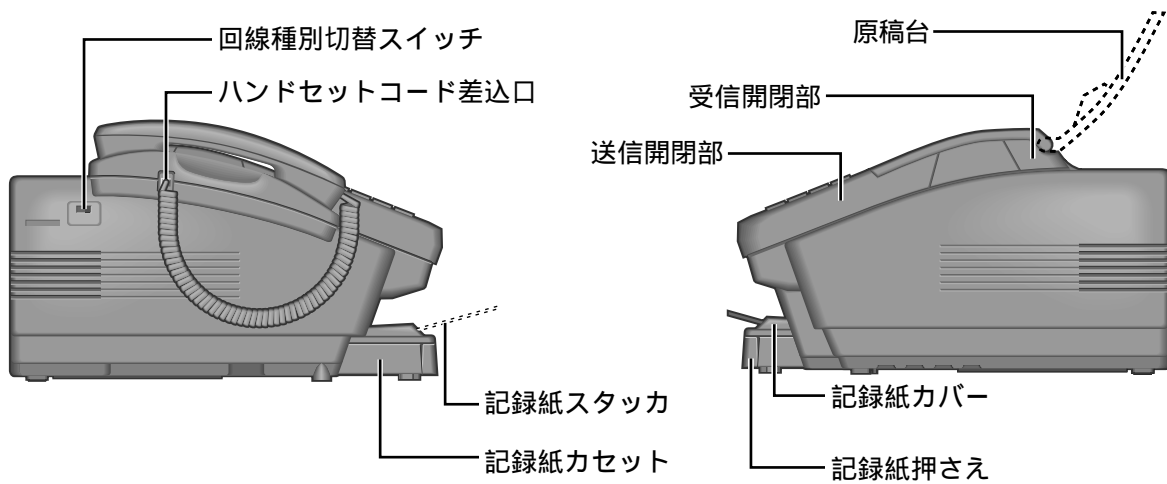
10 こんなときには

各部の名前

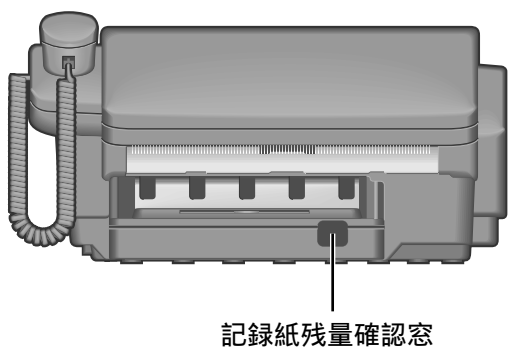
ファクス本体



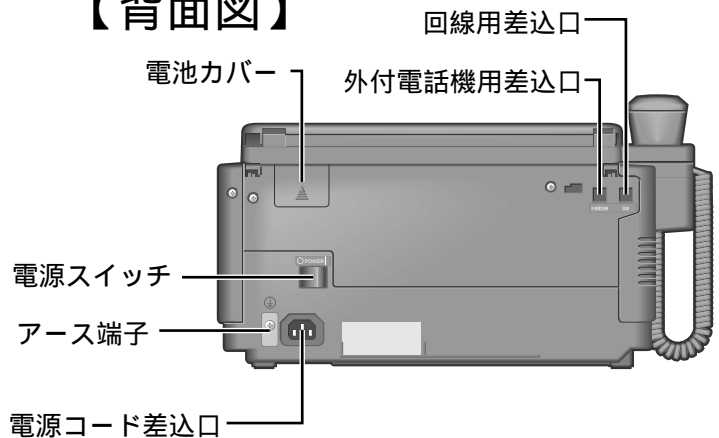
【側面図】



【前面図】



【背面図】



【操作パネル】

受信モードボタン

受信モードを選ぶときに使います。(●P48)

音量小 / < ボタン

呼出音やモニタ音を小さくするとき(●P31、32) またはカーソルを左に動かすときに使います。

音量大 / > ボタン

呼出音やモニタ音を大きくするとき(●P31、32) またはカーソルを右に動かすときに使います。

チャイルドロックボタン

チャイルドロックを設定または解除するときに使います。(●P92)

短縮 / 電話帳 / ハイフンボタン

短縮ダイヤルをするとき(●P62) 電話帳ダイヤルをするとき(●P63) またはハイフンを入力するときに使います。

再ダイヤル / スペースボタン

最後にダイヤルした相手に、もう一度ダイヤルするとき(●P34) またはスペースを入力するときに使います。

子機 / クリアボタン

接続したお手持ちの電話機とお話しをするとき(●P36) または入力した文字や数字を訂正するときに使います。

保留 / ポーズボタン

外の相手の方に待っていただくとき(●P33) または電話番号の間に待ち時間(ポーズ)を入れるときに使います。

画質ボタン

画質を選ぶときに使います。(●P44)

モード選択ボタン

通信やコピー、ブックフィーダで原稿を読み取るときに使います。

ストップボタン

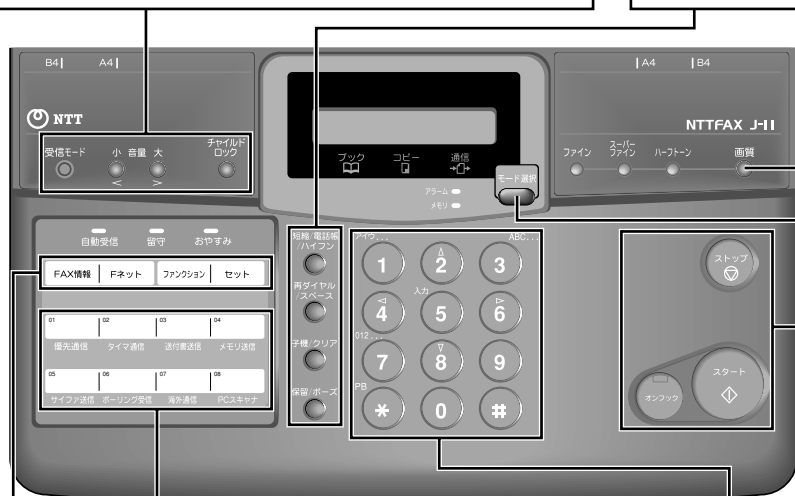
操作を中止するときや、アラーム音を止めるときに使います。

スタートボタン

ファクスの送信や受信をするときに使います。

オンフックボタン

受話器を置いたままダイヤルするときに使います。(●P31)



FAX情報ボタン

FAX情報取出アシストをご利用になるときに使います。(●P96、97)

Fネットボタン

Fネットアクセスをご利用になるときに使います。(●P108)

ファンクションボタン

登録などの操作をするときに使います。

セットボタン

確定するときに使います。

ダイヤルボタン

電話をかけたり、登録するときに使います。

(*)、(#) ボタンは通常のダイヤル発信以外の新しいサービスに使用する機能ボタンです。

また、ダイヤル回線をお使いの場合、PB信号(ピッポッパッ)を送出するときに(*) ボタンを使います。(●P35)

ワンタッチボタン

ワンタッチダイヤルするとき(●P62) や、FAX情報の取り出しをするとき(●P97) に使います。

優先通信ボタン

優先通信をするときに使います。(●P78)

タイマ通信ボタン

タイマ通信をするときに使います。(●P80)

送付書送信ボタン

送付書送信をするときに使います。(●P82)

メモリ送信ボタン

メモリ送信をするときに使います。(●P74)

サイファ送信ボタン

サイファ送信をするときに使います。(●P100)

ポーリング受信ボタン

ポーリング受信をするときに使います。(●P94)

海外通信ボタン

海外通信をするときに使います。(●P84)

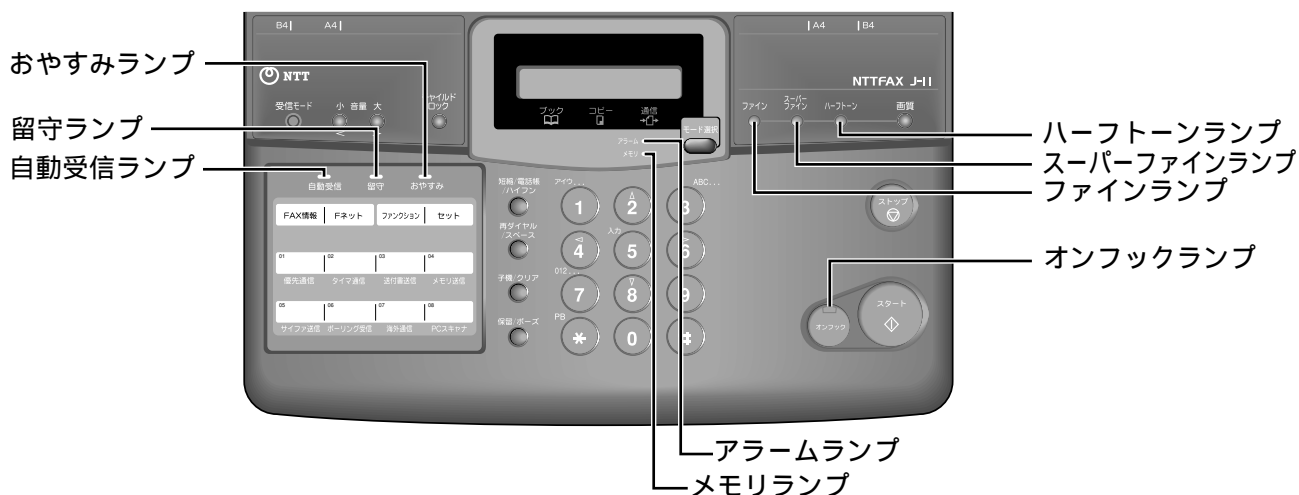
PCスキャナボタン

スキャナとして使うときに使います。(●P69)



各部の名前

【ランプ表示】



ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

ランプの点灯



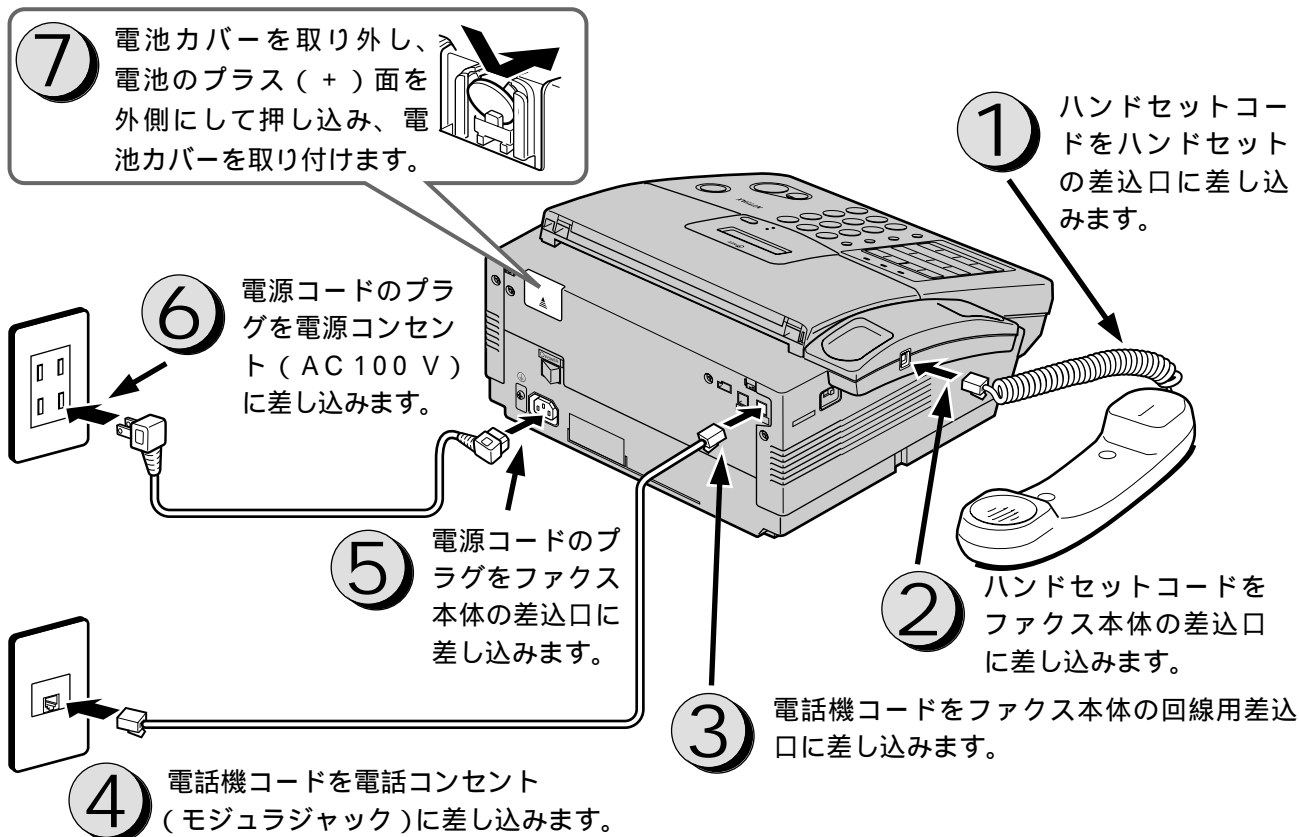
ランプの点滅



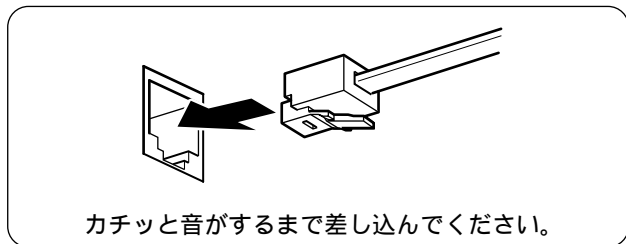
ランプの種類	ランプのつき方 (色)	ファクス本体の状態
自動受信ランプ	点灯 (緑)	自動受信のとき
留守ランプ	点灯 (緑)	留守受信のとき
おやすみランプ	点灯 (緑)	おやすみモードのとき
ファインランプ	点灯 (緑)	画質がファインのとき
スーパーファインランプ	点灯 (緑)	画質がスーパーファインのとき
ハーフトーンランプ	点灯 (緑)	画質がハーフトーンのとき
アラームランプ	点灯 (赤)	記録紙がなくなったときや通信異常のとき、または開閉部を開けたとき
メモリランプ	点灯 (緑)	保存原稿があるときや、原稿を蓄積中のとき
オンフックランプ	点灯 (赤)	 ボタンを押したとき
	点滅 (赤)	保留中のとき

ファクスを接続します

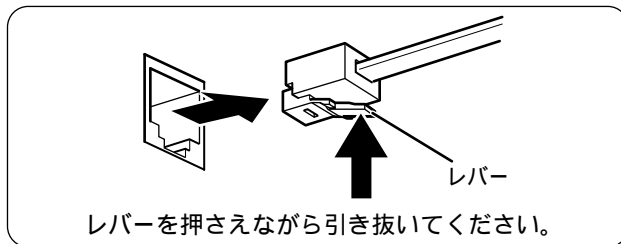
電話回線のコンセントがモジュラジャック式でないときは工が必要です。局番なしの116番（無料）または当社営業所へご相談ください（工事には工事担任者資格が必要です）。
本装置をご使用にあたって、当社のレンタル電話機が不要になった場合は、局番なしの116番（無料）または当社営業所へご連絡いただければ、「機器使用料」は不要となります。



ハンドセットコードや電話機コードを差し込むとき

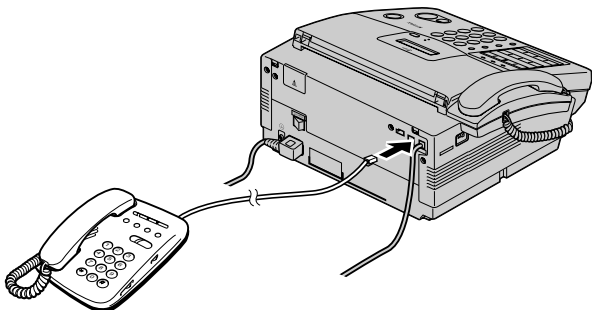


ハンドセットコードや電話機コードを引き抜くとき



お手持ちの電話機との接続

お手持ちの電話機を接続するときは、接続する電話機に付属の電話機コードを、外付電話機用差込口に差し込みます。



STOP お願い

同じ回線に他の電話機を接続しないでください。正常に動作しない場合があります。
電源スイッチは、インクカートリッジをセットしたあとに「I」（入）にしてください。（P 24）

警告

電源コードは、必ず付属のものをお使いになり、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

電話回線の種別を合わせます

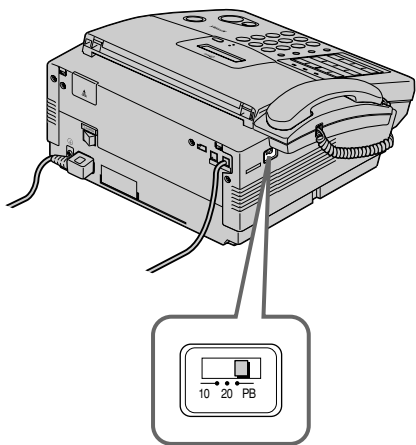
ご利用になっている電話回線の種別、ダイヤル速度に合わせて、ファクスの左側面にある回線種別切替スイッチを設定します。お買い求めのときは、プッシュ（PB）回線に設定されています。

177（天気予報）などに電話をかけてみます。

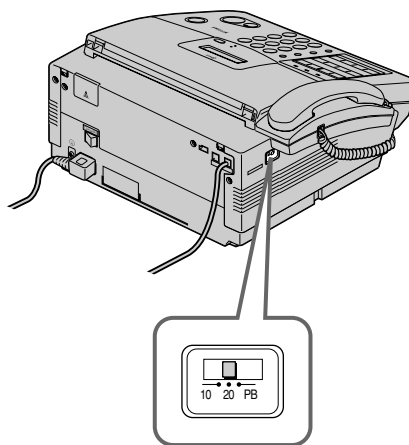
かかる

かからない

この図のようにになっているかを確認してください。



回線種別切替スイッチを 20 に合わせます。



そのままの設定でお使いください。

もう一度、177（天気予報）などに電話をかけてみます。

かかる

かからない

そのままの設定で
お使いください。

回線種別切替スイッチを 10 に合わせて
お使いください。



お知らせ

177番に電話をかけると、通話料金がかかります。電話回線の種別を間違えて設定していても、電話を受けることはできません。

お手持ちの電話機を内線電話機として使用するときは、ファクス本体と同じ回線種別に設定してください。

STOP お願い

回線種別切替スイッチは正しく設定してください。回線種別切替スイッチを正しく設定しないと、電話がかからなかったり、違う相手にかかったりします。

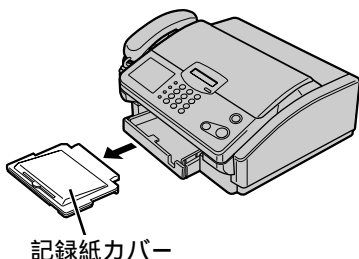
詳しくは、局番なしの116番（無料）または当社営業所へお問い合わせください。

PBX（構内交換機）に接続するときは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

記録紙をセットします

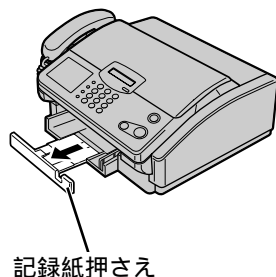
記録紙はA4サイズのカット紙を約100枚までセットできます。

① 記録紙カバーを取り外します。



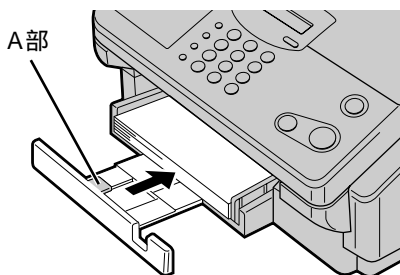
記録紙カバー

② 記録紙押さえを引き出します。



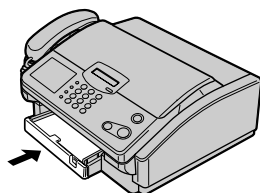
記録紙押さえ

③ 記録紙を記録紙押さえのA部より下にセットします。
記録紙カセットに差し込み、記録紙押さえを使って記録紙の先端をそろえてください。

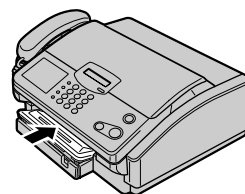


A部

④ 記録紙押さえを戻します。



⑤ 記録紙カバーを取り付けます。



お知らせ

記録紙を追加するときは、残っている記録紙の下にセットしてください。

新しい記録紙が残ったときは、残った記録紙を包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらないところに保管してください。

記録紙の残量は、記録紙残量確認窓で確認することができます。

STOP お願い

記録紙をセットするときは、必ず記録紙カセットを取り付けたままでセットしてください。記録紙カセットを取り外してセットすると、紙づまりの原因となります。記録紙は、A部より下にセットしてください。紙づまりの原因となります。

しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となります。

プリント中は記録紙を追加しないでください。紙づまりの原因となります。

記録紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の記録紙をお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。

1 お使いになる前に

2 電話をかける/受ける

3 ファックスを送る/受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

6 プリンタ/スキャナとして使う

7 ナンバーディスプレイを利用する

8 より便利に使う

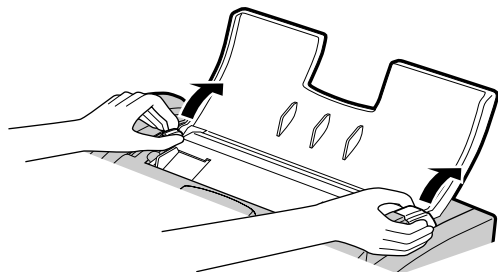
9 登録/設定の操作/閲覧

10 こんなときには

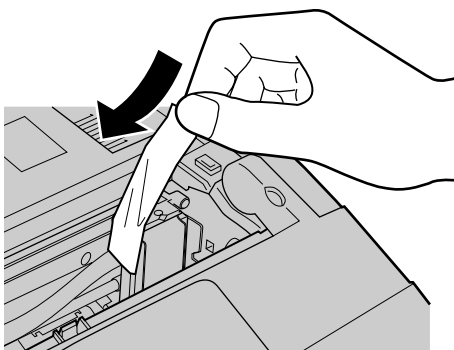


インクカートリッジをセットします

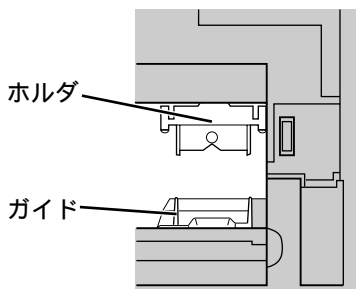
- ① 原稿台を開け、受信開閉部を開けます。



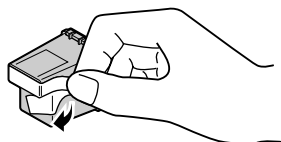
- ② 固定テープをはがします。



- ③ ホルダをガイドの位置に合わせます。
ホルダを約7 mmほど左に動かしてガイドの位置に合わせます。



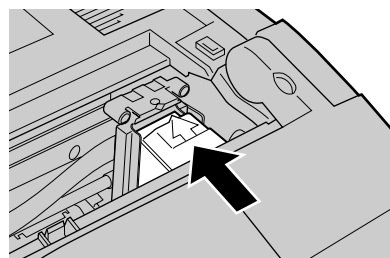
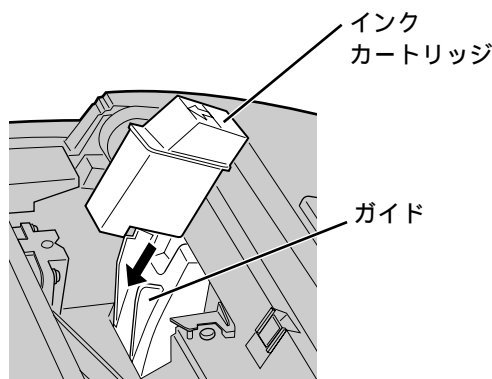
- ④ 新しいインクカートリッジを用意します。
新しいインクカートリッジを取り出し、先端のテープをはがします。



⚠ 注意

インクカートリッジの交換や紙づまりなどで開閉部などを開けるときは、突起物に引っ掛けたり、開閉部で手を挟むとけがの原因となることがあります。

- ⑤ インクカートリッジを取り付けます。
ガイドに沿ってインクカートリッジを差し込み、矢印の方向に押しします。



- ⑥ 受信開閉部と原稿台を閉めます。

- ⑦ 電源スイッチを「I」(入)にします。

STOP お願い

電源スイッチは、必ずインクカートリッジをセットしたあとに「I」(入)にしてください。セットする前に「I」(入)にすると故障の原因となります。

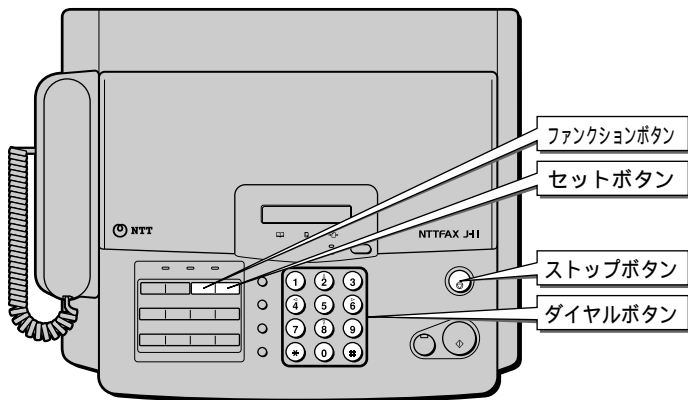
インクカートリッジの先端部には手を触れないでください。画質異常の原因となります。

受信開閉部が確実に閉まっていないと、アラームランプが点灯し、ファクス通信やコピーができなくなります。また、インクが固まる原因となり、プリントできなくなります。インクが固まったときは、固まったインクを取り除いてください。(●P132)

付属のインクカートリッジをセットして電源スイッチを「I」(入)にしたあと、「インク ガ アリマセン」と表示される場合は、なるべく文字や絵の多い原稿を2~3枚コピーしてから、もう一度そのインクカートリッジをセットしてください。(●P52)

日付 / 時刻を合わせます

ファクス本体には、時計が内蔵されています。ご使用になる前に、日付と時刻を合わせてください。



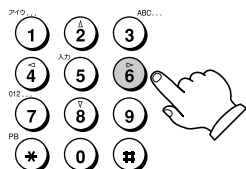
1 ファンクション ボタンを押します。

ファンクション メニュー (1-7)
1: キノウ センタク?



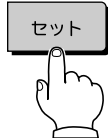
2 ⑥ を押します。

ファンクション メニュー (1-7)
6: トウロク モード?



3 セット ボタンを押します。

トウロク モード* (1-7)
1: トケイ セット?



4 セット ボタンを押します。

現在の日付と時刻が表示されます。

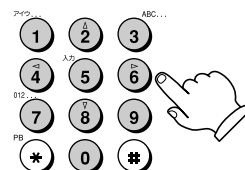
トケイ セット
'97 01/01 00:00



5 日付と時刻を入力します。

例: 1997年9月19日 午後3時30分
(「9709191530」と入力)

トケイ セット
'97 09/19 15:30



日付 / 時刻は次の形式で入力します。

- ・年号 : 西暦年号下2桁
- ・月 / 日 : 2桁
- ・時刻 : 24時間制

6 セット ボタンを押します。

トウロク モード* (1-7)
2: ハッシンモ データ?



7 ストップ ボタンを押します。

'97 09/19 15:30



ワンポイント.....

設定を中止するには
ストップ ボタンを押します。

日付や時刻の入力を間違えたときは
< ボタン、または > ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。

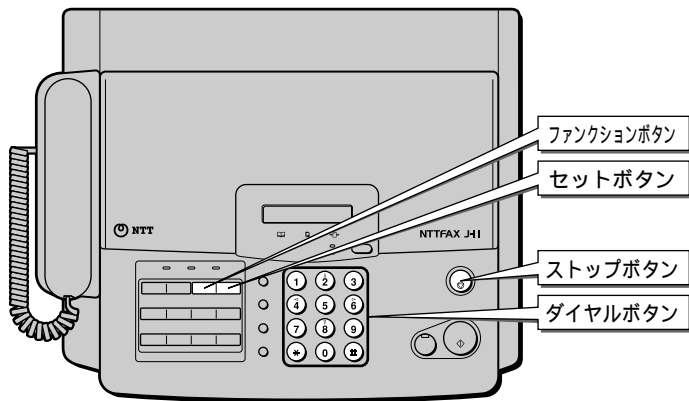
STOP お願い

時刻表示はあくまでも目安としてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。(時間精度: 平均月差 ± 60秒以内)
長時間電源が切れていると、日時がずれることがあります。その場合は、設定をやり直してください。

自分の名前と電話番号を登録します

(発信元データ / ID番号)

発信元データ(自分の名前など)とID番号(電話番号)を登録します。ファクスを送信したとき、相手先の記録紙の先端に送信時刻などと一緒に自分の名前や電話番号がプリントされます。



発信元データを登録する

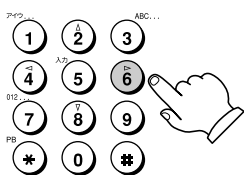
1 **ファンクション** ボタンを押します。

ファンクション メニュー (1-7)
1: キノウ センタク?



2 **6** を押します。

ファンクション メニュー (1-7)
6: トウロク モード?



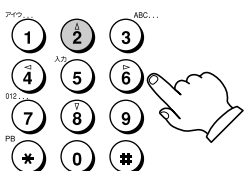
3 **セット** ボタンを押します。

トウロク モード (1-7)
1: トケイ セット?



4 **2** を押します。

トウロク モード (1-7)
2: ハッシンモト データ?



5 **セット** ボタンを押します。

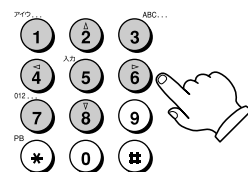
ハッシンモト= (アイウエオカキクケコサシスセソ)



6 自分の名前(最大25文字)を入力します。

例: 「ツウキ」

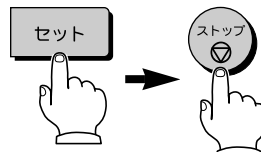
ハッシンモト=ツウキ (アイウエオカキクケコサシスセソ)



文字を入力するには (P28)

7 **セット** ボタンを押し、**ストップ** ボタンを押します。

'97 09/19 15:30



ID番号(電話番号)を登録する

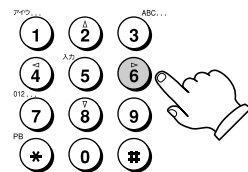
1 **ファンクション** ボタンを押します。

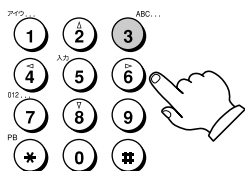
ファンクション メニュー (1-7)
1: キノウ センタク?



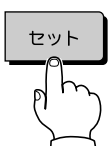
2 **6** を押します。

ファンクション メニュー (1-7)
6: トウロク モード?



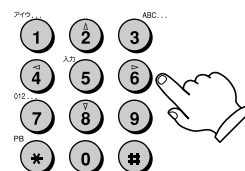
3 **セット** ボタンを押します。トウロク モード (1-7)
1: トクイ セット?4 **3** を押します。トウロク モード (1-7)
3: ID バンゴ ウ?5 **セット** ボタンを押します。

ID バンゴ ウ=

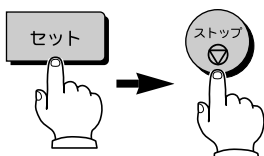


6 電話番号 (最大20桁) を入力します。

例: 「0451234567」

ID バンゴ ウ=
04512345677 **セット** ボタンを押し、**ストップ** ボタンを押します。

'97 09/19 15:30

**ワンポイント**.....

登録を中止するには

ストップ ボタンを押します。

ID番号を間違えたときは

クリアボタンを押して入力し直します。

1桁だけ間違えたときは、< ボタン、または > ボタンを押してカーソルを間違えた数字に移動し、入力し直します。

ID番号に入力できる文字は

数字、[+] (**#** ボタンを押す)、スペースを入力することができます。

発信元データを削除するには

手順1~5 クリアボタンを押す **セット** ボタンを押す **ストップ** ボタンを押す

ID番号を削除するには

手順1~5 クリアボタンを押す **セット** ボタンを押す **ストップ** ボタンを押す

発信元データやID番号 (電話番号) などを相手の記録紙にプリントしないようにするには

発信元記録を「ツケナイ」に設定します。(●P120)

プリント位置について

「ナカ」に設定したときは原稿の内側にプリントします。



「ソト」に設定したときは原稿の外側にプリントします。



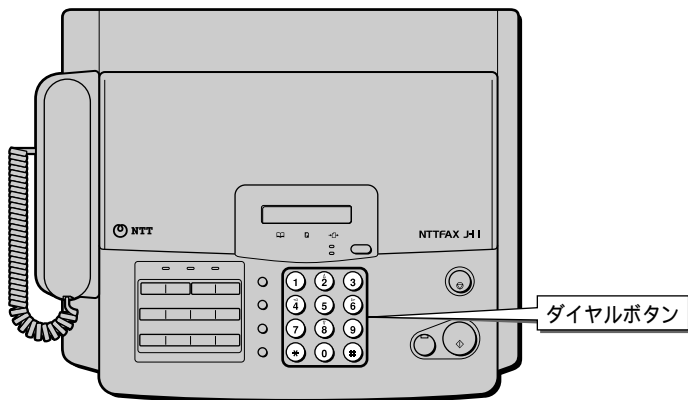
お買い求めのときは「ナカ」に設定されています。

発信元記録の右側の「No.XX」は、その送信の受付No.です。(●P111「通信管理レポートのプリント例」)



文字を入力するには

発信元データやワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに名前などを登録するときは、以下の方法で登録します。



文字入力の場合

発信元データに「ツウキエイギョウ」を入力します。

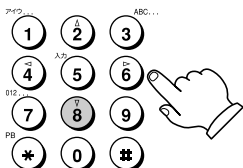
1 発信元データの文字入力画面を表示させます。(P26)

ハッシンモト=■
(アイウエオカキクケコサシスセソ)

2 ⑧を押します。

「ツ」のある文字列が表示されます。

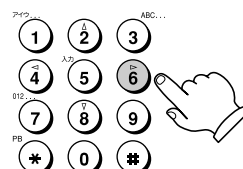
ハッシンモト=■
(タチツテトナニヌネノハヒフヘホ)



3 ⑥を2回押します。

カーソルが「ツ」に移動します。

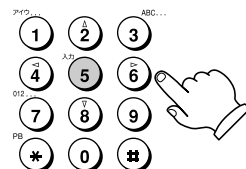
ハッシンモト=■
(タチツテトナニヌネノハヒフヘホ)



4 ⑤を押します。

「ツ」が入力されます。

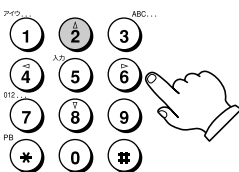
ハッシンモト=ツ■
(タチツテトナニヌネノハヒフヘホ)



5 ②を押します。

「ウ」のある文字列が表示されます。

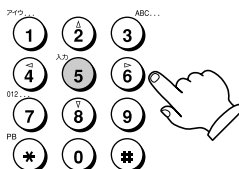
ハッシンモト=ツ■
(アイウエオカキクケコサシスセソ)



6 ⑤を押します。

「ウ」が入力されます。

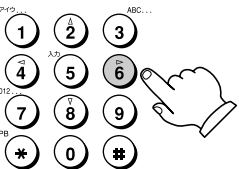
ハッシンモト=ツウ■
(アイウエオカキクケコサシスセソ)



7 ⑥を4回押します。

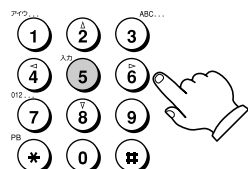
カーソルが「キ」に移動します。

ハッシンモト=ツウ■
(アイウエオカキクケコサシスセソ)



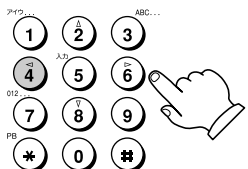
8 ⑤を押します。

「キ」が入力されます。

ハッシンモト=ツウキ
(アイウエオカキクケコサシスセソ)

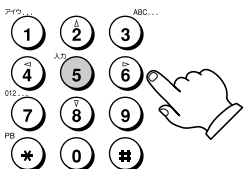
9 ④を3回押します。

カーソルが「エ」に移動します。

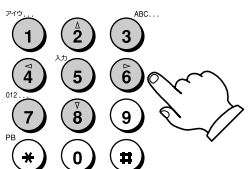
ハッシンモト=ツウキ
(アイウエオカキクケコサシスセソ)

10 ⑤を押します。

「エ」が入力されます。

ハッシンモト=ツウキエ
(アイウエオカキクケコサシスセソ)

11 同様にして、「イギョウ」を入力します。

ハッシンモト=ツウキエイキョウ
(アイウエオカキクケコサシスセソ)

文字の選び方

⑥ (1文字ずつ順送りで移動)

アイウエオカキクケコサシスセソ

タチツテトナニヌネノハヒフヘホ

マミムメモヤユヨラリルレロワラン

アイウエオヤユヨツ`、。□□□

ABCDEFGHIJKLMNPO

QRSTUVWXYZ`、,.;□

abcdefghijklmnop

qrstuvwxyz:?!^|

0123456789+-*/=&

@%#¥\$()< > []「」□

(1文字ずつ逆送りで移動) ④

⑧ (文字列を逆送りで移動)
② (文字列を順送りで移動)カタカナの
先頭に移動① ② ③ アルファベット
の先頭に移動数字の先頭に
移動

④ ⑤ ⑥ 文字を確定する

「□」はスペースになります。



ワンポイント.....

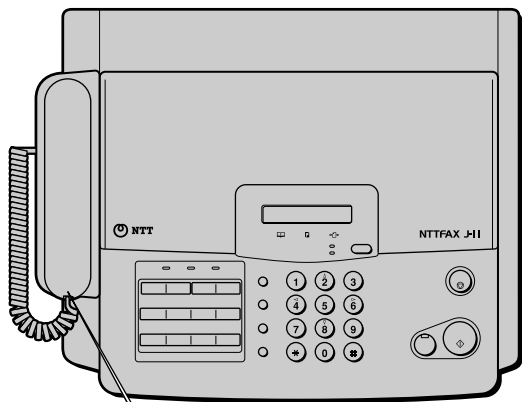
入力を間違えたときは

< ボタン、または > ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。

文字をすべて消去するには
クリアボタンを押します。

電話がかかってきたときは

電話がかかってくると呼出音が鳴り、ファクスで電話を受けることができます。



ハンドセット

1 呼出音が鳴ります。

チャクシン チュウ

2 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話してください。



ツウワ チュウ

3 お話が終わったら、ハンドセットを置きます。

'97 09/19 15:30




ワンポイント.....

相手の方を確かめてから電話に出るには
 ハンドセットを置いたまま  ボタンを押します。相手の方の声スピーカーから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話してください。いたずら電話などで、お話ししないでそのまま電話を切りたいときは、 ボタンを押してください。

ナンバー・ディスプレイを利用して、相手の方の電話番号をディスプレイで確認してから電話に出ることができます。(P70)

呼出音が聞こえにくいときは(呼出音量の調節)
 原稿台を開け、音量小ボタンまたは音量大ボタンを押して、調節します。呼出音量は3段階に調節できます。

ヨビ'ダシ オンリョウ ☎	「切」呼出音は鳴りません。
音量小ボタン ↑ ↓ 音量大ボタン	
ヨビ'ダシ オンリョウ ((☎))	「小」
音量小ボタン ↑ ↓ 音量大ボタン	
ヨビ'ダシ オンリョウ (((☎))))	「大」

音量を変えるたびに、選んだ大きさの呼出音が鳴ります。調節が終わったら  ボタンを押します。

呼出音量を「切」に設定しているときは
 「ヨビダシ オンリョウ キリ」と表示されます。
 呼出音量を「切」にしているときに電話がかかってきたときは

呼出音は鳴りません。「*チャクシン チュウ*」の表示で確認します。

相手の方の声が聞こえにくいときは(受話音量の調節)
 原稿台を開け、音量小ボタンまたは音量大ボタンを押して、調節します。受話音量は2段階に調節できます。

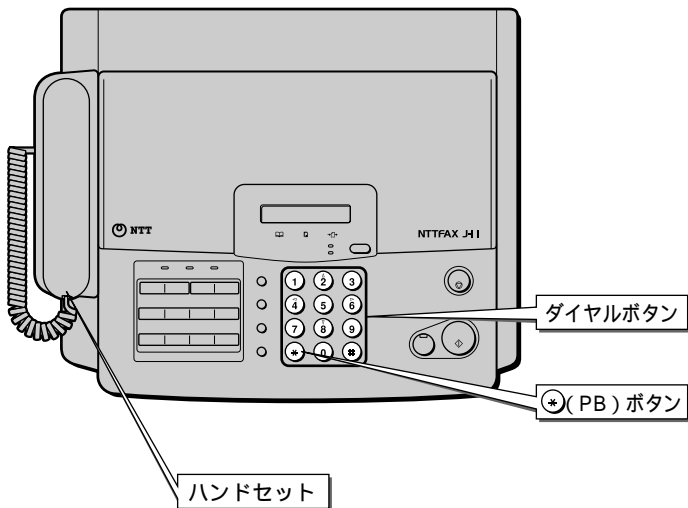
プッシュホンサービスを利用するには

(DP PB切替)



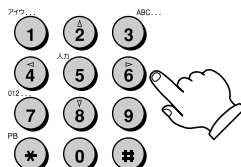
ダイヤル回線でご使用の場合でも、相手先を呼び出したあとに $\textcircled{*}$ (PB) ボタンを押すことにより、プッシュホンサービス (銀行ANSERサービス、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御など) を利用することができます。

具体的な利用方法については、各種サービス提供元にお確かめください。



4 ガイダンスに従って、ダイヤルボタンを押します。

ソウワ チュウ
アイテ=0451234567T01



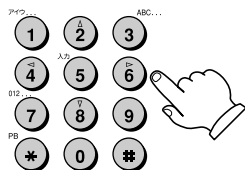
1 ハンドセットを取りあげます。

「ツー」という発信音が聞こえます。

ツウシン
ダ イヤル シテクダ サイ

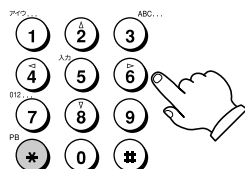
2 サービス提供元の電話番号を押します。

ダ イヤル チュウ
アイテ=0451234567



3 ダイヤル回線をご使用の場合は、電話がつながったら、 $\textcircled{*}$ (PB) ボタンを押します。

ソウワ チュウ
アイテ=0451234567T



プッシュ回線をご使用の場合は、 $\textcircled{*}$ (PB) ボタンを押す必要はありません。



お知らせ

$\textcircled{*}$ (PB) ボタンを使ってもサービスを受けられない場合があります。詳しくは、各サービス提供元へお問い合わせください。

プッシュ回線をご使用の場合、またはダイヤル回線でプッシュ信号に切り替えたあとに $\textcircled{*}$ (PB) ボタンを押すと、「*」がダイヤルされます。

ダイヤル回線をご使用の場合、ハンドセットを置くと、ダイヤル信号に戻ります。

「コキ ショウ チュウ」と表示されているときは、接続しているお手持ちの電話機が使用中です。電話をかけることはできません。

1 お使いになる前に

2 電話をかける / 受ける

3 ファックスを送る / 受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

6 プリンタ/スキャナとして使う

7 ナンバーディスプレイを利用する

8 より便利に使う

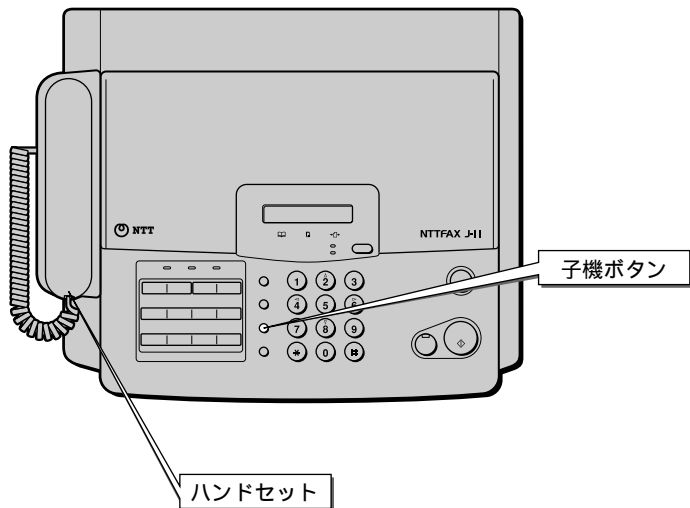
9 登録/設定の操作一覧

10 こんなときには

ファクスとお手持ちの電話機でお話するには

(親子電話)

あらかじめ親子電話を「スル」に設定しておく(●P118)と、ファクス(親機)から接続したお手持ちの電話機(子機) またはお手持ちの電話機からファクスを呼び出してお話することができます。
お買い求めのときは「シナイ」に設定されています。



ファクスからお手持ちの電話機を呼び出す

ファクス

1 ハンドセットを取りあげます。

ツウシン
ダ イヤル シテクダ サイ

2 子機ボタンを押します。

'97 09/19 15:30
ナイセン ヨビダシチュウ

子機/クリア



3 相手の方が出たら、お話しください。

'97 09/19 15:30
ナイセン ツウワ チュウ

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

'97 09/19 15:30

お手持ちの電話機

1 呼出音が鳴ります。



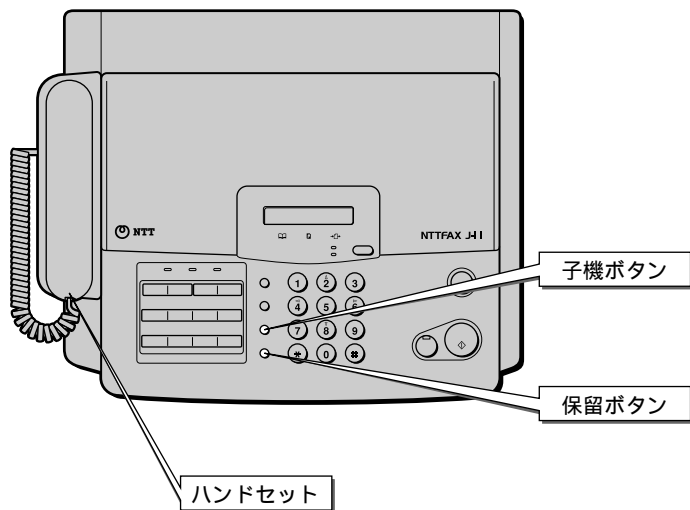
2 ハンドセットを取りあげます。



3 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

外からの電話を取りつぐには (保留転送)

外からの電話をファクスから接続したお手持ちの電話機へ、またはお手持ちの電話機からファクスへ取りつぐことができます。



ファクスからお手持ちの電話機へ取りつぐ

ファクス

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、保留ボタンを押します。

相手の方には保留メロディ(美女と野獣)が流れます。

ホリユウ チュウ

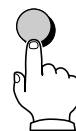
保留/ポーズ



2 子機ボタンを押します。

'97 09/19 15:30
ナイセン ヨビ'ダ'シ チュウ

子機/クリア



3 電話機から応答があったら、電話を取りつぐことを伝えます。

'97 09/19 15:30
ナイセン ツウワ チュウ

4 ハンドセットを置きます。

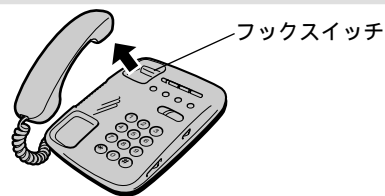
'97 09/19 15:30
コキ ショウ チュウ

お手持ちの電話機

1 呼出音が鳴ります。



2 ハンドセットを取りあげます。



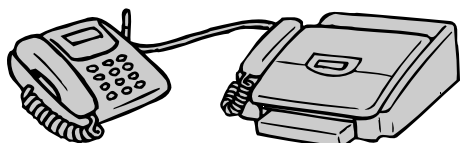
3 ファクスが電話を切ると、外からの電話がつながります。相手の方とお話してください。

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

留守番電話機を接続して使うには

お手持ちの留守番電話機を接続し、留守受信を「留守番電話機接続モード」に設定して留守セットすると、用件の録音とファクスの受信をすることができます。

準備する



お手持ちの留守番電話機を接続します(●P21)

留守受信を「留守番電話機接続モード」に設定します(●P112)

留守番電話機に応答メッセージを入れます

外出するとき



ファクスを留守セットします

ファクスの受信モードボタンを押して、留守ランプを点灯させます。

接続した留守番電話機を留守セットします

留守番電話機を接続したときのご注意

留守番電話機をセットするとき

留守番電話機が応答するまでのベル回数が長い場合には、ファクスが受信できないことがあります。留守番電話機の応答メッセージは30秒以内にしてください。なお、正常にファクスが受信できないときは、応答メッセージを短めにしてください。留守番電話機を着信同時録音モードにしないでください。

用件件数について

相手が自動送信のファクスのとき、ファクス送信音「ポー・ポー・ポー…」が録音され、用件の1件として数えられることがあります。

相手が手動送信のファクスのとき、無音が録音され、用件の1件として数えられることがあります。

留守番電話機の録音時間の残りが少なくなっているとき

ファクスの受信ができなくなることがあります。テープを巻き戻すなど留守番電話機を確認してください。

留守番電話機を「応答専用」にしているとき

ファクスの受信ができなくなることもあります。ファクスの受信もしたいときは、留守番電話機を「応答専用」にセットしないでください。

用件録音中は

用件録音中に約7秒の無音があると、ファクスの受信に切り替わります。ファクスで留守録無音検出を「シナイ」に設定すれば、録音中に約7秒の無音があっても受信に切り替わりません。(●P120)

留守番電話機の機能について

留守番電話機の種類によっては接続できないものや留守番電話機の一部機能(留守転送、ポケットベル呼び出し、外出先からの遠隔操作等)が使えなくなる場合があります。

ファクスの機能について

ファクスを「留守番電話機接続モード」で留守受信にセットしている場合は、留守番電話機からリモート受信と保留転送はできません。

外出中



用件が録音されます

留守中でも自動的に着信し、用件を録音したり、ファクスを自動的に受信することができます。

相手の方の用件録音

呼出音（プルルル音）などが聞こえます。

自動的に着信し、留守番電話機の応答メッセージが流れます。

「ピー」という音のあとに話した用件が録音されます。

ファクスが送られてきたときは、自動的にファクスを受信します。

帰宅したら



ファクスを留守解除します

ファクスの受信モードボタンを押して、留守ランプを消灯させます。

接続した留守番電話機を留守解除します

用件を聞きます

ワンポイント.....

留守録無音検出とは
留守録無音検出を「スル」に設定していると、留守番電話機が用件を録音している間に約7秒の無音があると、自動的にファクスの受信に切り替わります。お買い求めのときは「スル」に設定されています。（P120）

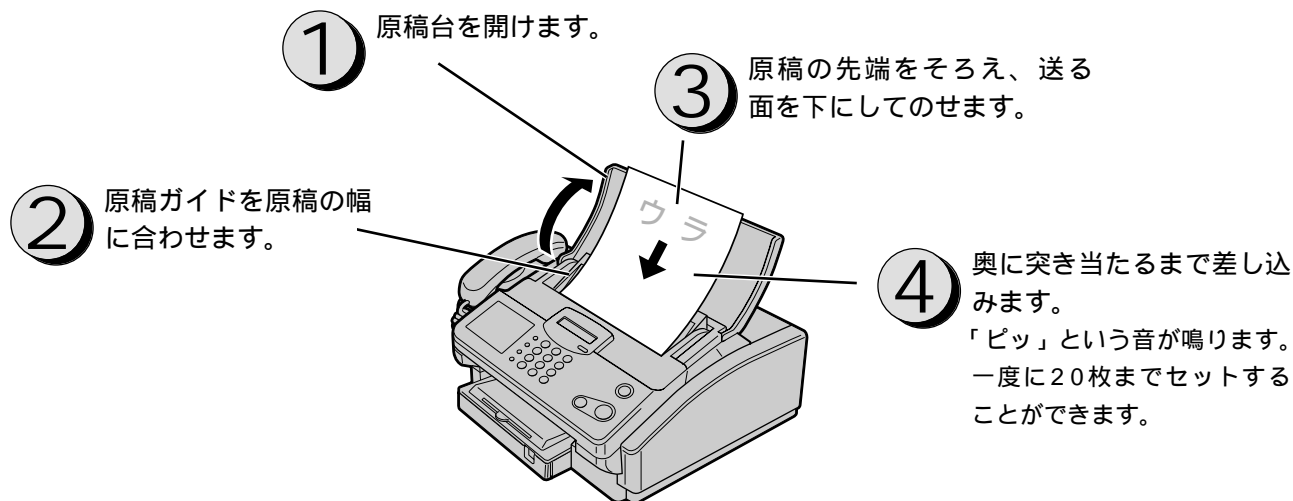
お知らせ

留守番電話機の取り扱いについては、留守番電話機に添付されている取扱説明書をご覧ください。



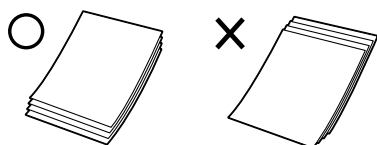
原稿をセットするには

原稿は一度に20枚までセットすることができます。



ワンポイント.....

原稿は図のようにセットします



原稿が21枚以上のときは

20枚セットし、1枚送信またはコピーが終わるごとに、次の原稿を送信またはコピー中の原稿の上に追加してください。

以下のような原稿は、別売のキャリアシートに挟んで送信するか、複写機でコピーしたものを送信原稿としてください

- 破れ、しわ、カールや折り目のある原稿
- フィルム状の原稿やトレーシングペーパーのような透明の原稿
- カーボン紙、裏カーボン紙
- 写真などの表面がツルツルしている原稿
- 薄い原稿 (0.06 mmより薄い原稿)
- 小さすぎる原稿 (148 x 105 mmより小さい原稿)

以下のような原稿は、ブックフィーダで読み取ってから送信してください

- 厚い原稿 (0.15 mmより厚い原稿)

以下のような原稿は、複写機でコピーしたものを送信原稿としてください

- 布地、金属シート、印画紙などの原稿
- 貼り合わせた原稿

お知らせ

複数枚の原稿をセットするときは、キャリアシートをお使いになれません。

チラシやコピーした原稿などの裏に文字などを書いてファクスを送ると、裏に書かれている文字などもファクスされて読みにくくなることがあります。まず、本装置でコピーをして確認してください。コピーされた状態と同じものが相手に送られます。

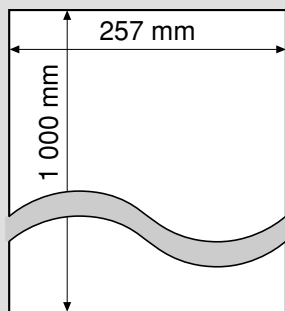
お願い

クリップやホチキスは必ず取り除いてください。故障の原因となります。

インク、のり、修正液などがついている原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。乾いていない状態でセットすると、故障の原因となります。

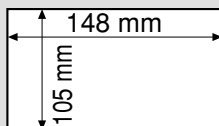
原稿の大きさと読み取りできる範囲

原稿の最大サイズ



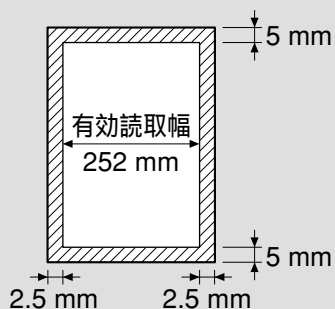
原稿セット方向

原稿の最小サイズ



原稿セット方向

読み取りできる範囲



原稿の斜線部分は読み取れない場合がありますので、ご注意ください。



ワンポイント.....

送信できる原稿の厚さ

- 1枚だけ送る場合 0.06 ~ 0.15 mm
- 2枚以上送る場合 0.06 ~ 0.12 mm

この取扱説明書の紙厚は0.08 mmです。

自動縮小機能

送信する原稿サイズが、相手先のファクスにセットされている記録紙のサイズよりも大きい場合は、自動的に大きさを縮小して送ります。

送信原稿 相手先	B4判原稿	A4判原稿
B4機	そのまま	そのまま
A4機	A4サイズに縮小	そのまま



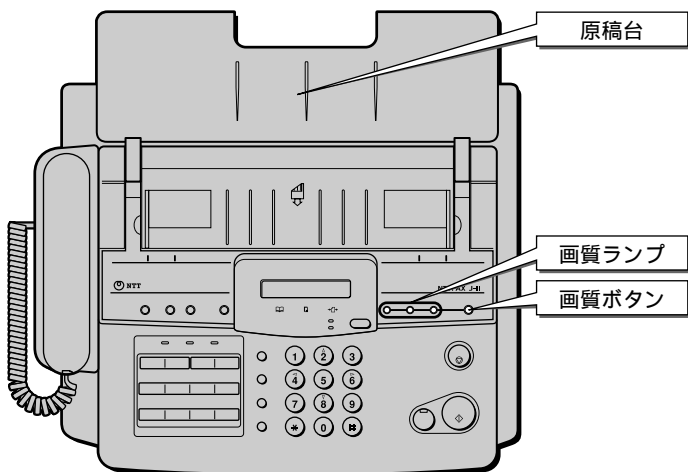
お知らせ

1 000 mmより長い原稿を送る場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。ただしこの場合は、原稿づまりを検出しなくなりますのでご注意ください。黄色い文字は読み取ることができません。また、薄い色で書かれた文字は読み取りできないことがあります。



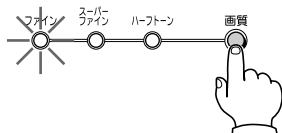
原稿に合わせて画質を選ぶには

文字の大きさや原稿に写真が入っているかどうかなど、適切な画質を選んで、ファクスをきれいに送信したりコピーすることができます。送信やコピーが終わると、画質はホームポジションで設定されているモードに戻ります。



1 原稿台を開け、画質ボタンを押して適切なモードに設定します。

選んだ画質のランプが点灯します。



- 標準 : 新聞活字より大きな文字
 - ファイン : 新聞活字程度の文字
 - スーパーファイン : 新聞活字より小さな文字
 - ハーフトーン : 写真やカタログなどの原稿
- お買い求めのときは「標準」に設定されています。



ワンポイント.....

よく使う画質を設定しておくにはホームポジションの設定をします。(☛P85)
文字の色や原稿の色に合わせた設定をするには(読み取り濃度の設定)
ホームポジションで「読み取り濃度」の設定をします。(☛P85)



お知らせ

「スーパーファイン」モードに設定して送信しても、相手先に「スーパーファイン」モードがないときは、自動的に「ファイン」モードに切り替えて送信します。送信時間は、「標準」「ファイン」「スーパーファイン」「ハーフトーン」の順に長くなります。本装置は「スーパーファイン」モードで受信することはできません。相手の方が「スーパーファイン」モードで送信してきても、「ファイン」モードで受信します。コピーやブックフィーダで読み取った原稿の場合、設定できる画質は「ファイン」と「ハーフトーン」のみです。「標準」を選んだときは、すべてのランプが消灯しています。

画質の選択

標準

新聞活字より大きな文字



ファイン

新聞活字程度の文字



スーパーファイン

新聞活字より小さな文字



ハーフトーン

写真やカタログ等の原稿

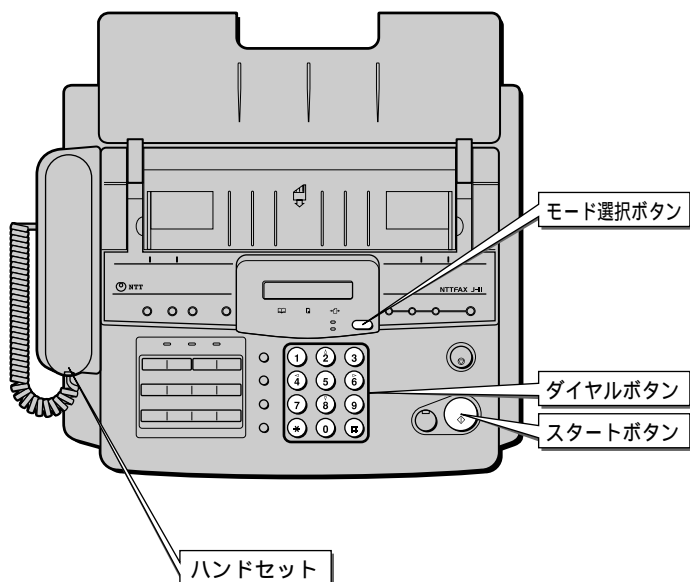


電話で話しをしてからファクスを送るには

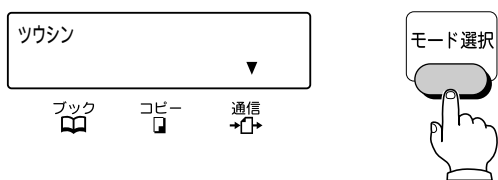
(手動送信)



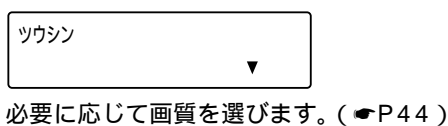
相手の方と電話でお話ししたあとで原稿を送ることができます。
B4サイズまでの原稿を一度に20枚までセットして送ることができます。



1 モード選択ボタンを押して、通信モードを選びます。

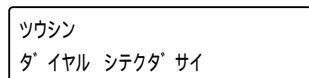


2 原稿をセットします。(P42)



3 ハンドセットを取りあげます。

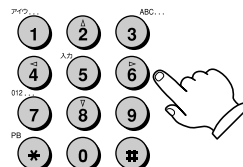
「ツー」という発信音が聞こえます。



4 相手先の電話番号を押します。

例：「0312345678」

ダイヤル チュウ
アイテ=0312345678



5 相手の方とお話ししたあと、ファクスを送ることを伝え、ファクス受信に切り替えてもらいます。

ファクスに切り替わると「ピーヒョロロ」という音が聞こえます。

ツウワ チュウ
アイテ=0312345678

6 スタートボタンを押して、ハンドセットを置きます。

原稿が読み込まれ、送信が始まります。

ファクス ソウシン チュウ
アイテ=0312345678



ファクス ソウシン チュウ
03 1234 5678

送信が終わると「ピー」という音が鳴ります。

ワンポイント.....

- 番号を間違えたときは
ハンドセットを置いて手順3からやり直します。
- 送信を中止するには
ストップボタンを押します。
- 原稿が詰まったときは
送信開閉部を開け、原稿を引き抜きます。(P128)

お知らせ

「ピーヒョロロ」という音が聞こえないうちにスタートボタンを押すと、送信できないことがあります。
「コキ ショウ チュウ」と表示されているときは、接続しているお手持ちの電話機が使用中です。ファクスを使用することはできません。

1 お使いになる前に

2 電話をかける / 受ける

3 ファクスを送る / 受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

6 プリンタ/スキャナとして使う

7 ナンバーディスプレイを利用する

8 より便利に使う

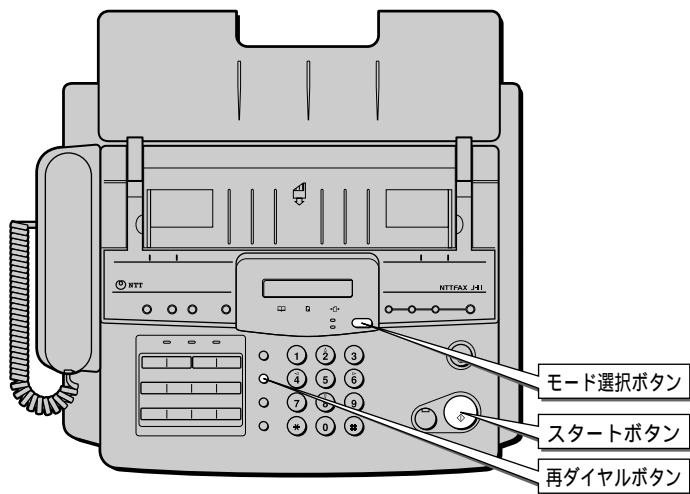
9 登録/設定の操作/閲覧

10 こんなときには

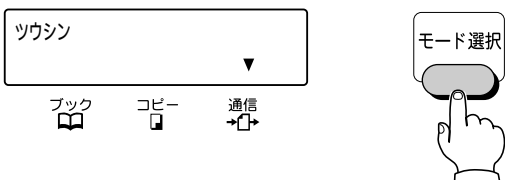


同じ相手先に送り直すには（再ダイヤル送信）

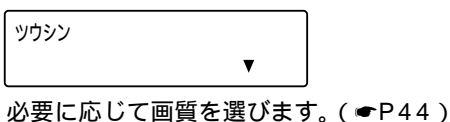
最後にダイヤルした相手先に、再ダイヤルボタンを押すだけでファクスを送ることができます。また、ファクスを送信したときなどに相手先が通話中などでつながらなかった場合は、自動的に再ダイヤルします（自動再ダイヤル）。自動再ダイヤルの回数と間隔を変更することもできます。



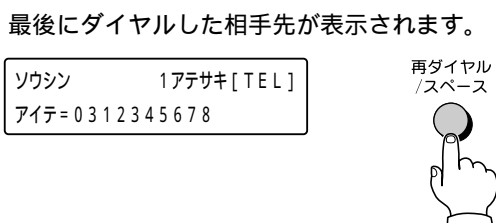
1 モード選択ボタンを押して、通信モードを選びます。



2 原稿をセットします。（P42）



3 再ダイヤルボタンを押します。



4 スタートボタンを押します。

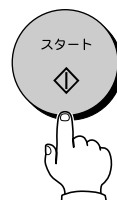
相手先にダイヤルされます。

ダイヤル チュウ
アイテ=0312345678

相手先に繋がると、自動的に送信が始まります。

ファクス ソウシン チュウ
03 1234 5678

送信が終わると「ピー」という音が鳴ります。



ワンポイント.....

- 送信を中止するには **ストップ** ボタンを押します。
- 自動再ダイヤルを中止するには（P126）
- 原稿が詰まったときは送信開閉部を開け、原稿を引き抜きます。（P128）
- 相手先がお話し中などでつながらなかったとき（自動再ダイヤル）
- 約3分間隔で2回まで、自動的に再ダイヤルします。
- 再ダイヤルする間隔と回数を変更することができます。（P123）
- 自動再ダイヤル待ちのときは「サイダイヤル マチ」と表示されます。
- 自動再ダイヤルしても通信できなかったときは「ツウシン エラー」と表示されます。**ストップ** ボタンを押して表示を消してから、通信し直してください。

お知らせ

- 最後にかけた電話番号が37桁以上のときは、36桁までしか再ダイヤルしません。
- 最後に行った通信がFネット通信、複数の相手先を指定した通信のときは、その相手先に再ダイヤルすることはできません。
- 「コキ ショウ チュウ」と表示されているときは、接続しているお手持ちの電話機が使用中です。ファクスを使用することはできません。
- 手順4で **スタート** ボタンを押さないときは、約5秒後に自動的にダイヤルを始めます。

1 お使いになる前に

2 電話をかける / 受ける

3 ファクスを送る / 受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

6 プリンタ / スキャナとして使う

7 ナンバーディスプレイを利用する

8 より便利に使う

9 登録 / 設定の操作 / 一覧

10 こんなときには



受信モードを選ぶには

ファクスの受けかたには以下の種類があり、受信モードボタンを押して切り替えます。ご利用に合わせて適切な受信モードを選ぶことができます。

		受信モード選択の目安	ランプ点灯・消灯の状態
手動受信 (電話モード)		ファクス受信が少なく、電話がかかってくる ことが多い場合	自動受信ランプ、留守ランプ、おやすみラ ンプのすべてが消灯
自動 受信	ファクス専用 モード	ファクスだけを受けたい場合	自動受信ランプが点灯
	電話優先モード	電話もファクスも受けたい場合	
留守 受信	留守応答モード	留守中にファクスを受けたい場合	留守ランプが点灯
	留守番電話機 接続モード	留守中に用件(電話)もファクスも受け たい場合	
おやすみ受信 (おやすみモード)		おやすみのときなど、ファクスを静かに受 けたい場合	おやすみランプが点灯

自動受信

あらかじめどちらのモードで自動受信するのかを設定しておきます。(●P112)

お買い求めのときは「電話優先モード」に設定されています。

ファクス専用モード

呼出音¹が1回鳴る

ファクスのとき

電話のとき

自動的にファクスの受信を始めます。

相手の方には「ピー」というファクス応答音が聞こえます。相手の方には、この番号がファクス専用の番号であることをあらかじめ知らせておいてください。

電話優先モード

呼出音¹が1回鳴る

ファクスのとき

電話のとき

自動的にファクスの受信を始めます。


設定した回数の呼出音²が鳴り、相手の方には音声応答を流します。この間にハンドセットを取り上げるとお話しができます。

呼出音終了後、相手に音声応答を流し、ファクスの受信に切り替わります。



ワンポイント.....

1: ファクスが着信するまでに鳴る呼出音の回数(ベル回数)は変更することができます。お買い求めのときは1回に設定されています。(●P123)


相手がファクスの場合、呼出音が鳴っている間にハンドセットを取り上げると、「ポーポー...」という音が聞こえますので、 ボタンを押してください。

2: ファクスが着信してから鳴る呼出音の回数(電話機の呼出回数)を設定できます。お買い求めのときは10回に設定されています。(●P112)

音声応答 : 「ただいま、電話を呼び出しております。ファクシミリをご利用の方は、そのまましばらくお待ちください。」

音声応答 : 「呼び出しましたが、近くにおりません。ファクシミリをご利用の方は、ピーという音のあとに送信してください。」

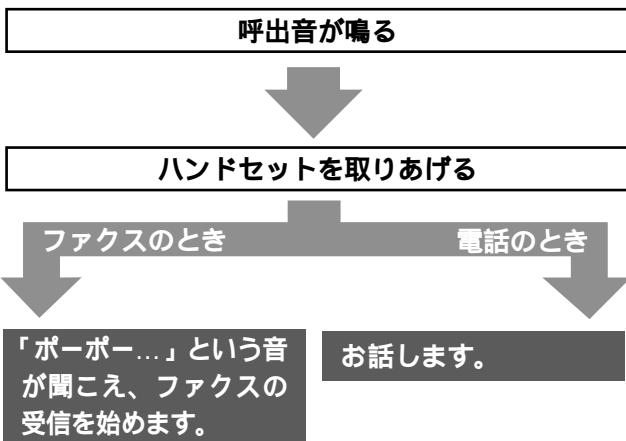
受信中にインクや記録紙がなくなったときは(メモリ代行受信)

自動的にメモリに保存されます。新しいインクカートリッジをセットしてください。または記録紙をセットして ボタンを押すと、メモリに受信した原稿をプリントします。「メモリ フル」と表示されているときは、メモリがいっぱいのためメモリ代行受信をすることができません。

プリンタの設定をするには(●P91)

手動受信 (P50)

電話モード

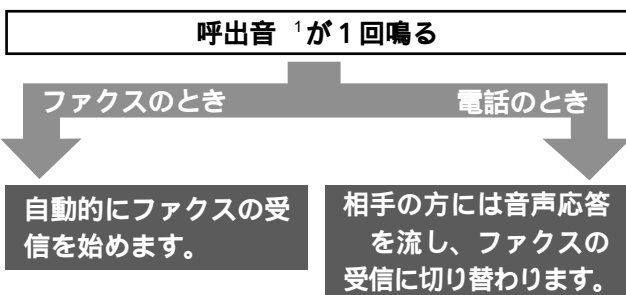


留守受信

あらかじめどちらのモードで留守受信するのかを設定しておきます。(P112)

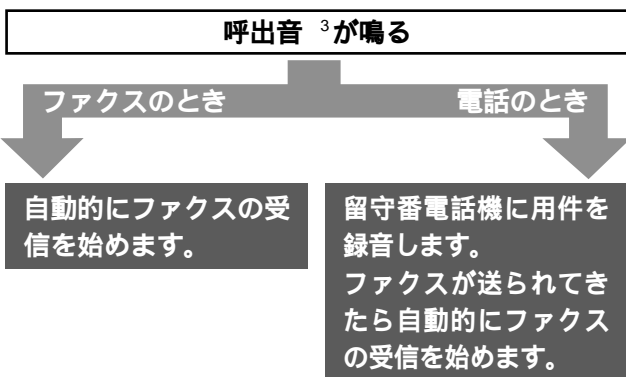
お買い求めのときは「留守応答モード」に設定されています。

留守応答モード



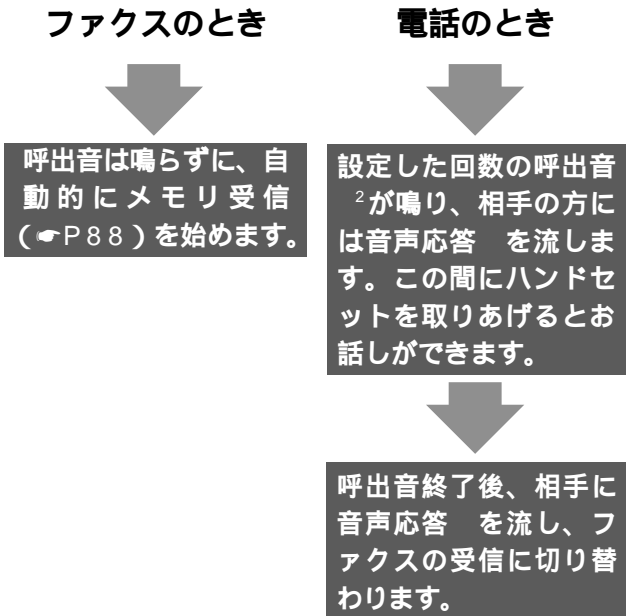
留守番電話機接続モード

あらかじめ留守番電話機をファックスに接続しておきます。



おやすみ受信

おやすみモード



ワンポイント.....

おやすみモードで受信した原稿をプリントするには受信モードボタンを押して、手動受信にセットしてください。自動的にプリントを始めます。

3：留守番電話機に設定されている呼出音の回数です。

音声応答：「ただいま、留守にしております。ファクシミリをご利用の方は、ピーという音のあとに送信してください。電話をご利用の方は、のちほどおかけ直してください。」

設定した時刻に受信モードを切り替えるには (P90、112)

受信した原稿をメモリに保存するには (メモリ受信) (P88)



お知らせ

留守番電話機接続モードでは、以下のような場合は、ファックスの受信ができないことがありますのでご注意ください。

- 留守番電話機の応答メッセージが長い
- 留守番電話機に設定されている呼出音の回数が多い
- 相手が手動送信の場合

留守番電話機接続モードでは、留守番電話機の用件録音がいっぱいなどで、留守番電話機が応答しない場合は、ファックスの受信もできません。

おやすみ受信にセットしているときでも、以下のような場合は記録紙にプリントされます。

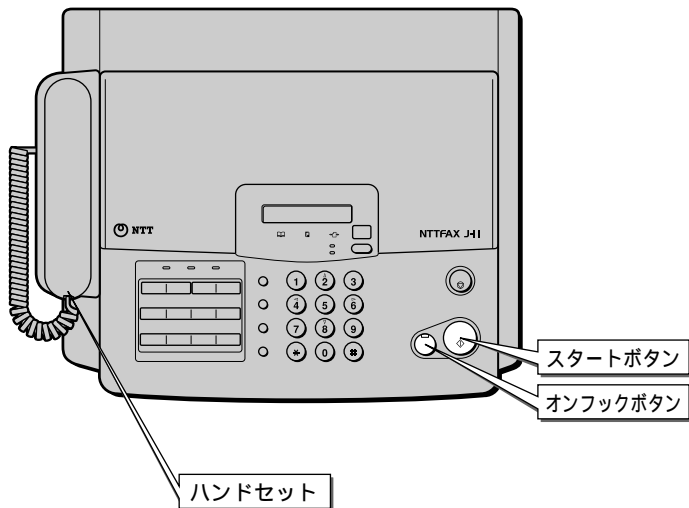
- 通信管理レポートのプリント設定が「ジドウ」または「タイマ」に設定されているとき、20通信ごと、または設定した時間ごとに通信管理レポートを自動的にプリントします。
- メモリがいっぱいになったとき、そのあとに受信した原稿をプリントします。
- リモート受信したとき、原稿をプリントします。
- PCプリントしたとき、原稿をプリントします。

電話で話しをしてからファクスを受けるには

(手動受信)



相手の方と電話でお話したあとで、ファクスを受信することができます。



1 呼出音が鳴ります。

チャクシン チュウ

2 ハンドセットを取りあげて相手の方とお話しします。

または、ハンドセットを置いたまま ボタンを押します。

ツウワ チュウ

相手の方が自動送信の場合は「ポーポー...」という音が聞こえ、自動的に受信を始めます。

3 ファクスを受信するときは、お話しが終わってから ボタンを押して、ハンドセットを置きます。

ファクス ジュシン チュウ
03 1234 5678



'97 09/19 15:30

受信が終了すると「ピー」という音が鳴ります。



ワンポイント.....

受信を中止するには (●P126)

相手がファクスのときは (オンフック受信)

ファクスまたはお手持ちの電話機のハンドセットを取りあげると「ポーポー...」という音が聞こえ、自動的に受信を始めます。

オンフック受信の自動切替 (ファクス / お手持ちの電話機) を「シナイ」に設定 (●P117) したときは、ハンドセットを置いたあとに受信が始まります。

オンフック受信を「シナイ」に設定 (●P117) したときは、「ポーポー...」という音が聞こえたら ボタンを押してファクスを受信します。お手持ちの電話機のハンドセットを取りあげたときは、リモート受信 (●P51) をしてください。お買い求めのときは、ファクス / お手持ちの電話機のいずれのハンドセットを取りあげた場合でも、オンフック受信を自動的にするように設定されています。

記録紙が詰まったときは (●P129)

呼出音量が「切」のときに電話がかかってきたときは「*チャクシン チュウ*」と表示されます。



お知らせ

相手の方が手動送信の場合、電話を受けても無音の場合がありますので、呼びかけて応答がないことを再度確認のうえ、 ボタンを押してください。

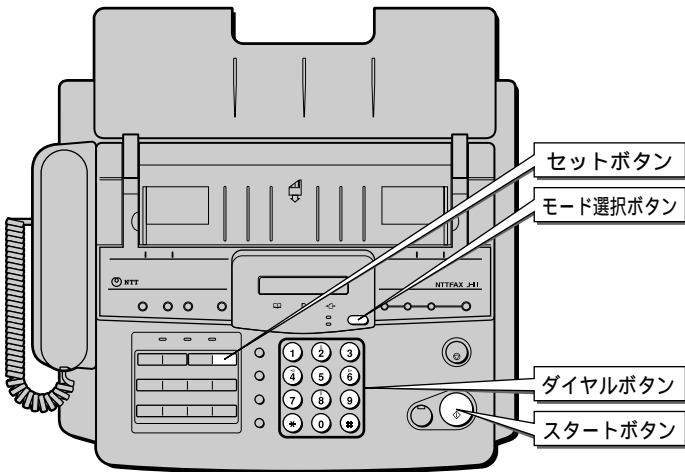
手順3で ボタンを押すときに、原稿がセットされている場合は、ファクスの送信になります。受信するときは、原稿を取り除いて ボタンを押してください。

キャッチホンをご利用になる場合は、オンフック受信を「シナイ」に設定してください。(●P117)

相手の方がファクスを送信していないにもかかわらず、自動的にファクスの受信に切り替わってしまうときは、オンフック受信の自動切替 (ファクス / お手持ちの電話機) を「シナイ」に設定してください。(●P117)

コピーするには

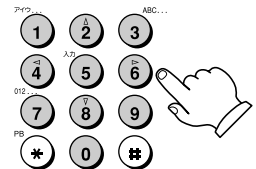
原稿をセットして、記録紙にコピーすることができます。



4 コピーする部数を入力します。

例：「3部」

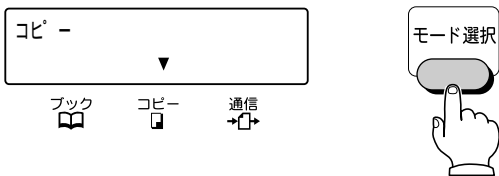
コピー
ブ スウ=03 (1-99)



最大99部まで指定できます。

1部のときは、部数を入力しないで次の手順に進むことができます。

1 モード選択ボタンを押して、コピーモードを選びます。



5 [セット] ボタンを押します。

原稿の読み取りを開始します。

チクセキ チュウ 01 03%
マイスウ=01



部数が1部のときは、コピーを開始します。

2 原稿をセットします。(P42)

コピー

必要に応じて画質を選びます。(P44)

6 原稿の読み取りが終了したら、コピーを始めます。

コピー チュウ
コピー ブ スウ=01/03

3 [スタート] ボタンを押します。

コピー
ブ スウ=01 (1-99)



7 コピーが終了します。


「ピー」という音が鳴ります。

'97 09/19 15:30



ワンポイント.....

コピーを中止するには

 ボタンを押します。

指定する部数を間違えたときは

クリアボタンを押して、入力し直します。

原稿の読み取り中にメモリがいっぱいになったときは部数を指定してコピーすることはできません。


手順4で部数を指定しないで、**セット** ボタンを押してください。

本などの厚い原稿をコピーするには

原稿を読み取る(●P54) **1**を押す **セット** ボタンを押す 手順4からの操作をする

続けて送信またはパソコンに送ることができます。

(●P55「ワンポイント」)

続けて操作をしないときは、 ボタンを押します。

原稿がつまったときは

送信開閉部を開け、原稿を引き抜きます。(●P128)

記録紙がつまったときは(●P129)



お知らせ

途中で記録紙がなくなった場合は、コピーは中断され、メモリの内容は消去されます。

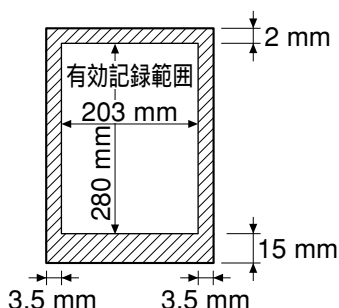
手順2で設定できる画質は「ファイン」と「ハーフトーン」のみです。

手順2で画質を設定しないでコピーすると、自動的に「ファイン」になります。

原稿幅が約223 mm以上の原稿は、自動的に縮小してコピーします。

1部だけコピーする場合、コピーする原稿が有効記録範囲より大きいときは、有効記録範囲に入らない部分はプリントされません。

複数部コピーするときは、受信と同じようにプリントします。(●P91「プリンタの設定をする」)



有効記録範囲より大きい原稿を縮小して有効記録範囲内にプリントする場合は、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

コピー中は電話を受けることはできませんが、電話をかけることはできません。

コピー中は手動受信をすることはできません。

コピーについての注意

何でもコピーしてよいということはありません。特に法規によってそのコピーを取るだけでも罰せられることがありますので、次の点に注意してください。

法規により禁止されているもの

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券のコピーは禁止されています。たとえ見本の印が押してあってもコピーすることはできません。

外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。

政府発行の模造許可をとらないかぎり、未使用郵便切手、官製はがき類のコピーは禁止されています。

政府発行の印紙、酒税法や物品税法で規制されている証券類のコピーも禁止されています。

コピーに注意を要するもの

政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。

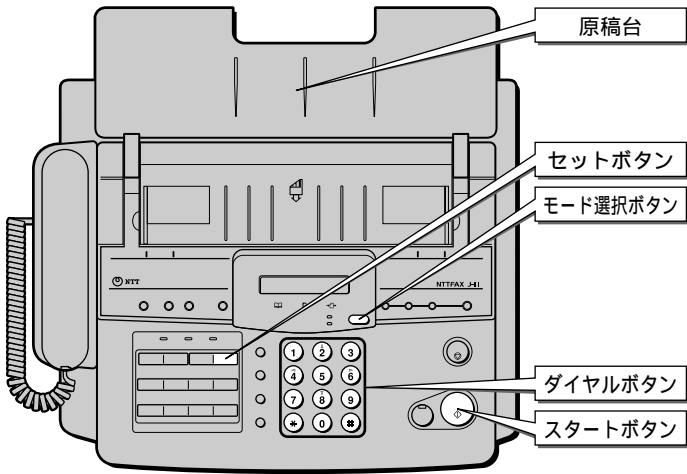
民間発行の有価証券(株券、小切手、手形等)、定期券、回数券などは、事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

著作権にも注意してください

著作権の目的となっている書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

本や厚い原稿を読み取るには(ブックフィーダ)

本などの厚みのある原稿を読み取ることができます。

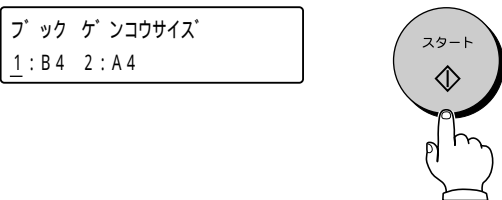


1 モード選択ボタンを押して、ブックモードを選びます。



必要に応じて画質を選びます。(▶P44)

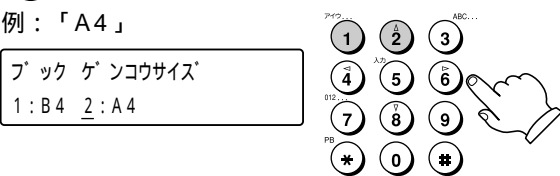
2 スタートボタンを押します。



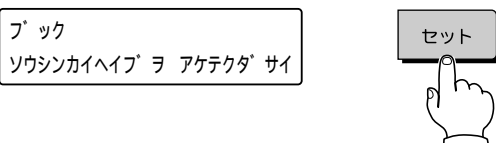
3 ① または ② を押して、原稿サイズを選びます。

- ① 「B4」：原稿幅がA4サイズより大きい原稿
- ② 「A4」：原稿幅がA4サイズより小さい原稿

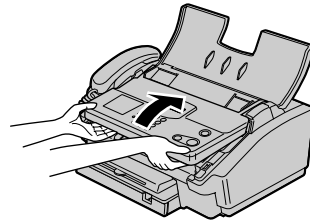
例：「A4」



4 セットボタンを押します。

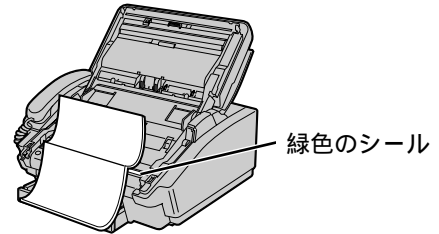


5 手順4のディスプレイ表示を確認したあと、原稿台を開け、送信開閉部を開けます。



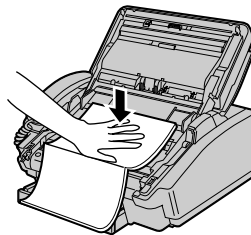
6 緑色のシールに本の中央を合わせます。

例：A5サイズの冊子を読み取る



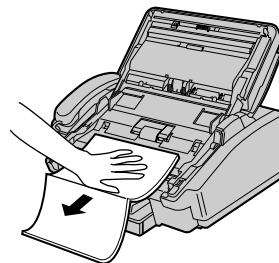
7 読み取るページを本装置にのせ、本を軽く押さえます。

センサ(黒色)が下がります。



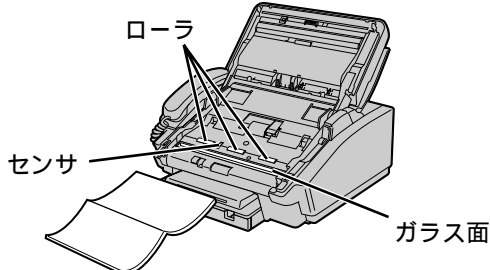
8 「ピッピッピッピー」と鳴り、本が動き始め、読み取りを始めます。

ローラが回り始め、原稿が送られます。ガラス面で原稿を読み取ります。



9 本が送り出され、1 ページ分の読み取りが終わります。

センサ（黒色）が上がります。



続けて他のページを読み取るときは、手順6からの操作を繰り返します。

10 送信開閉部を閉めます。

ブック
1:コピー 2:ソウシ 3:PC

ワンポイント.....

読み取りを中止するには

ストップボタンを押します。

画質の設定は

ブックフィーダの場合、「ファイン」と「ハーフトーン」のみが選択できます。

「ピッ・ピッ・ピッ・ピッ...」という音は

原稿読み取り受付音です。この音が鳴っている間は、原稿の読み取りができます。

読み取り中にメモリがいっぱいになったときは

アラーム音が鳴り、読み取りを終了します。メモリに読み込んだ部分までは送信またはコピーをすることができます。

原稿の幅がわからないときは

原稿台にのせて確認してください。

A4サイズより大きい原稿を読み取るときは

手順3で「B4」を選びます。

読み取った原稿をコピーするには

原稿を読み取ったあと ① を押す **セット** ボタンを押す 部数をダイヤルボタンで入力する **セット** ボタンを押す

読み取った原稿を送信するには

原稿を読み取ったあと ② を押す **セット** ボタンを押す 相手先を指定する **スタート** ボタンを押す

読み取った原稿をパソコンなどのスキャナ原稿にするには 原稿を読み取ったあと ③ を押す **セット** ボタンを押す

お知らせ

原稿を強く押さえしないでください。故障や、本の破れの原因となります。

手順3で「A4」を選んだときは、緑色のシールのA4表示の範囲しか読み取りません。

手順4のディスプレイを確認する前に送信開閉部を開けると、ブックフィーダのモードが解除されます。

手順5の操作をしたあと、原稿を正しくセットする前にセンサ（黒色）を押さないでください。センサ（黒色）を押すと、原稿の読み取りを開始します。

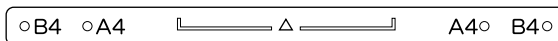
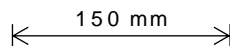
サイズの異なる原稿を続けて読み取るときは、手順3で大きい原稿を基準に原稿サイズを選んでください。読み取り中に原稿サイズを変更することはできません。

手順5で送信開閉部を開けたあと、約60秒以内に手順7までの操作をしてください。約60秒以上たつと、ブックフィーダのモードが解除されます。

続けて他のページを読み取るときは、約60秒以内に次のページをのせてください。約60秒たつと、自動的に読み取り待ちを終了します。

原稿の幅が150 mmよりも小さい原稿は読み取らないでください。

原稿は緑色のシールの150 mm幅の印が隠れるようにセットしてください。



ブックフィーダは、原稿を手で押さえながら読み取るため、文字や線などが曲がったりゆがんだりすることがあります。

ブックフィーダを使用中にファクスを受信することはできません。

STOP お願い

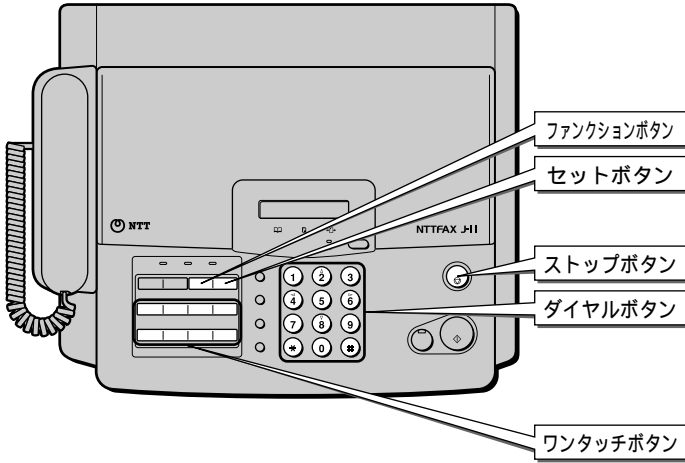
ガラス面に強い衝撃を与えないでください。また、傷をつけないようご注意ください。

注意

原稿の読み取り中は、髪の毛やネックレスなどがローラに巻き込まれないようご注意ください。巻き込まれるとけがや本装置の故障の原因となることがあります。

電話番号や名前を登録するには

よくかける相手先を、ワンタッチボタン（8か所）に登録しておくことができます。
ワンタッチダイヤルには相手先の名前を最大15文字、電話番号を最大36桁まで登録することができます。



ワンタッチダイヤルを登録する

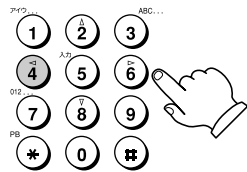
1 **ファンクション** ボタンを押します。

ファンクション メニュー (1-7)
1: キノウ センタク?



2 **4** を押します。

ファンクション メニュー (1-7)
4: ダイヤル トウロク?



3 **セット** ボタンを押します。

ダイヤル トウロク (1-4)
1: ワンタッチ ダイヤル?



4 **セット** ボタンを押します。

ワンタッチ ダイヤル (1-8)
ワンタッチ ヲ シテクダ サイ



5 登録するワンタッチボタン(1~8)を押します。

例: ワンタッチ1

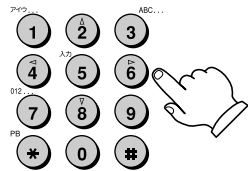
ワンタッチ=1
アイテ=



6 相手先の電話番号(最大36桁)を入力します。

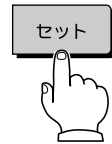
例: 「0312345678」

ワンタッチ=1
アイテ=0312345678



7 **セット** ボタンを押します。

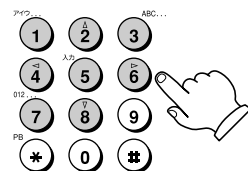
メイショウ=
(アイウエオカキクケコサシセソ)



8 相手先の名前(最大15文字)を入力します。

例: 「ツウキエイギョウ」

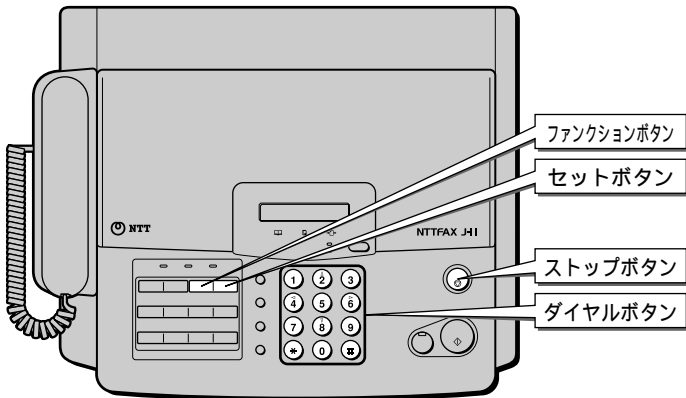
メイショウ=ツウキエイギョウ
(アイウエオカキクケコサシセソ)



文字を入力するには(▶P28)

電話番号や名前を登録するには

よくかける相手先を、短縮ダイヤル（50か所）に登録しておくことができます。短縮ダイヤルには相手先の名前を最大15文字、電話番号を最大36桁まで登録することができます。



短縮ダイヤルを登録する

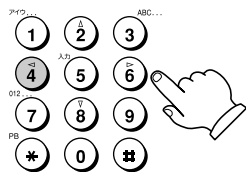
1 **ファンクション** ボタンを押します。

ファンクション メニュー (1-7)
1: キノウ センタク?



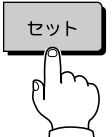
2 **4** を押します。

ファンクション メニュー (1-7)
4: ダ イヤル トウロク?



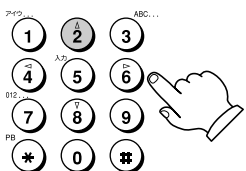
3 **セット** ボタンを押します。

ダ イヤル トウロク (1-4)
1: ワンタッチ ダ イヤル?



4 **2** を押します。

ダ イヤル トウロク (1-4)
2: タンシュク ダ イヤル?



5 **セット** ボタンを押します。

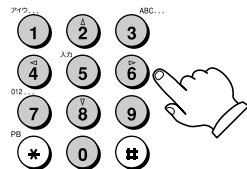
タンシュク ダ イヤル (01-50)
タンシュク バ ンゴ ウ=



6 登録する短縮番号（01～50）を押します。

例：「01」

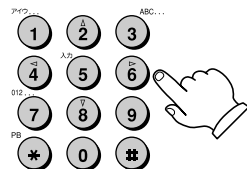
タンシュク=01
アイテ=



7 相手先の電話番号（最大36桁）を入力します。

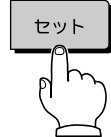
例：「0612345678」

タンシュク=01
アイテ=0612345678



8 **セット** ボタンを押します。

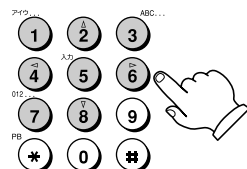
メイショウ=
(アイウエオカクケコサシスセソ)



9 相手先の名前（最大15文字）を入力します。

例：「ツウキサービス」

メイショウ=ツウキサービ ス
(アイウエオカクケコサシスセソ)

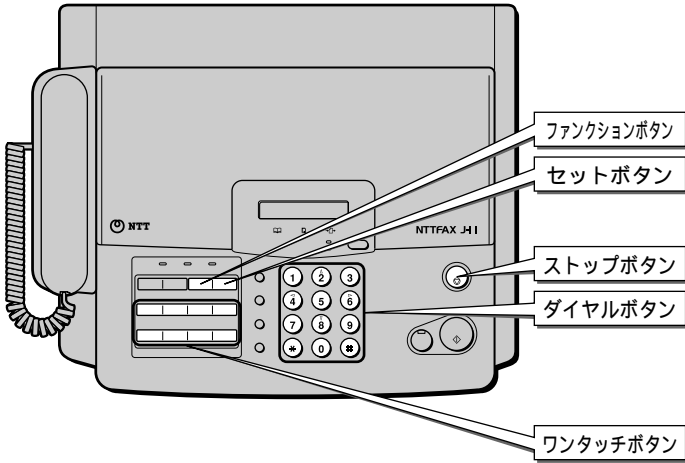


文字を入力するには (P28)

- 1 2 3
- 4 5 6
- 7 8 9
- * 0 #

電話番号や名前を登録するには

あらかじめワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録してある相手先を、グループダイヤルとしてワンタッチボタン（1～8）に登録できます。登録したワンタッチボタンを押すだけで、同じ原稿をグループに送ることができます。グループダイヤルには、最大20件登録できます。



グループダイヤルを登録する

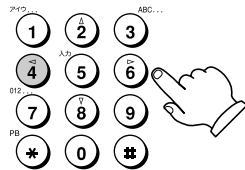
1 **ファンクション** ボタンを押します。

ファンクション メニュー (1-7)
1: キノウ センタク?



2 **4** を押します。

ファンクション メニュー (1-7)
4: ダイヤル トウロク?



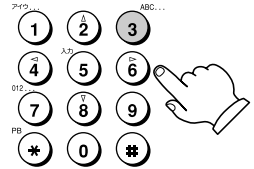
3 **セット** ボタンを押します。

ダイヤル トウロク (1-4)
1: ワンタッチ ダイヤル?



4 **3** を押します。

ダイヤル トウロク (1-4)
3: グループ ダイヤル?



5 **セット** ボタンを押します。

グループ ダイヤル (1-8)
ワンタッチ ヲ オンテクダ サイ



6 グループダイヤルとして登録するワンタッチボタン(1～8)を押します。

例: ワンタッチ5

グループ = 5 0アテサキ
アイテ = ■



7 相手先(最大20件)を次々に指定します。

例: ワンタッチ1、短縮03

グループ = 5 2アテサキ
アイテ = 01 *03 ■



8 **セット** ボタンを押します。

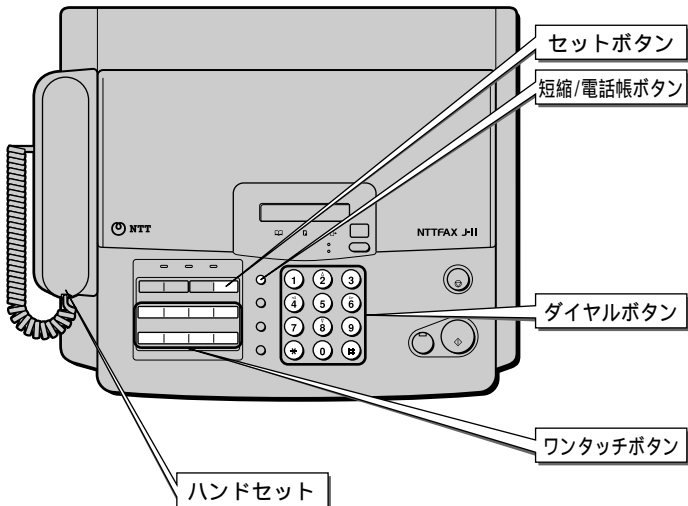
メイショウ=■
(アイウエオカキクケコサシスセソ)



- 1 2 3
- 4 5 6
- 7 8 9
- * 0 #

登録した電話番号で電話をかけるには

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに電話番号を登録しておく、簡単な操作で電話をかけることができます。



短縮ダイヤルで電話をかける

1 ハンドセットを取りあげます。

「ツー」という発信音が聞こえます。

ツウシ
 ダ イヤル シテクタ サイ

2 短縮ボタンを押します。

ツウシ
 アイテ=

短縮/電話帳
/ハイフン

ワンタッチダイヤルで電話をかける

1 ハンドセットを取りあげます。

「ツー」という発信音が聞こえます。

ツウシ
 ダ イヤル シテクタ サイ

2 ワンタッチボタン(1~8)を押します。

例: ワンタッチ1

*ダ イヤル チュウキ
 アイテ=0312345678

01	02	03	04
優先通話	タイム通話	送付書通話	メモリ通話
05	06	07	08
サイファ通話	ボーリング通話	海外通話	PCスカヤ

3 短縮番号(01~50)を押します。

例: 「01」

*ダ イヤル チュウキ
 アイテ=0612345678

1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#

3 相手の方が出たら、お話しください。

*ツウワ チュウキ
 アイテ=0312345678

4 相手の方が出たら、お話しください。

*ツウワ チュウキ
 アイテ=0612345678

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

'97 09/19 15:30

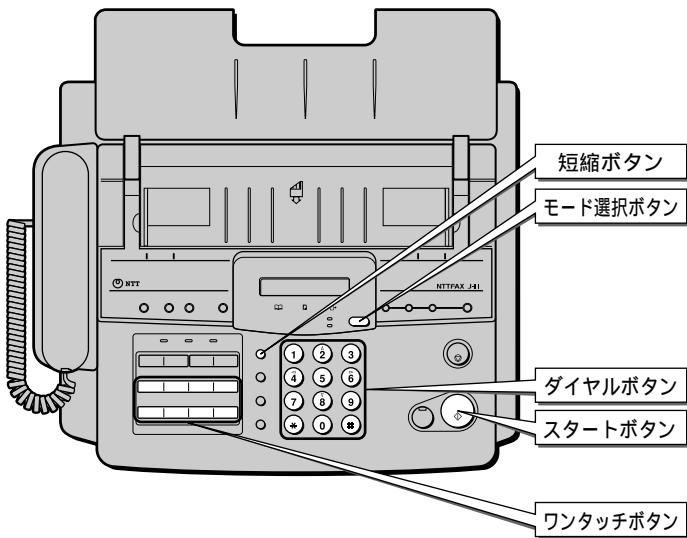
5 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

'97 09/19 15:30

- 1 2 3
- 4 5 6
- 7 8 9
- * 0 #

登録した電話番号でファクスを送るには

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに電話番号を登録しておく、簡単な操作でファクスを送ることができます。



4 スタートボタンを押します。

指定した相手先にダイヤルされます。

ダイヤル チュウ
アイテ=ツウキエイギョウ



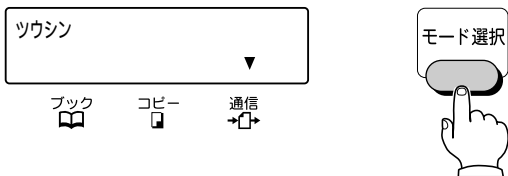
相手先につながると、自動的に送信が始まります。

ファクス ソウシ チュウ
03 1234 5678

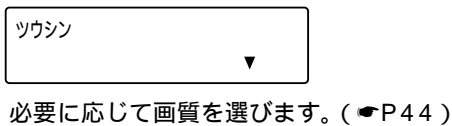
送信が終わると「ピー」という音が鳴ります。

ワンタッチダイヤルでファクスを送る

1 モード選択ボタンを押して、通信モードを選びます。

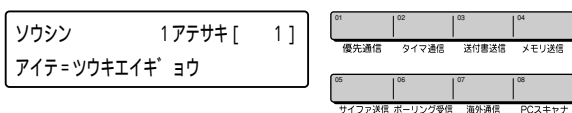


2 原稿をセットします。(P42)



3 ワンタッチボタン(1~8)を押します。

例：ワンタッチ1



ワンポイント.....

送信を中止するには

ストップボタンを押します。

ワンタッチボタンを押し間違えたときは

ストップボタンを押して、最初からやり直します。

本などの厚い原稿を送信するには

原稿を読み取る(P54) 2を押す [セット] ボタンを押す 手順3からの操作をする

原稿が詰まったときは

送信開閉部を開け、原稿を引き抜きます。(P128)

相手先がお話中などでつながらなかったとき

(自動再ダイヤル)

約3分間隔で2回まで、自動的に再ダイヤルします。

再ダイヤルする間隔と回数を変更することができます。

(P123)

手順3で、グループダイヤルとして登録してあるワンタッチボタンを押したときは

原稿をメモリに読み取ってから、グループダイヤルに登録してあるすべての相手先へ同じ原稿を送信します。

お知らせ

登録されていないワンタッチボタンを押すと、「ピピピ」という音が鳴り、「ダイヤルが トウロク サレテイマセン」と表示されます。

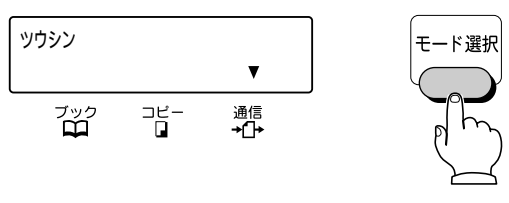
「コキ ショウ チュウ」と表示されているときは、接続しているお手持ちの電話機が使用中です。ファクスを使用することはできません。

手順4でスタートボタンを押さないときは、約5秒後に自動的にダイヤルを始めます。

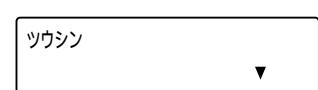
ただし、手順3で2か所以上の宛先を指定したときは、スタートボタンを押す必要があります。

短縮ダイヤルでファクスを送る

1 モード選択ボタンを押して、通信モードを選びます。

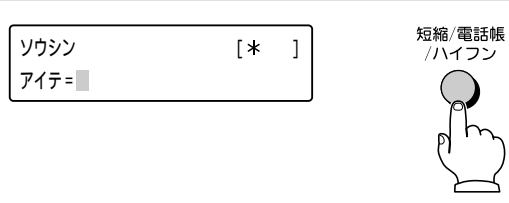


2 原稿をセットします。(P42)

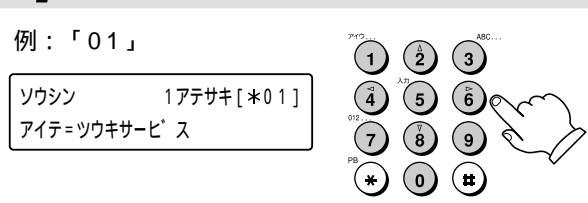


必要に応じて画質を選びます。(P44)

3 短縮ボタンを押します。

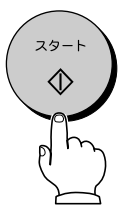
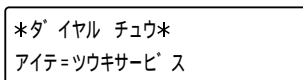


4 短縮番号(01~50)を押します。

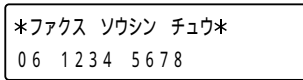


5  ボタンを押します。

指定した相手先にダイヤルされます。







相手先につながると、自動的に送信が始まります。



送信が終わると「ピー」という音が鳴ります。

ワンポイント.....

- 送信を中止するには  ボタンを押します。
- 短縮番号を押し間違えたときは  ボタンを押して、最初からやり直します。
- 本などの厚い原稿を送信するには 原稿を読み取る (P54)  を押す  ボタンを押す 手順3からの操作をする
- 原稿がつまったときは 送信閉閉部を開け、原稿を引き抜きます。(P128)
- 相手先がお話中などでつながらなかったとき (自動再ダイヤル) 約3分間隔で2回まで、自動的に再ダイヤルします。再ダイヤルする間隔と回数を変更することができます。(P123)

お知らせ

登録されていない短縮番号を押すと、「ピピピ」という音が鳴り、「ダイヤルガ トウロク サレテイマセン」と表示されます。

「コキ シヨウ チュウ」と表示されているときは、接続しているお手持ちの電話機が使用中です。ファクスを使用することはできません。

プリンタ / スキャナとして使うための準備をするには

本装置をファクスモデムを搭載または接続できるパソコンなどに接続し、パソコン側でファクスの送信・受信操作をすることによりプリンタやスキャナとして使うことができます。

PC接続を「スル」に設定します。(●P118)

パソコンに接続します。

プリンタとして使うとき

プリントする原稿をパソコンから本装置にファクス送信操作をして、送信します。

本装置が受信し、プリントします。

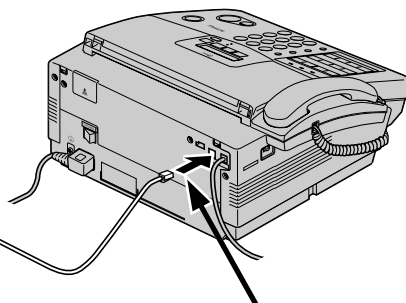
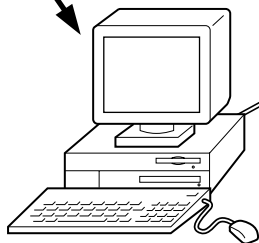
スキャナとして使うとき

スキャナする原稿を本装置からパソコンに送信します。

パソコンでファクス受信操作をし、ファクス原稿として受信します。

パソコンに接続する

- 1 パソコンのファクスモデムに電話機コード()を接続します。



- 2 電話機コード()を、ファクスの外付電話機用差込口に差し込みます。

パソコンと接続するための電話機コードは付属しておりません。電話機コードが必要なときは、当社のサービス取扱所またはお問い合わせになった販売店にお問い合わせください。

ワンポイント.....

- パソコンなどに必要なシステム条件はG3規格対応のファクス通信ができることです。パソコンなどから直接相手の方との通信をするにはパソコンなどを接続し、PC接続を「スル」、受信モードを「手動受信」に設定します。(●P48)
- 相手の方がファクスを送ってきたときはパソコンなどでファクスを直接受けることができます。
 - パソコンから相手の方にファクスを送るときは電話番号の頭に「0」、「P(ポーズ)」を付けてダイヤルすることによりファクスを送ることができます。
 - 外の方とパソコン通信をするときは電話番号の頭に「0」、「P(ポーズ)」を付けてパソコンからダイヤルします。

お知らせ

パソコンなどに必要なシステム条件について、詳しくはパソコンなどに添付された取扱説明書をご覧ください。プリンタ/スキャナとしてご利用のときは、電話回線を接続しなくても使用できます。電話がかかってきたとき、パソコンなどに自動着信させたくないときは、パソコンなどの設定を自動着信しないように設定してください。詳しくは、パソコンなどに添付された取扱説明書をご覧ください。お手持ちの電話機を接続してご使用になるときは、PC接続を「シナイ」に設定してください。

1 お使いになる前に

2 電話をかける/受ける

3 ファクスを送る/受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

6 プリンタ/スキャナとして使う

7 ナンバーディスプレイを利用する

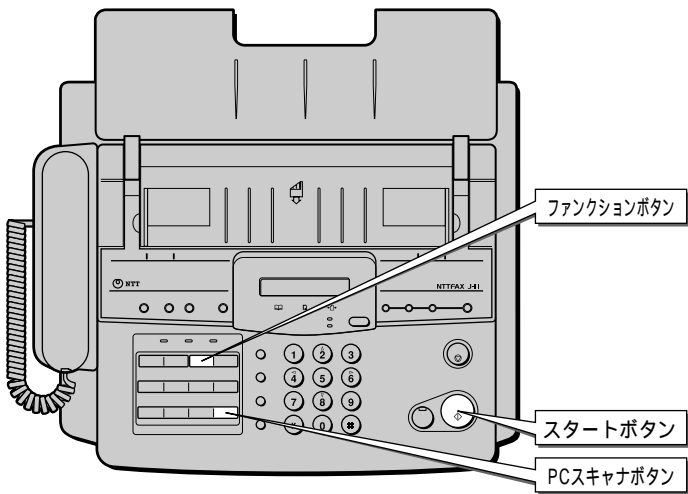
8 より便利に使う

9 登録/設定の操作一覧

10 こんなときには

スキャナとして使うには (PCスキャナ)

本装置で読み取った原稿をパソコンに送ることができます。パソコンではファクス受信操作をして原稿を受信します。



5 パソコン側でファクス受信操作をします。

PCスキャナ チュウ

1 原稿をセットします。(P42)

ツウシ

ブック コピー 通信

必要に応じて画質を選びます。(P44)

2 ファンクション ボタンを押します。

ファンクション メニュー (1-7)
1:キノウ センタク?

ファンクション



ワンポイント.....

PCスキャナを中止するには

ストップ ボタンを押します。

本などの厚い原稿をパソコンに送るには原稿を読み取る(P54) ③を押す

セット ボタンを押す 手順5の操作をする

3 PCスキャナボタンを押します。

PCスキャナ

08

PCスキャナ

4 スタート ボタンを押します。

PCスキャナ ジ ユンビ' チュウ

スタート



お知らせ

PCスキャナ中に電話がかかってくると呼出音が鳴ります。相手の方とお話しをしたいときは、ハンドセットを取りあげて相手の方とお話してください。

相手の方がファクスだった場合(「ポーポー・・・」と聞こえた場合)、ファクスの受信をするときはストップ ボタンを押して、PCスキャナを中止し、スタート ボタンを押してください。

PCスキャナ中にダイヤルインサービス、Fネットサービスはご利用になれません。

PCスキャナとしてご利用の場合、パソコンなどで受信した原稿には発信元などは印字されません。

パソコンなどの取り扱いについては、パソコンなどに添付された取扱説明書をご覧ください。

1 お使いになる前に

2 電話をかける/受ける

3 ファクスを送る/受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

6 プリンタ/スキャナとして使う

7 ナンバーディスプレイを利用する

8 より便利に使う

9 登録/設定の操作/一覧

10 こんなときには

ナンバー・ディスプレイを利用するには

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）とは、電話をかけた相手の方またはファクスを送った相手の方の電話番号（ファクス番号）などが、受信側のディスプレイに表示されるサービスです。このサービスを利用するためには、当社とのご利用契約が必要です。サービスを契約されたときは、必ず発信電話番号表示（ハッシンバンゴウ キノウ）を「スル」に設定してください。（●P118）お買い求めのときは「シナイ」に設定されています。

電話をかける / ファクスを送るとき

電話をかける相手の方またはファクスを送る相手の方が本サービスを利用している場合、今までどおりの電話のかけ方またはファクスの送り方で、あなたの電話番号が相手の方に通知されます。

通話 / 送信ごとに電話番号を通知しないようにするには

相手の方の電話番号の前に、番号を表示しない特定番号をダイヤルすると、その通話 / 送信については、電話番号は通知されません。ワンタッチダイヤルに番号を表示しない特定番号を登録しておく、ワンタッチボタンを押すだけで電話番号を通知しないで電話をかけることができます。

すべての通話 / 送信について電話番号を通知しないようにするには

局番なしの116番（無料）または当社の営業所へお問い合わせください。

相手の方に電話番号を通知すると

意図しない相手の方に電話番号が知られたりすることがあります。また、電話勧誘など思わぬ使われ方をされることがありますので、ご注意ください。

相手の方に電話番号を通知しないと

相手の方が本サービスを利用しているとき、電話をかけてきた人がわからないため、電話に出ただけないこともあります。

本サービスに関するお問い合わせは

局番なしの116番（無料）または当社の営業所へお問い合わせください。

電話がかかってきた / ファクスが送られてきたとき

電話に出る前に、電話をかけてきた相手の方またはファクスを送ってきた相手の方の電話番号（最大20桁）がディスプレイに表示されるので、相手の方を確認してから電話に出ることができます。相手の方の名称がワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている場合は、登録されている名称がディスプレイに表示されます。

電話がかかってきたときの表示例

ジ ュシ ン チュウ

電話番号を受信中です。この表示中は、電話に出ることも電話をかけることもできません。



チャクシ ン チュウ
0312345678

呼出音が鳴ります。



ツウワ チュウ
0312345678

電話に出ると表示されます。

相手先の名称が登録されているときの表示例

チャクシ ン チュウ
ツウキエイギ' ヨウ

ファクスが送られてきたときの表示例

ファクス ジ ュシ ン チュウ
0312345678

相手の方の電話番号が表示されていないとき

相手の方の電話番号が表示されないときは、次のような表示になります。

表 示	内 容
チャクシ ン チュウ コウシュウテ' ンワ	公衆電話から電話がかかってきたときに表示します。
チャクシ ン チュウ ヒツウチ	かけてきた相手の方が電話番号を表示しない操作をしたとき、または表示しない契約になっているときに表示します。
チャクシ ン チュウ ヒョウジ' ケンガ' イ	ナンバー・ディスプレイのサービスを提供していないエリアから電話がかかってきたとき、またはサービスが競合しているため電話番号を通知できない場合に表示します。
チャクシ ン チュウ ジ ュシ ン エラー	一時的な電話回線の雑音などにより、データが正常に受信できなかったときに表示します。

サービスを利用した便利な機能

ナンバー・ディスプレイを利用すると、いろいろな便利な機能を使うことができます。

かけてきた相手の方の電話番号で着信音を変えるには
(発信電話番号着信音設定)

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録してある相手の方から電話がかかってくる／ファクスが送られてくると、通常とは違う着信音が鳴るように設定することができます。着信音設定を「スル」に設定したあと(●P118)、ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルの発信番号着信音を「スル」に設定します。(●P114)ただし、ファクスからお手持ちの電話機を呼び出しているとき(●P36)に電話がかかってきたときは、着信音を変えることはできません。

かけてきた相手の方の電話番号を記憶させるには
(発信電話番号蓄積)

電話がかかってきた／ファクスが送られてきた相手の方の電話番号(最大20件、最大20桁／1件)を記憶するように設定することができます。(●P118)記憶された電話番号は、最新のものから順番にディスプレイに表示したり消去したりすることができます。(●P73)ただし、停電などで電源が切れた場合、記憶されていたすべての電話番号は消去されます。

かけてきた相手の方にこちらからかけ直すには
かけてきた方の電話番号をディスプレイに表示させて、こちらから電話をかけ直すことができます。(●P73)

かけてきた相手の方の電話番号で電話呼出をするには
(発信電話番号着信先指定)

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録してある相手の方から電話がかかってきた／ファクスが送られてきたとき、設定している受信モード(●P48)にかかわらず、電話で呼び出すように設定することができます。着信先指定を「スル」に設定したあと(●P118)、ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルの着信先指定を「デンワ」に設定します。(●P114)「ジドウ」に設定した場合は、設定されている各受信モードの応答のしかたとなります。


相手の方がかけてきた内線指定番号により電話とファクスを使い分けるには(モデムダイヤルイン)

相手の方が、あらかじめお知らせしておいた内線指定番号(最大20桁)に電話をかけた／ファクスを送ったときに、自動的にそれぞれ電話／ファクス受信に切り替わるように設定することができます。(●P112)

ナンバー・ディスプレイに加入すると、通常のダイヤルインサービスを利用できなくなりますが、モデムダイヤルインを利用すれば、通常のダイヤルインサービスと同じように電話とファクスを使い分けることができます。



お知らせ

ワンタッチダイヤルの登録などの操作中に電話がかかってきた場合は、相手の方の電話番号は表示されません。 ボタンを押すと表示されます。

本装置をプリンタやスキャナとして使用しているときに電話がかかってきた場合は、相手の方の電話番号は表示されません。

原稿を原稿台にセットした状態で、番号を表示しない特定番号を登録したワンタッチボタンと他のワンタッチボタンを押すと、順次同報送信となります。

相手の方の電話番号がワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。名称が登録されていないときは、相手の方の電話番号が表示されます。

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルには市外局番から登録してください。市内からの電話の場合、市外局番から登録していないと、登録されている名称が表示されません。また、発信電話番号着信音設定や発信電話番号着信先指定の各機能が正しく動きません。

構内交換機やホームテレホンなどに接続されているときは、ナンバー・ディスプレイをご利用になれないことがあります。

1本の電話回線で2セット以上の電話機を接続してご利用の場合は、発信電話番号が正常に表示されないおそれがあります。

ファクスに接続したお手持ちの電話機では、ナンバー・ディスプレイはご利用になれません。

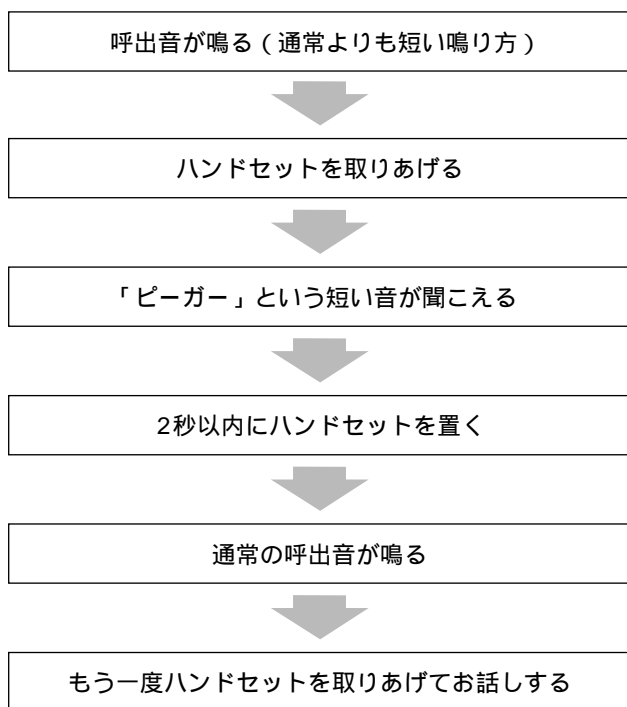
停電時は、ナンバー・ディスプレイを利用した機能はご利用できません。

CESに接続しているときは、CES内線からの着信時にはナンバー・ディスプレイは提供されません。

ナンバー・ディスプレイを利用するには

ナンバー・ディスプレイ利用中の停電のときの電話の受け方

停電になると、通常の操作では電話を受けることができません。以下の手順で電話を受けてください。



お知らせ

停電時には、かけてきた方の電話番号は表示されません。電話をかけようとしてハンドセットを取りあげたときに「ピーガー」という短い音が聞こえたときは、電話がかかってきているので、すぐにハンドセットを置いてください。その後呼出音が鳴ったら、ハンドセットを取りあげてお話しください。このような場合は、かけてきた方の電話番号は表示されません。

通常よりも短い鳴り方で呼出音が5～6回鳴ったあと通常の呼出音に変わったときは、ハンドセットを取りあげるだけで相手の方とつながります。

かけてきた方にこちらからかけ直すには

かけてきた方の電話番号は最大20件（最大20桁 / 1件）記憶され（電話に出なかったときも記憶されます）、これを使ってこちらから電話をかけ直すことができます。あらかじめ発信電話番号表示と発信電話番号蓄積（ハッシンバンゴウ チクセキ）を「スル」に設定しておいてください。（●P118）お買い求めのときは「シナイ」に設定されています。

1 ハンドセットを取りあげます。

ツウシン
ダ'イヤル シテクダ'サイ

2 ボタンを押します。

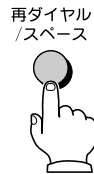
ファンクション メニュー (1-7)
1: キノウ センタク?



3 再ダイヤルボタンを繰り返し押し、電話をかけたい相手の方の電話番号を表示させます。

記憶した電話番号のうち最新のものから順番に表示されます。

ハッシン デンワ バンゴウ
0312345678

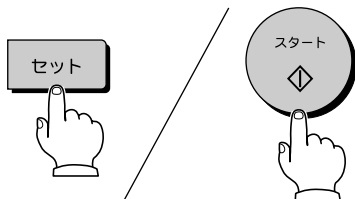


最も古い電話番号が表示されているときに、再ダイヤルボタンを押すと、最新の電話番号が表示されます。

4 ボタンまたは ボタンを押します。

表示されている電話番号がダイヤルされます。

*ダ'イヤル チュウキ
アイテ=0312345678






相手の方が出たら、お話しください。



ワンポイント.....

操作を中止するには

 ボタンを押します。

かけてきた方の電話番号を表示させるには
ハンドセットを置いたまま  ボタン、再ダイヤルボタンの順に押すと、受信した最新の電話番号が表示されます。再ダイヤルボタンを繰り返し押すと、最新のものから順番に表示されます。最も古い電話番号が表示されているときに再ダイヤルボタンを押すと、最新の電話番号が表示されます。  ボタンを押す（またはハンドセットを取りあげる）と表示が消えます。




記憶した電話番号が1件もないときは

「ピピピ」という音が鳴り、ディスプレイに「*アリマセン*」と表示されます。

かけてきた方の電話番号がワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤルに登録されているときは
手順3で、登録されている名称が表示されます。ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤルに名称が登録されていないときは受信した電話番号が表示されます。

記憶した電話番号が20件を超えたときは


最も古いものから順に消去されます。

記憶した電話番号を個別に消去するには
消去したい電話番号を表示しているときに、クリアボタンを押したあと、  ボタンを押します。  ボタンを押さずに  ボタンを押すと、その電話番号は消去されません。ハンドセットを取りあげているときも電話番号を消去することはできません。



お知らせ

かけてきた方の電話番号は、電話またはファクスの区別なく記憶されます。

手順3で「ヒツウチ」「ヒョウジケンガイ」「コウシュウデンワ」などが表示されているときに  ボタンを押すと、「ピピピ」という音が鳴り、電話をかけることはできません。

こちらからかけ直すことができるのは電話のみで、ファクスを送信することはできません。電話でお話ししたあと、手動送信でファクスを送ることはできません。

1 お使いになる前に

2 電話をかける / 受ける

3 ファクスを送る / 受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

6 プリンタ / スキャナとして使う

7 ナンバーディスプレイを利用する

8 より便利に使う

9 登録 / 設定の操作 / 一覧の

10 こんなときには

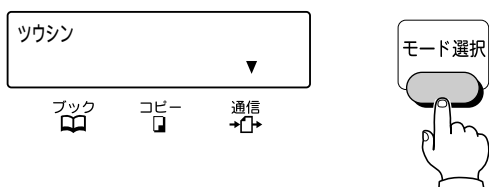


送信の便利な機能を使うには

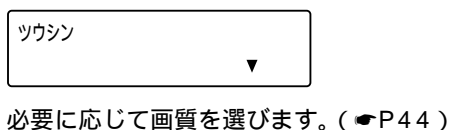
メモリに記憶させて送信する (メモリ送信)

原稿をいったんメモリに読み込んでから送信することができます。送信が終わるのを待たずに原稿を持ち帰ることができます。

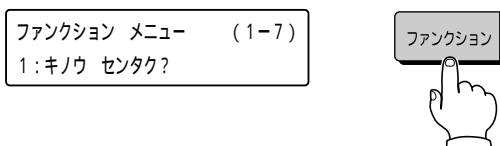
1 モード選択ボタンを押して、通信モードを選びます。



2 原稿をセットします。(☛P42)



3 **ファンクション** ボタンを押します。

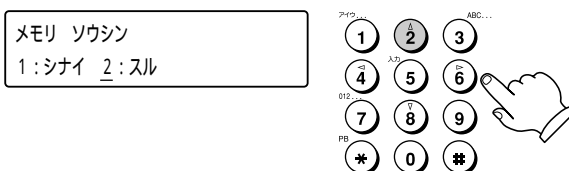


4 メモリ送信ボタンを押します。

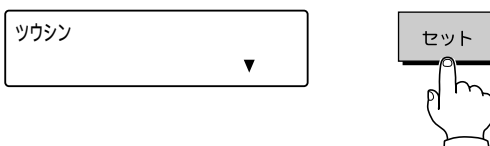


5 **2** を押します。

- ① 「シナイ」：メモリ送信をしない
- ② 「スル」：メモリ送信をする

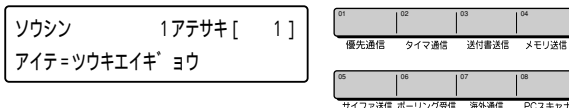


6 **セット** ボタンを押します。



7 相手先を指定します。

例：ワンタッチ1



複数の相手先を指定することができます。(☛P77)

8 ボタンを押します。

受付No.を表示したあと、原稿の読み取りを始めます。

ウケツケNo. = <01>
メモリ ソウシン

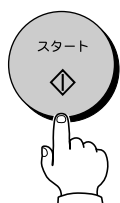


チクセキ チュウ <01> 03%
マイスウ=01



原稿の読み取りが終わると、自動的に送信を始めます。

ファクス ソウシン チュウ <01>
03 1234 5678



ワンポイント.....

送信を中止するには (P126)

メモリに読み込める原稿枚数は

A4標準原稿(標準モード)で約30枚まで読み込めます。

原稿の読み取り中にメモリがいっぱいになったときは以下のディスプレイを表示し、メモリの読み込みが終わったページまでを送信することができます。

03 ページ カリヨウ
トリケシ? 1:ハイ 2:イイエ

送信するときは、**2**を押す

送信しないときは、**1**を押す

10秒以上何もしていないと、メモリの内容は送信されません。

1枚目の原稿を読み取り中にメモリがいっぱいになったときは、メモリ送信をすることはできません。メモリ送信をしないで送信してください。(P46)

常にメモリ送信を使いたいときはホームポジションでメモリ送信を「スル」に設定します。(P85) この場合、手順3~6の操作をしなくても次の手順に進むことができます。

お知らせ

メモリの使用量(%)表示は、あくまでも目安として利用してください。



送信の便利な機能を使うには

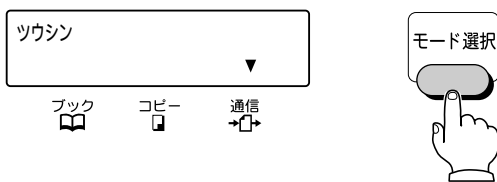
複数の相手先に送信する (順次同報送信)

1回の操作で複数の相手先(最大20件)へ送信することができます。原稿はメモリに読み込みます。

複数の相手先を指定するときは、ダイヤルボタンを使って相手先を指定することはできません。

あらかじめ、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルを登録しておいてください。(P56、58、60)

1 モード選択ボタンを押して、通信モードを選びます。



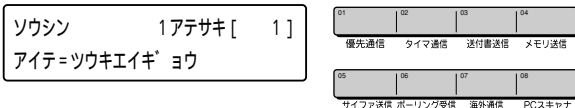
2 原稿をセットします。(P42)



必要に応じて画質を選びます。(P44)

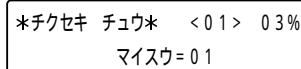
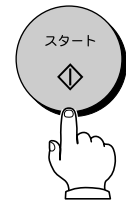
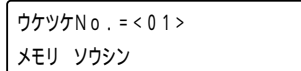
3 複数の相手先(最大20件)を指定します。(P77)

例: ワンタッチ1

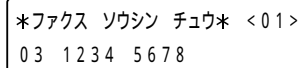


4 スタートボタンを押します。

受付No.を表示したあと、原稿の読み取りを始めます。



原稿の読み取りが終わると、相手に順次ダイヤルし、送信を始めます。

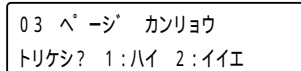


ワンポイント.....

送信を中止するには (P126)

メモリに読み込める原稿枚数は

A4標準原稿(標準モード)で約30枚まで読み込みます。原稿の読み取り中にメモリがいっぱいになったときは以下のディスプレイを表示し、メモリの読み込みが終わったページまでを送信することができます。



送信するときは、②を押す
送信しないときは、①を押す

10秒以上何もしていないと、メモリの内容は送信されません。

1枚目の原稿を読み取り中にメモリがいっぱいになったときは、順次同報送信をすることはできません。メモリ送信をしないで1相手先ごとに送信してください。(P46)

順次同報送信が終わると

その結果を「マルチ通信レポート」としてプリントします。設定を変更して、プリントしないようにすることができます。(P116)



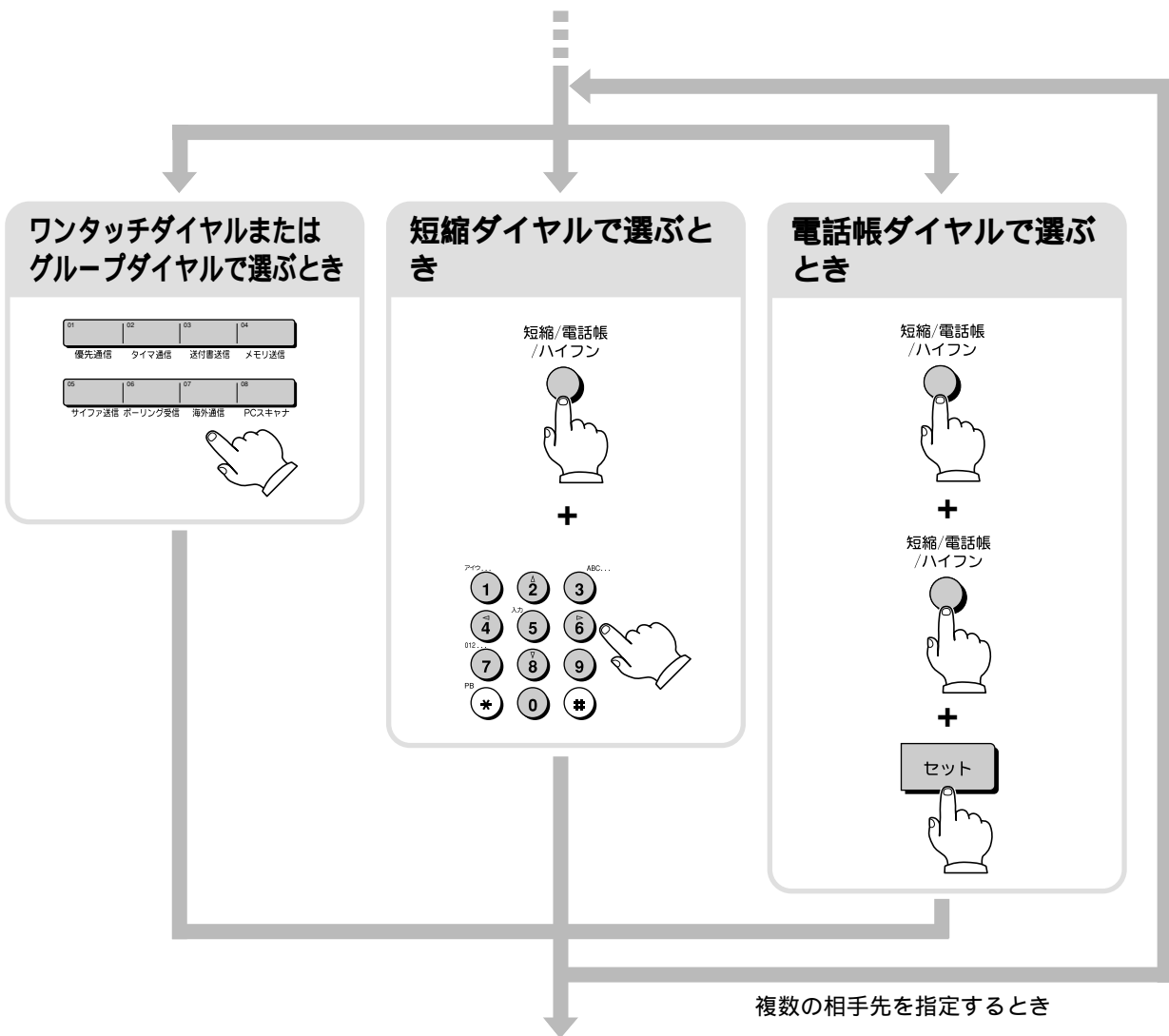
お知らせ

1件目の相手先を指定したあと、約5秒以内に2件目の相手先を指定してください。1件目を指定してから約5秒たつと自動的に送信が始まります。

グループダイヤルを指定したときは、登録してあるすべての相手先を件数として数えます。

複数宛先を指定するとき

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳ダイヤル、グループダイヤルを使って複数の相手先（最大20件）を選ぶことができます。



相手先を間違えたときは、クリアボタンを押して指定し直します。



送信の便利な機能を使うには

他の送信に割り込んで送信する (優先通信)

複数の相手先へ送信しているときなどに、急いで送信したい原稿を、現在通信中の相手先のあとに送信することができます。優先通信を指定できるのは1送信のみです。

1 複数の相手先へ送信中にモード選択ボタンを押して、通信モードを選びます。

ファクス ソウシン チュウ <01>
 06 1234 5678

↓

ツウシン

ブック
コピー
通信

モード選択

2 原稿をセットします。(P42)

ツウシン

必要に応じて画質を選びます。(P44)

3 ファンクション ボタンを押します。

ファンクション メニュー (1-7)
 1:キノウ センタク?

↓

ファクス ソウシン チュウ <01>
 06 1234 5678

↓

ファクス ソウシン チュウ
 03 1234 5678

ファンクション

4 優先通信ボタンを押します。

ツウシン

↓

ファクス ソウシン チュウ <01>
 06 1234 5678

↓

ファクス ソウシン チュウ
 03 1234 5678

01
優先通信

5 相手先を指定します。

例：ワンタッチ1

ソウシン 1アテサキ[1]
 アイテ=ツウキエイキ' ヨウ

01
優先通信

02
タイム通信

03
送付書通信

04
メモリスending

05
サイファ送信

06
ボーリング受信

07
海外通信

08
PCスキャナ

複数の相手先を指定することができます。(P77)

6 スタート ボタンを押します。

優先通信が予約されます。

ヨヤク カンリョウ

↓

ファクス ソウシン チュウ <01>
 06 1234 5678

↓

ファクス ソウシン チュウ
 03 1234 5678

スタート

現在の通信が終わると、自動的に送信を始めます。

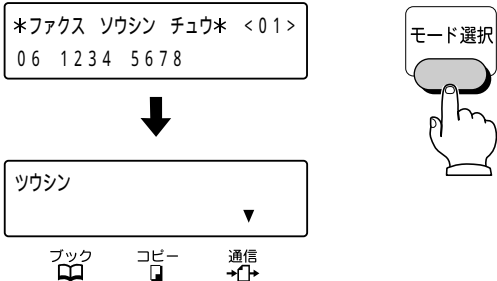
ワンポイント ワンポイント.....

優先通信の予約を解除するには (P126)
 原稿をメモリに読み込んで送信するには
 原稿をメモリに読み込む (P74) 手順1~6 手順3
 からの操作をする

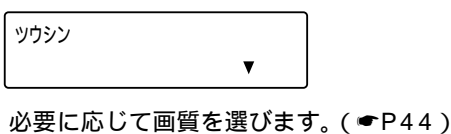
送信を予約する（送信予約）

メモリ送信中または受信中に、次の送信を予約することができます。送信予約は、タイマ通信、優先通信、現在行われている通信を含めて、最大10通信まで予約できます。

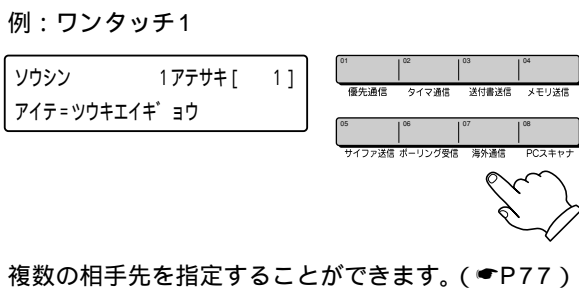
1 送信中にモード選択ボタンを押して、通信モードを選びます。



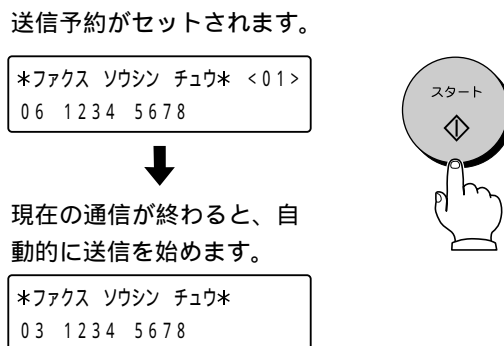
2 原稿をセットします。(☛P42)



3 相手先を指定します。



4 スタートボタンを押します。



ワンポイント.....

送信予約を解除するには (☛P126)
原稿をメモリに読み込んで送信するには
原稿をメモリに読み込む (☛P74) 手順1~6 手順3
からの操作をする

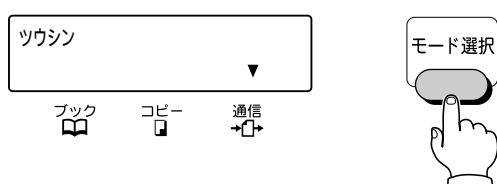


送信の便利な機能を使うには

指定した時刻に送信する (タイマ送信)

指定した時刻に、自動的にファクスを送信することができます。タイマ送信をセットできるのは1送信のみです。

1 モード選択ボタンを押して、通信モードを選びます。



2 原稿をセットします。(P42)



3 **ファンクション** ボタンを押します。

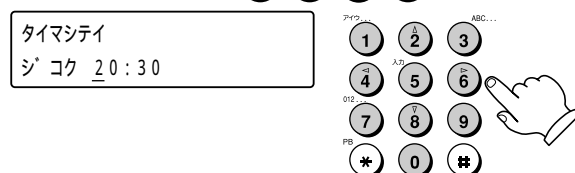


4 タイマ通信ボタンを押します。



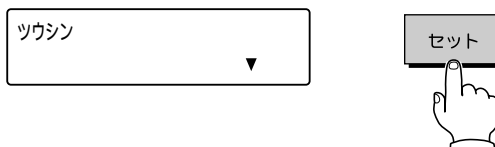
5 送信する時刻を入力します。

例：午後8時30分は **2** **0** **3** **0** と入力



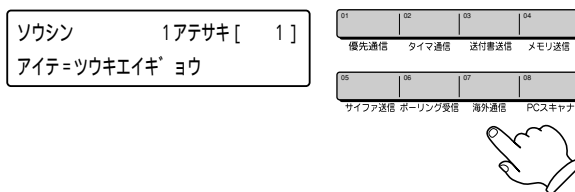
時刻は24時間制で入力します。

6 **セット** ボタンを押します。



7 相手先を指定します。

例：ワンタッチ1



複数の相手先を指定することができます。(P77)



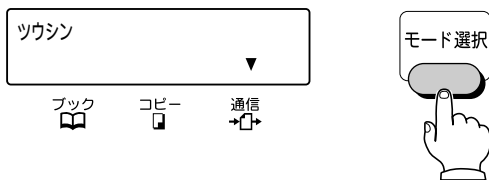
送信の便利な機能を使うには

送付書を付けて送信する (送付書送信)

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルを使って送信したときに、相手先名や送信枚数をプリントした送付書を、自動的に送信原稿の最初に付けて送信することができます。

あらかじめ、相手先名をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録しておいてください。(●P56、58、60)

1 モード選択ボタンを押して、通信モードを選びます。

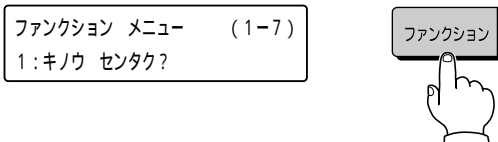


2 原稿をセットします。(●P42)

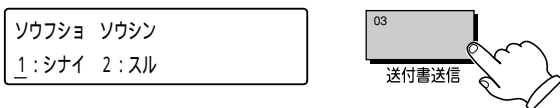


必要に応じて画質を選びます。(●P44)

3 **ファンクション** ボタンを押します。

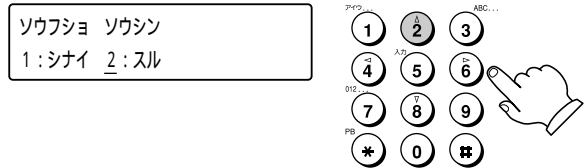


4 送付書送信ボタンを押します。

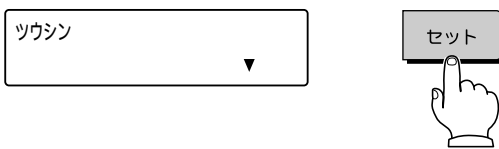


5 **2** を押します。

- ① 「シナイ」：送付書送信をしない
- ② 「スル」：送付書送信をする

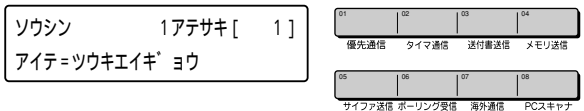


6 **セット** ボタンを押します。



7 相手先を指定します。

例：ワンタッチ1



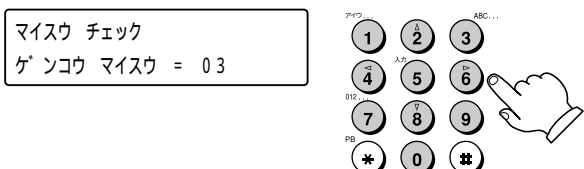
複数の相手先を指定することができます。(●P77)

8 **セット** ボタンを押します。



9 送信する原稿枚数を入力します。

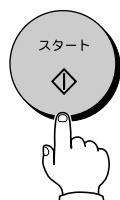
例：「03」



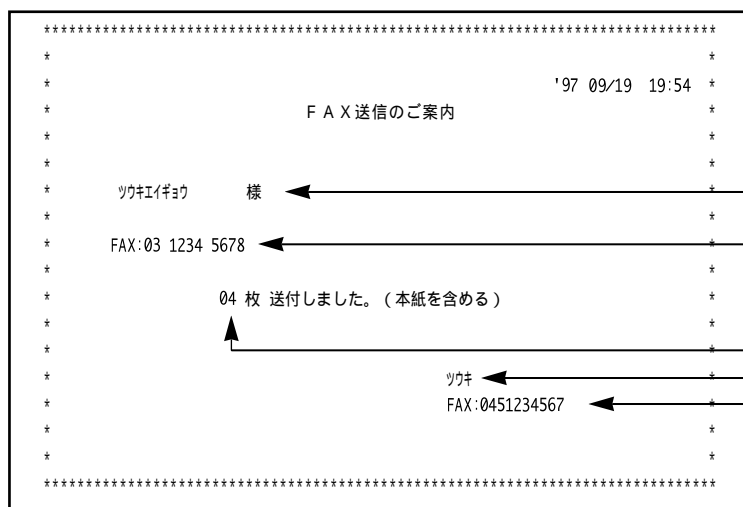
10 ボタンを押します。

ダイヤルを始め、送付書を付けて自動的に送信を始めます。

*ファクス ソウシン チュウキ
03 1234 5678




送付書の例



ワンポイント.....

送信を中止するには

 ボタンを押します。

メモリに読み込んで送信していた場合は、「通信の予約を解除するには」(P126)を参照してください。

原稿をメモリに読み込んで送信するには

原稿をメモリに読み込む(P74)手順1～6 手順3からの操作をする

手順9で送信枚数を入力しなかったときは

送付書に送信枚数をプリントしません。

常に送付書送信を使いたいときは

ホームポジションで送付書送信を「スル」に設定します。(P85)この場合、手順3～6の操作をしなくても次の手順に進むことができます。



お知らせ

ダイヤルボタンを使って相手先を指定することもできますが、相手先名は送付書にプリントされません。

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに相手先名が登録されていないときは、相手先名を送付書にプリントしません。

通信管理レポートや通信レポートなどの通信枚数は、送付書を含めた送信枚数がプリントされます。

手動送信の場合は、送付書をつけて送信することはできません。

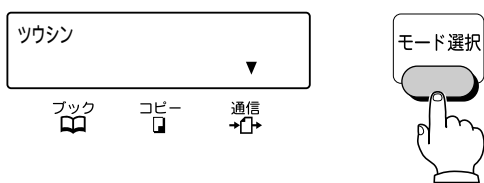


送信の便利な機能を使うには

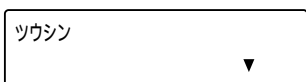
海外に送信する（海外通信）

海外へファクスを送る場合、回線の状態によって画像が乱れたり、通信が中断してしまうことがあります。海外通信機能を使うと、そのような通信障害を軽減することができます。

1 モード選択ボタンを押して、通信モードを選びます。

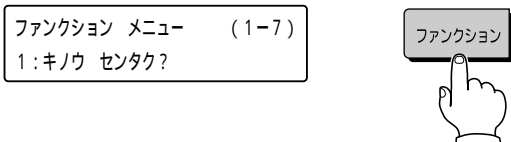


2 原稿をセットします。（☛P42）

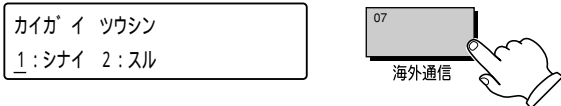


必要に応じて画質を選びます。（☛P44）

3 **ファンクション** ボタンを押します。

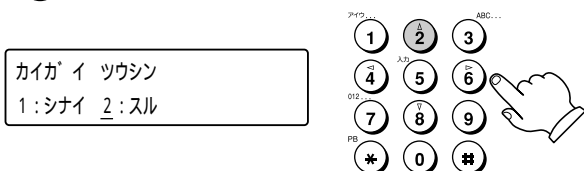


4 海外通信ボタンを押します。

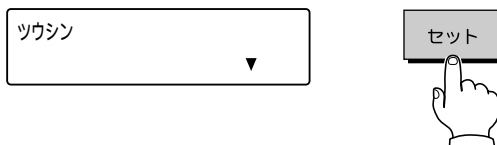


5 **2** を押します。

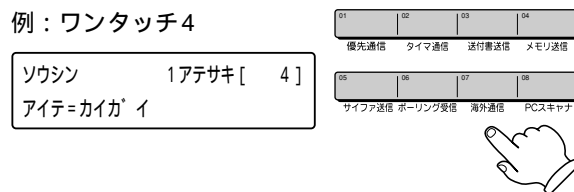
- ① 「シナイ」：海外通信をしない
- ② 「スル」：海外通信をする



6 **セット** ボタンを押します。

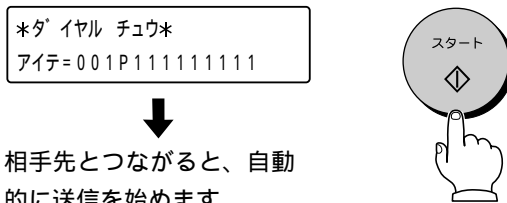


7 相手先を指定します。

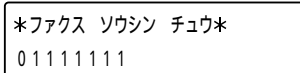


複数の相手先を指定することができます。（☛P77）

8 **スタート** ボタンを押します。



相手先とつながると、自動的に送信を始めます。



ワンポイント.....

送信を中止するには

ストップ ボタンを押します。

メモリに読み込んで送信していた場合は、「通信の予約を解除するには」（☛P126）を参照してください。

原稿をメモリに読み込んで送信するには
原稿をメモリに読み込む（☛P74）手順1～6 手順3からの操作をする

お知らせ

海外通信機能を使っても、正常に通信できないことがあります。その場合は当社のサービス取扱所へご相談ください。

よく使うモードをホームポジションとして設定する

画質、サイファ送信、メモリ送信、送付書送信、読み取り濃度、コピー画質のホームポジションを設定します。

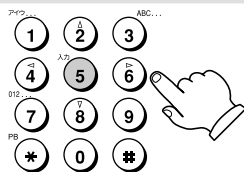
1 **ファンクション** ボタンを押します。

ファンクション メニュー (1-7)
1: キノウ センタク?



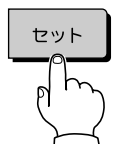
2 **5** を押します。

ファンクション メニュー (1-7)
5: セッテイ モード?



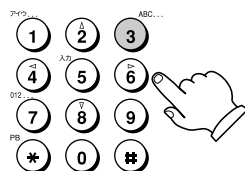
3 **セット** ボタンを押します。

セッテイ モード (1-4)
1: レポート セッテイ?



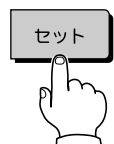
4 **3** を押します。

セッテイ モード (1-4)
3: ソウチ セッテイ?



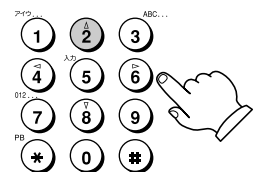
5 **セット** ボタンを押します。

ソウチ セッテイ (1-3)
1: ハッシンモト キロク?



6 **2** を押します。

ソウチ セッテイ (1-3)
2: ホームポ ジ ション?



7 **セット** ボタンを押します。

画質の設定画面が表示されます。

ホームポ ジ ション
ガ シツ [ヒョウジュン]



お買い求めのときは「ヒョウジュン」に設定されています。

8 原稿台を開け、画質ボタンを押して設定値を選びます。

「ヒョウジュン」：新聞活字より大きな文字の原稿をよく使う

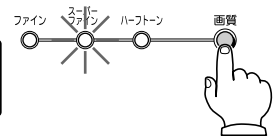
「ファイン」：新聞活字程度の文字の原稿をよく使う

「スーパーファイン」：新聞活字より小さな文字の原稿をよく使う

「ハーフトーン」：写真やカタログなどの原稿をよく使う

例：スーパーファイン

ホームポ ジ ション
ガ シツ [スーパーファイン]



次ページに続きます。

1 お使いになる前に

2 電話をかける/受ける

3 ファックスを送る/受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

6 プリンタ/スキャナとして使う

7 ナンバーディスプレイを利用する

8 より便利に使う

9 登録/設定の操作一覧

10 こんなときには



送信の便利な機能を使うには

前ページからの続きです。

9 **セット** ボタンを押します。

サイファ送信の設定画面が表示されます。

ホームボ ジ ション
サイファ ソウシン 1:シナイ 2:スル



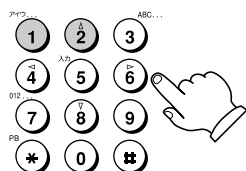
お買い求めのときは「シナイ」に設定されています。

10 ① または ② を押して、設定値を選びます。

- ① 「シナイ」：通常、サイファ送信を指定しない
- ② 「スル」：通常、サイファ送信を指定する

例：「スル」

ホームボ ジ ション
サイファ ソウシン 1:シナイ 2:スル



13 **セット** ボタンを押します。

送付書送信の設定画面が表示されます。

ホームボ ジ ション
ソウフショ ソウシン1:シナイ 2:スル



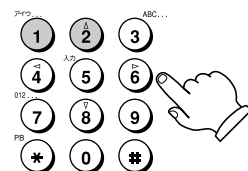
お買い求めのときは「シナイ」に設定されています。

14 ① または ② を押して、設定値を選びます。

- ① 「シナイ」：通常、送付書送信を指定しない
- ② 「スル」：通常、送付書送信を指定する

例：「スル」

ホームボ ジ ション
ソウフショ ソウシン1:シナイ 2:スル



11 **セット** ボタンを押します。

メモリ送信の設定画面が表示されます。

ホームボ ジ ション
メモリ ソウシン 1:シナイ 2:スル



お買い求めのときは「シナイ」に設定されています。

15 **セット** ボタンを押します。

読み取り濃度の設定画面が表示されます。

ホームボ ジ ション
ヨミトリ ノウド 1:フツウ



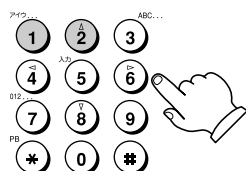
お買い求めのときは「フツウ」に設定されています。

12 ① または ② を押して、設定値を選びます。

- ① 「シナイ」：通常、メモリ送信を指定しない
- ② 「スル」：通常、メモリ送信を指定する

例：「スル」

ホームボ ジ ション
メモリ ソウシン 1:シナイ 2:スル

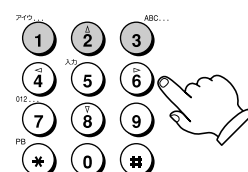


16 ① ~ ③ を押して、設定値を選びます。

- ① 「フツウ」：コピーや黒ペン書きの原稿をよく使う
- ② 「ウスク」：カラー紙や濃すぎる原稿をよく使う
- ③ 「コク」：鉛筆書きや色ペン書きの原稿をよく使う

例：「コク」

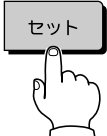
ホームボ ジ ション
ヨミトリ ノウド 3:コク



17 セット ボタンを押します。

コピー画質の設定画面が表示されます。

ホームボタシオン
コピーガシツ [ファイン]



お買い求めのときは「ファイン」に設定されています。

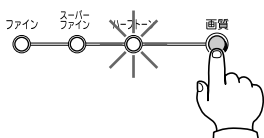
18 画質ボタンを押して、設定値を選びます。

「ファイン」：新聞活字程度の文字の原稿をよくコピーする

「ハーフトーン」：写真やカタログなどの原稿をよくコピーする

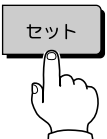
例：ハーフトーン

ホームボタシオン
コピーガシツ [ハーフトーン]



19 セット ボタンを押します。

ソウチセツテイ (1-3)
3:ルスロクムオンケンシュツ?



20 ストップ ボタンを押します。

'97 09/19 15:30



ワンポイント.....

設定を中止するには
 ボタンを押します。

お知らせ

黄色い文字は読み取ることができません。また、薄い色で書かれた文字は読み取りできないことがあります。

画質の選択

標準：新聞活字より大きな文字



ファイン：新聞活字程度の文字



スーパーファイン：新聞活字より小さな文字



ハーフトーン：写真やカタログ等の原稿



読み取り濃度の選択

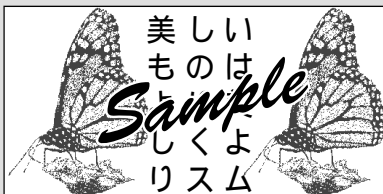
ふつう：コピーや黒ペン書きの原稿



薄く：カラー紙や濃すぎる原稿



濃く：鉛筆書きや色ペン書きの原稿





受信の便利な機能を使うには

受信したファクスをメモリに保存する（メモリ受信）

留守受信（●P49）にセットしているとき、受信したファクスをメモリに保存しておいて、あとでまとめてプリントすることができます。また、外出先からリモート取り出しをして、メモリに保存された原稿を取り出すこともできます。（●P89）メモリ受信を「スル」に設定してください。（●P117）

メモリ受信をセットする

1 原稿台を開け、受信モードボタンを押して、留守ランプを点灯させます。

メモリ受信がセットされます。
ファクスを受信すると、メモリに保存されます。

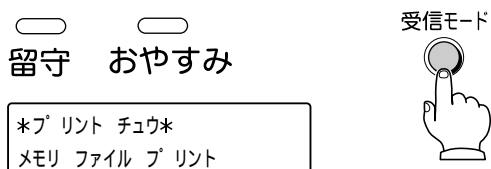


メモリ受信した原稿をプリントする

メモリ受信した原稿があるときは、メモリランプが点灯しています。

1 原稿台を開け、受信モードボタンを押して、留守ランプとおやすみランプの両方を消灯させます。

メモリ受信した原稿がプリントされます。
プリントした原稿は、メモリから消去されます。



ワンポイント.....

メモリ受信を解除するには
受信モードボタンを押して、留守ランプとおやすみランプの両方を消灯させます。

メモリ受信した原稿があるときは、メモリの内容を自動的にプリントしてから解除します。

メモリに読み込める原稿枚数は
A4標準原稿（標準モード）で約30枚まで読み込めません。

お知らせ

メモリがいっぱいのときは、メモリ受信をセットしても、メモリ受信をすることはできません。受信した原稿は記録紙にプリントされます。

メモリがいっぱいで記録紙がないときは、ファクスを受信することはできません。

手動受信、自動受信にセットされているときは、メモリ受信をすることはできません。

記録紙がないときは、メモリ受信の内容をプリントすることはできません。

メモリ受信した原稿をプリント中に、受信モードを変更することはできません。



受信の便利な機能を使うには

相手先を選んで受信する (セレクト受信)

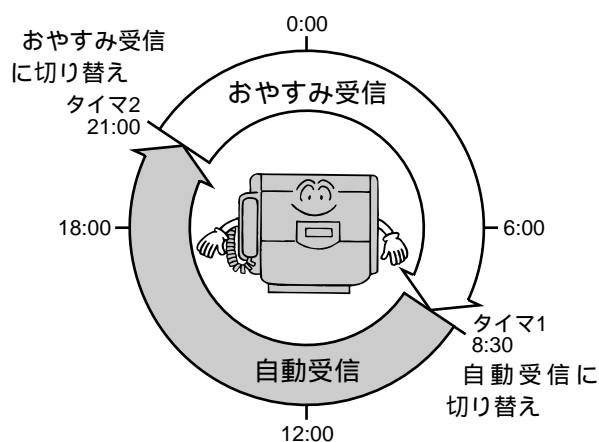
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した電話番号の下4桁と、相手先から送られてくるID番号の下4桁が一致する相手からのファクスだけを受けることができます。いたずらファクスや無用のファクスの受信を防止するのに便利です。セレクト受信を「スル」に設定してください。(●P117) お買い求めのときは「シナイ」に設定されています。

設定した時刻に受信モードを切り替える (受信モードタイマ切替)

設定した時刻にファクスの受けかた(受信モード)の切り替えをすることができます。ファクスの受けかた(受信モード)には、手動受信、自動受信、留守受信、おやすみ受信があります。(●P48、112)


受信モードタイマ切替の例

例：8:30から自動受信にする
21:00からおやすみ受信にする



お知らせ

セレクト受信したい相手の方には、ID番号に電話番号を正確に登録していただけてください。

お話しをしてから  ボタンを押したときは、相手先をセレクトしないですべてのファクスを受信します。

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに電話番号を登録していない場合は、受信できません。

セレクト受信をセットすると、ID番号を送ってこない相手先(ID番号を登録していない、登録できないなど)からのファクスは受信できません。

相手先から送られてくるID番号、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した電話番号が4桁未満のときは、番号が一致しても受信できません。

お知らせ

受信モードタイマ切替に、自動受信または留守受信を選んだときは、それぞれすでに設定されている受信方法で受信します。あらかじめ選びたい受信方法を設定しておいてください。(●P48、49)

2枚の原稿を1枚の記録紙にプリントする(ページ合成受信)

ページ合成受信を「スル」に設定していると、相手の方がA5サイズより小さい原稿を2枚送ってきたときに、記録紙1枚にまとめてプリントすることができます。お買い求めのときは「スル」に設定されています。(●P117)

プリンタの設定をする

自動縮小を設定する

自動縮小を「スル」に設定していると、受信した原稿の長さが記録紙の長さよりも長いとき、記録紙1枚に入るように自動的に縮小します。

ただし縮小率が70%以上必要な場合は、分割されてプリントされます。

お買い求めのときは「スル」に設定されています。(●P122)

切り捨てを設定する

切り捨てを「スル」に設定していると、受信した原稿の長さが有効記録長(280 mm)より長く、その差が20 mm以内のとき、記録紙1枚に入りきれない部分を切り捨てます。お買い求めのときは「シナイ」に設定されています。(●P122)

分割重ね書きを設定する

受信した原稿が2枚に分けてプリントされた場合、分割重ね書きを「スル」に設定していると、分割された部分を重複してプリントします。お買い求めのときは「スル」に設定されています。(●P122)

エコノミーモードを設定する

エコノミーモードを「スル」に設定すると、インクの消費量を少なくすることができます。

お買い求めのときは「シナイ」に設定されています。(●P122)

1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 ファックスを送る／受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

6 プリンタ／スキャナとして使う

7 ナンバー・ディスプレイを利用する

8 より便利に使う

9 登録／設定の操作一覧

10 こんなときには



チャイルドロックするには（チャイルドロック）

チャイルドロックをセットしておけば、誤ってボタンに触れても誤動作しません。小さなお子さまのいるご家庭でも安心です。

チャイルドロックをセットする

1 原稿台を開け、チャイルドロックボタンを約3秒間押します。

「ピピピ」という音が鳴り、チャイルドロックがセットされます。

** チャイルド ロック チュウ **

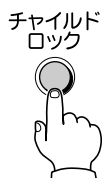


チャイルドロックを解除する

1 原稿台を開け、チャイルドロックボタンを約3秒間押します。

「ピッ」という音が鳴り、チャイルドロックが解除されます。

'97 09/19 15:30 ▼



ワンポイント.....

チャイルドロック中には
 ハンドセットを取りあげると、以下の操作ができます。

- 電話をかける、受ける
- 手動送信
- 手動受信
- コピー
- **ファンクション** ボタンを使った、登録・設定・プリント操作

ハンドセットを置くと、再びチャイルドロックがセットされます。

ナンバー・ディスプレイ（P70）をご利用のときは
 チャイルドロック中は、相手の方の電話番号は表示されません。



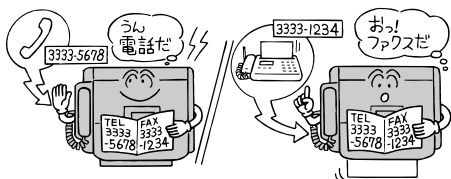
ファクス番号と電話番号を使い分けるには (ダイヤルインサービス)

ダイヤルインサービスとは

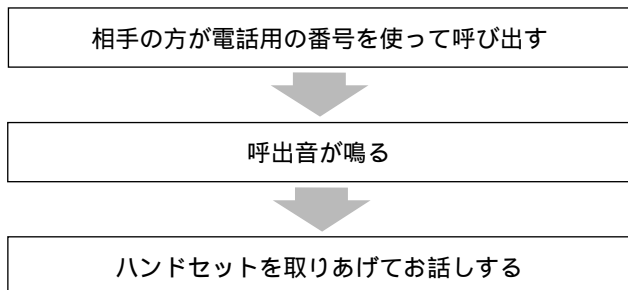
ダイヤルインサービスを利用すると、1本の電話回線に電話用の番号とファクス用の番号を登録して、電話とファクスを使い分けることができます。このサービスを利用するには、当社とダイヤルインサービス契約を結んでください。

ダイヤルインサービスを利用する

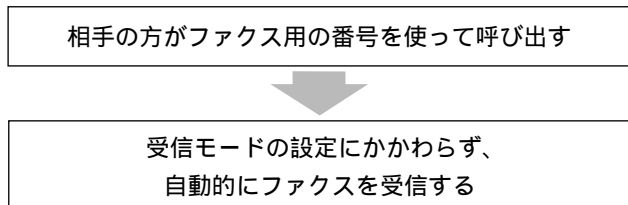
ダイヤルインサービスを契約されたときは、必ずダイヤルインを「スル」に設定してください。(P112)
お買い求めのときは「シナイ」に設定されています。



電話のとき

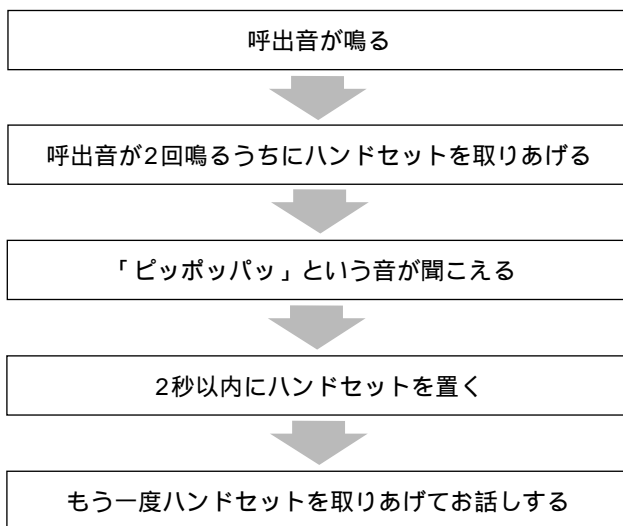


ファクスのとき



ダイヤルインサービス利用中の停電のときの電話の受け方

停電になると、通常の操作では電話を受けることができません。以下の手順で電話を受けてください。



お知らせ

電話がかかってきたとき、本装置の呼出音は約180秒の間だけ鳴ります。呼出音が止まっても相手の方が待っていることがありますので、ハンドセットを取りあげて確認してください。

ダイヤルインサービスをご利用のときは、本装置で設定した受信モードは無効になります。

ダイヤルインサービスをご利用のときは、以下の機能はご利用になれません。

- ・受信モードタイマ切替
- ・メモリ受信リモート取り出し

<ダイヤルインサービスご契約についての注意>

ダイヤルインサービスをご契約になるときは、以下のことに注意してください。

ダイヤルイン契約をすると、現在の回線契約番号のほかに、局番は同じで下4桁が異なる番号を新たに付与されます。ダイヤルインに加入すると、現在お使いになっている電話番号が変わることがあります。

地域によりダイヤルインサービスを受けられない場合があります。局番なしの116番（無料）または当社の営業所へご確認のうえ、ダイヤルインサービスをお申し込みください。

ダイヤルインサービスをご利用になる場合、以下のサービスとの同時契約はできません。

キャッチホン、トリオホン、転送でんわ、でんわ会議、トーキ案内、ピンク電話など

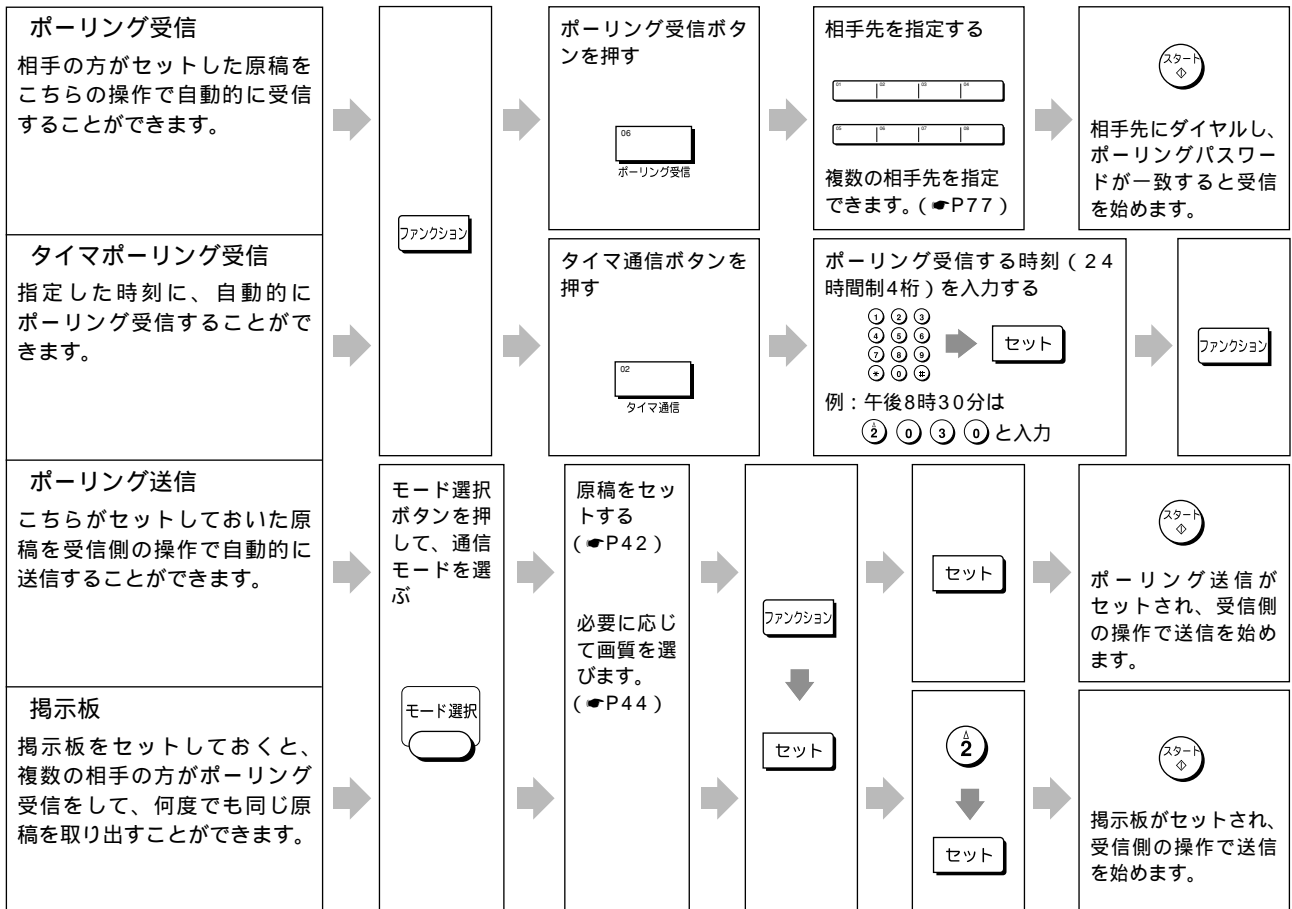
F ネットとの同時契約はできますが、一部利用形態に制約があります。詳しくは、NTTコミュニケーションズへお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイと同時契約する場合は、モデムダイヤルインサービスでのご契約となります。



受信側の操作で通信を行うには（ポーリング通信）

送信側があらかじめセットしておいた原稿を、受信側の操作で送信させることができます。ポーリング受信 / 送信をする前に、送信側と受信側で同じポーリングパスワードを登録しておいてください。（☛P123）



お知らせ

ポーリング受信をするときの電話料金は、受信する側の負担になります。

ポーリング送信をするときは、手動受信以外のモードにセットしてください。

掲示板をセットしているときは、ポーリング送信をセットすることはできません。

送信が終わるとメモリに読み込んだ原稿は消去されます。当社機以外のファクスにポーリング送信をしたいときには、ポーリングパスワードを登録せずに、ポーリング送信をセットしてください。

掲示板をするときは、手動受信以外のモードにセットしてください。

ポーリング送信をセットしているときは、掲示板をセットすることはできません。



ワンポイント.....

受信を中止するには (P126)

セットを中止するには

ボタンを押します。

受信できなかったときは

相手先に確認して、最初からやり直します。

ポーリング受信できなかったときは

その結果を「通信レポート」としてプリントします。

設定を変更して、プリントしないようにすることができます。(P116)

送信内容を変更するには

ポーリング送信を解除してから、セットし直します。

ポーリング送信を解除するには

- 原稿が原稿台にセットされているときは
原稿を取り除きます。

- 原稿をメモリに読み込んだときは

ボタンを押す ボタンを押す

ボタンを押す を押す ボタンを押す

原稿をメモリに読み込んで送信するには

原稿をメモリに読み込む (P74) 手順1～6

ボタンを押す ボタンを押す

ボタンを押す ボタンを押す

掲示板の内容を変更するには

掲示板を解除してから、セットし直します。

掲示板を解除するには

ボタンを押す ボタンを押す

を押す ボタンを押す を押す

ボタンを押す

掲示板の内容をプリントするには

ボタンを押す ボタンを押す

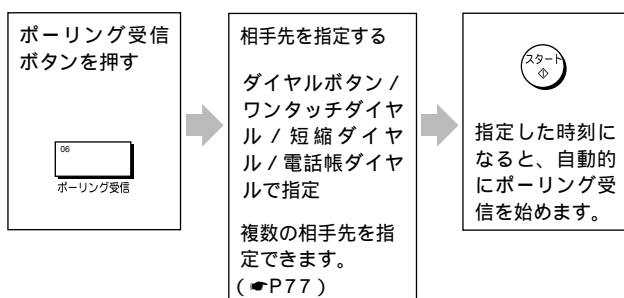
を押す ボタンを押す を押す

ボタンを押す

掲示板の内容は消去されません。

原稿を取り出せる相手を限定するには

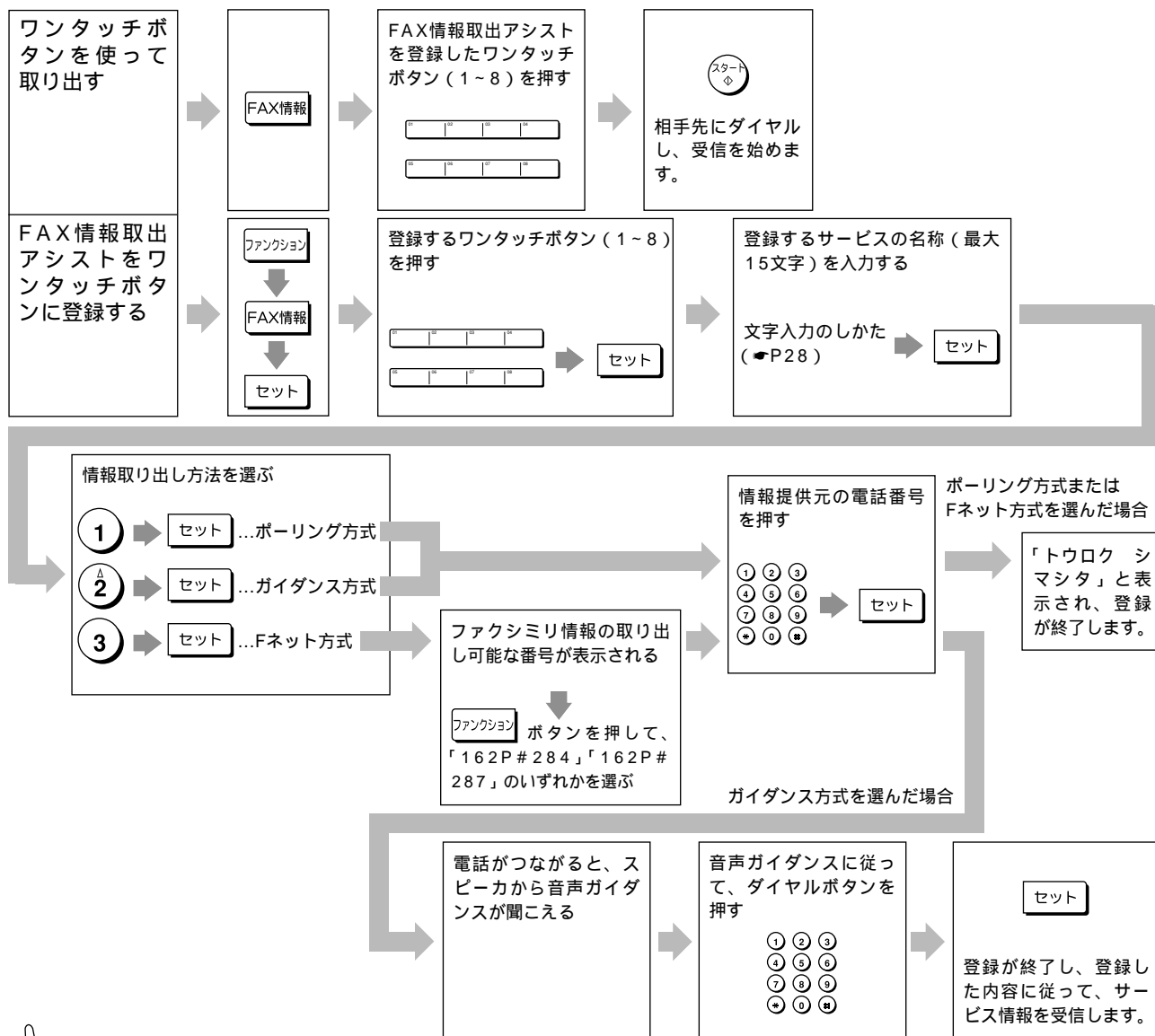
ポーリングパスワードを登録します。(P123)



STOP お問い合わせ

パスワードを使用したポーリング通信のできる相手先の機種は限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

ワンタッチダイヤルにFAX情報取出アシストを登録しておく、より簡単な操作でファクシミリ情報を取り出すことができます。



ワンポイント.....

登録を中止するには
 (ストップ) ボタンを押します。

登録内容を取消するには
 (ファンクション) ボタンを押す (FAX情報) ボタンを押す (2) を押す (セット) ボタンを押す ワンタッチボタン (1~8) を押す (セット) ボタンを押す (セット) ボタンを押す

情報提供元の電話番号として登録できる文字は
 ダイヤルボタン (0) ~ (9)、(*)、(#) とポーズ (ポーズボタン)、トーン (PB) ボタン、スペース (スペースボタン) を登録できます。ポーリング方式とガイダンス方式は最大36桁まで、Fネット方式は最大28桁まで登録できます。

お知らせ

「FAX情報取出アシストをワンタッチボタンに登録する」で、すでにワンタッチダイヤル、グループダイヤルやFAX情報取出アシストが登録されているワンタッチボタンを押すと、「トウロクズミ デス」と表示されます。他のワンタッチボタンを押してください。サービス内容について、詳しくはサービスを提供する情報提供元へお問い合わせください。ガイダンス方式の場合、サービス内容によっては、ワンタッチボタンで情報の取り出しができないものがあります。



原稿を暗号化して送信 / 受信するには

(サイファ通信)

サイファ通信とは、当社独自の暗号化方式「FEAL-8」(Fast Data Encipherment Algorithm)を使い、文書を暗号化して送信することです。受信側は、16桁のサイファキーが送信側と一致しないと、文書を復元することができません。万一盗聴されても解読できませんので、機密文書を送信するときに安心です。

登録手順

サイファ通信をするには、送信側と受信側で準備をする必要があります。

サイファキー登録用暗証番号(4桁の数字)を登録する(●P124)

サイファキー登録用暗証番号を使って、サイファキーNo.(00~05)にサイファキー(16桁)を登録する(●P124)

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに、相手先の電話番号とサイファキーNo.(00~05)を登録する(●P99)

通信手順

サイファ通信を行う(●P100)

送信側のID番号(ファクス番号)と、受信側のワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されているファクス番号を照合

送信側のID番号と同じファクス番号が登録されている

送信側のID番号と同じファクス番号が登録されていない

送信側の指定したサイファキーと、受信側に登録されているサイファキーを照合

送信側の指定したサイファキーと、受信側のサイファキーNo.00のサイファキーを照合

サイファキーが一致

サイファキーが不一致

サイファ通信開始

サイファ通信不可



お知らせ

サイファ通信を行うにはサイファキー登録用暗証番号(4桁の数字)とサイファキー(16桁の数字)の両方を登録する必要があります。

STOP お願い

サイファ通信できる機種は限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
相手の方には、ID番号にファクス番号を正確に登録していただってください。

1 お使いになる前に

2 電話をかける / 受ける

3 ファックスを送る / 受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

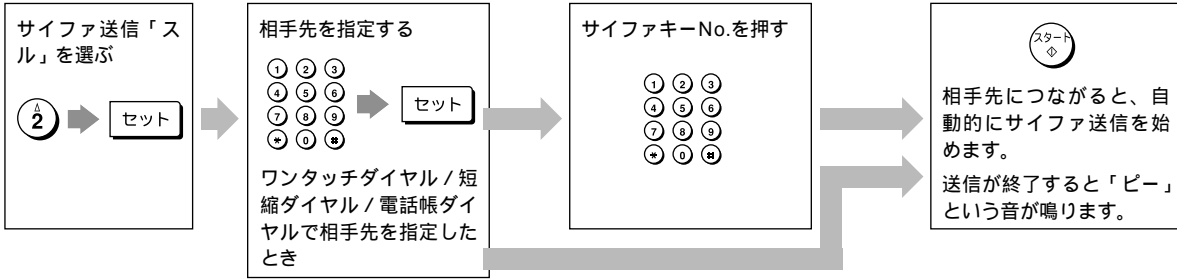
6 プリンタ/スキャナとして使う

7 ナンバー・ディスプレイを利用する

8 より便利に使う

9 登録/設定の操作一覧

10 こんなときには



STOP お願い

サイファ通信できる相手先の機種は限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。



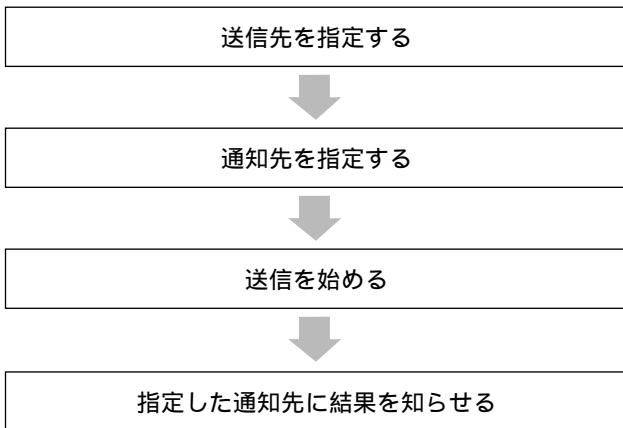
通信の結果を指定した内線電話に知らせるには (送受信通知)

本装置を当社特定のビジネスホンまたはPBX（構内電話交換システム）の内線に接続してご使用の場合、送信または受信をしたときに、通知先として指定した内線電話機のディスプレイに通信結果を表示して知らせることができます。送受信通知は送信、受信、ポーリング通信、掲示板のときにご利用になれます。ご利用については、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

送信するとき（☛P104）

送信するときに通知先を指定すると、送信結果を指定した通知先に知らせます。

あらかじめ、送受信通知の設定で、送信通知を「スル」に設定しておいてください。（☛P118）



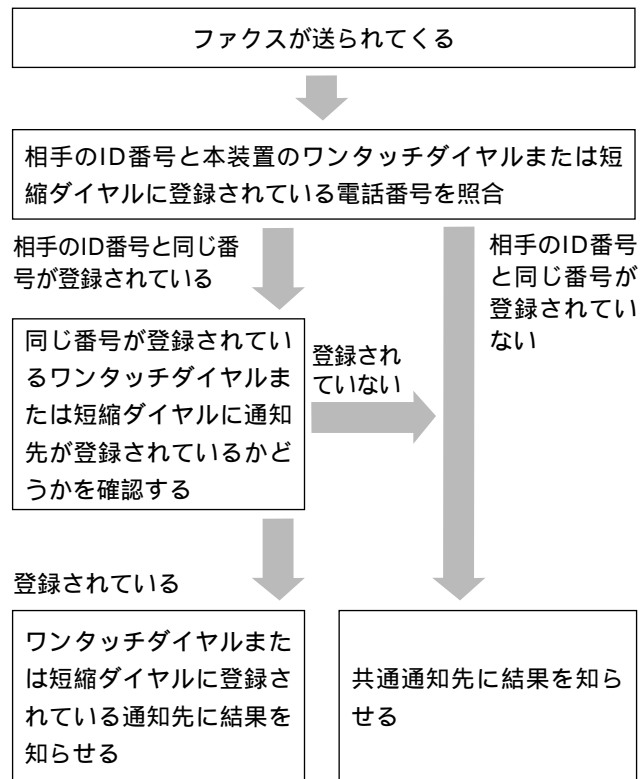
受信するとき

受信したあと、あらかじめ設定しておいた通知先に受信結果を知らせることができます。あらかじめ、以下の設定をしておいてください。

- 送受信通知の設定で、受信通知を「スル」に設定します。（☛P118）

- 送受信通知の設定で、共通通知先を登録します。（☛P118）

特定の相手からの受信結果を、特定の通知先に知らせたいときは、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに送受信通知先を登録します。（☛P114）



ワンポイント.....

受信通知を「スル」にして、共通通知先を登録すると以下の相手からのファクスを受信したときに、共通通知先に受信結果を通知します。

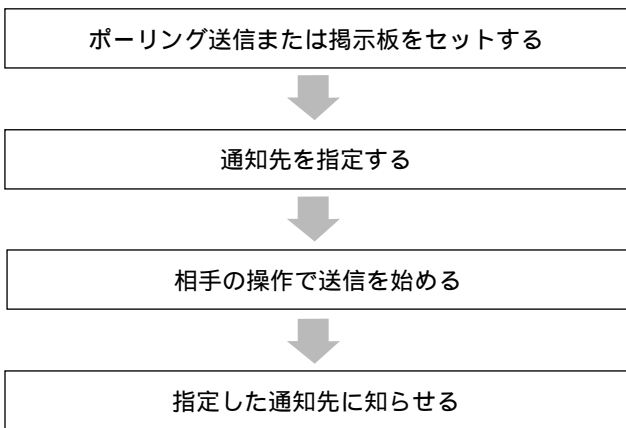
- ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されていない相手
- 通知先を登録していないワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの相手

以上の相手からのファクスの受信結果を通知しないときは、共通通知先を登録しないでください。

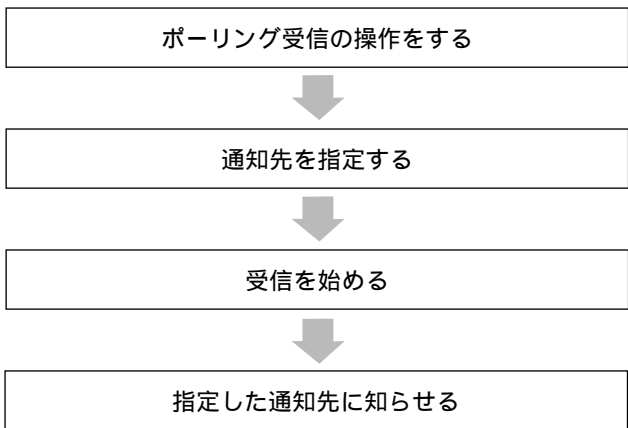
ポーリング通信または掲示板のとき (P104)

ポーリング通信または掲示板をするときに通知先を指定すると、通信結果を指定した通知先に知らせます。あらかじめ、送受信通知の送信通知を「スル」に設定しておいてください。(P118)

ポーリング送信、掲示板のとき



ポーリング受信のとき



お知らせ

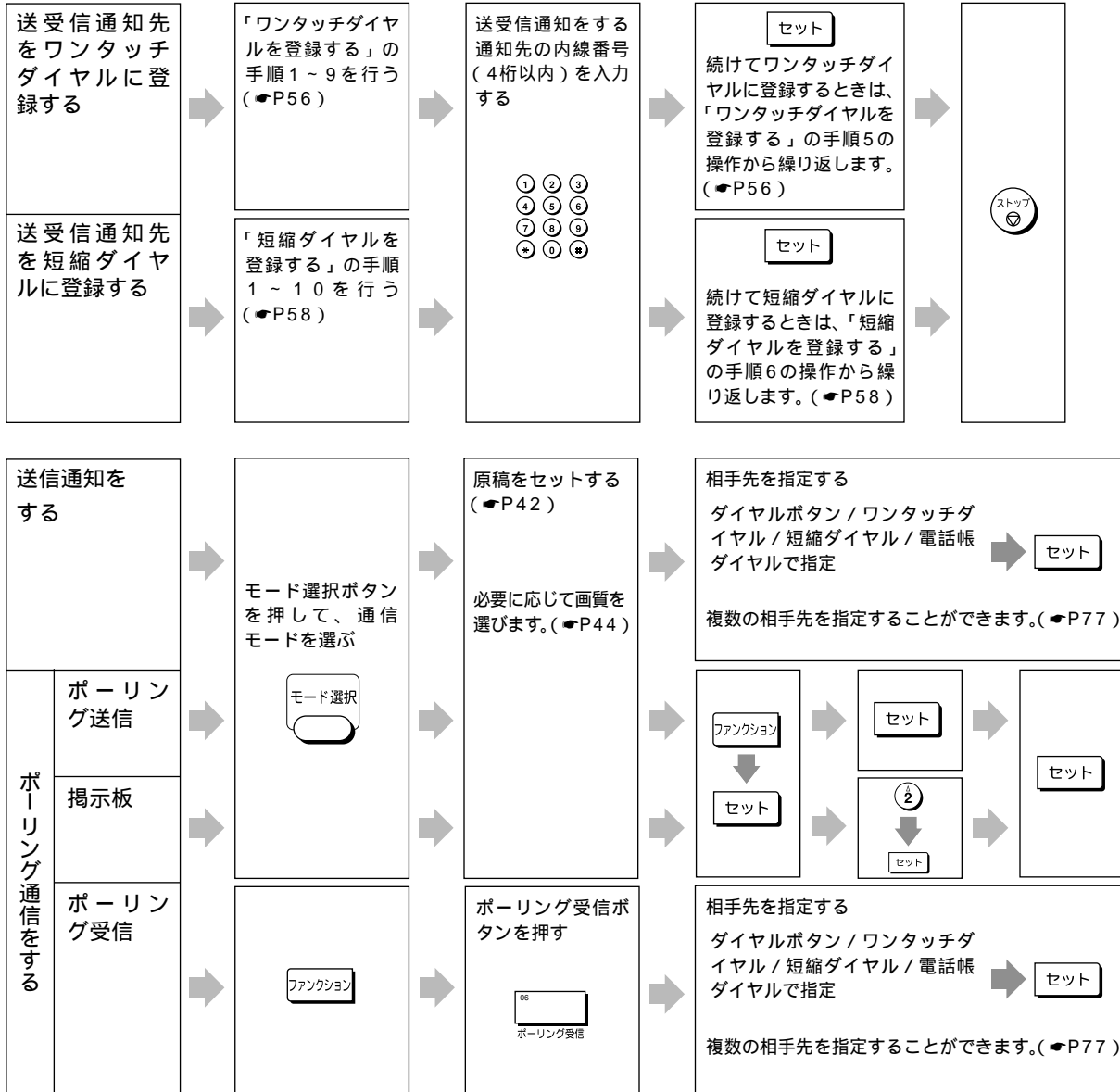
結果を確認されましたら、なるべく早めにその表示を消去するようにしてください。表示が残ったままでは、その電話機で次のメッセージを受けることができません。

お願い

送受信通知のできるビジネスホンやPBXの機種は限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

通信の結果を指定した内線電話に知らせるには


(送受信通知)






ワンポイント.....

登録を中止するには

 ボタンを押します。

送信を中止するには

 を押します。

メモリに読み込んで送信していた場合は、「通信の予約を解除するには」(P126)を参照してください。

番号を間違えたときは


クリアボタンを押して入力し直します。

複数の相手先を指定したときは

すべての相手先へ送信したあとに送信結果を知らせます。

原稿をメモリに読み込んで送信するには

原稿をメモリに読み込む(P74)手順1~6 相手先を指定する


 ボタンを押す


結果を通知する通知先の内線番号(4桁以内)を入力する


 ボタンを押す



お知らせ

サイファキーが登録されているときは、「ワンタッチダイヤルを登録する」の手順1~9を行ったあとや、「短縮ダイヤルを登録する」の手順1~10を行ったあとに、サイファキーNo.指定画面が表示されます。サイファキーを登録するときは、「ワンタッチダイヤルを登録する」(P114)、「短縮ダイヤルを登録する」(P114)の操作をしてください。登録をしないときは、 ボタンを押して次の操作をしてください。

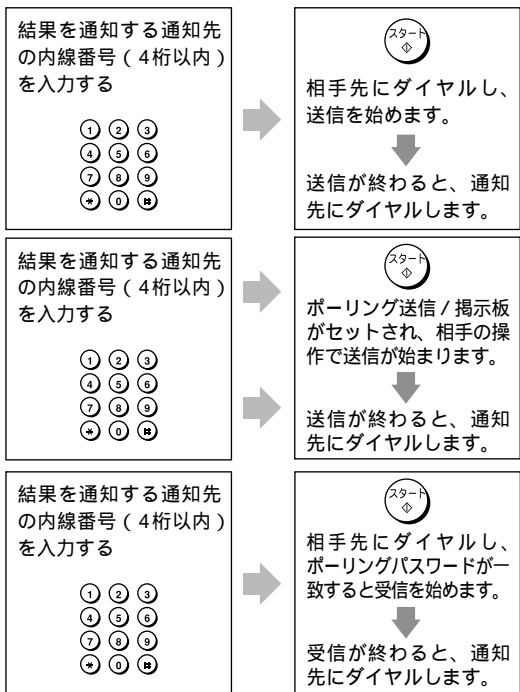
相手先を指定したあとに、 ボタンを押したときは、すぐに送信が始まり送信結果を通知しません。

送受信通知先が登録してあるワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを選んだときは、 ボタンを押すと登録されている通知先を表示します。

結果を確認されましたら、なるべく早めにその表示を消すようにしてください。表示が残ったままでは、その電話機で次のメッセージを受けることができません。

STOP お願い

送受信通知のできるビジネスホンやPBXの機種は限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。





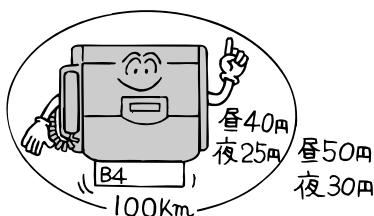
Fネット（ファクシミリ通信網）を利用するには （Fネットアクセス）

Fネットは、NTTコミュニケーションズのファクシミリ専用ネットワークサービスです。Fネットに加入すると、通信をより経済的かつ効率的にするさまざまなサービスがご利用になれます。このサービスを利用するためには、NTTコミュニケーションズとの利用契約が必要です。本サービスの詳細につきましてはNTTコミュニケーションズへお問い合わせください。

Fネットサービスの主な内容

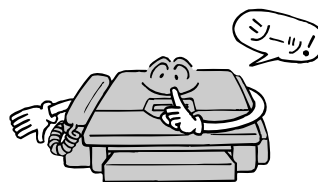
2段階の明確料金

Fネットなら、送信に時間のかかる細かい文字の文書でもB4判1ページ25円（夜間・100 km以内）で日本国内どこへでも送信できます。昼間でも40円とお得です。さらに100 kmを超える場合は夜間30円、昼間は50円と低価格の一定料金です。（標準モードの場合）



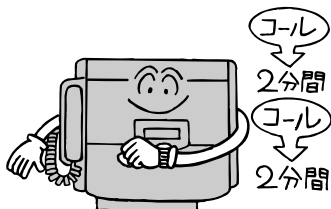
無鳴動自動着信

どの受信モードに設定されていても、呼出音を鳴らさずにファクスを自動的に受信できます。電話と間違えてハンドセットを取ることがありません。



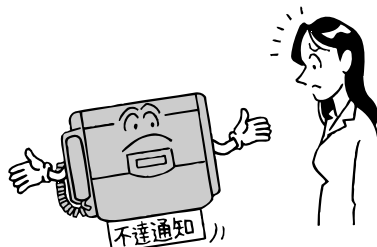
再コール

相手先が通信中の場合、2分間隔で5回まで自動的に再コールします。再コール回数は1～50回までの範囲で設定できます。



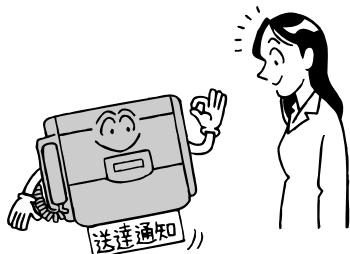
不達通知

再コールしても送信されなかった場合、通知文でお知らせします。



送達通知

送信した原稿が相手先に着いたかどうか通知文で確認できます。



一斉同報通信（P108）

Fネットの短縮ダイヤルをご契約になると、簡単な操作で最大1万か所までの同報通信が行えます。

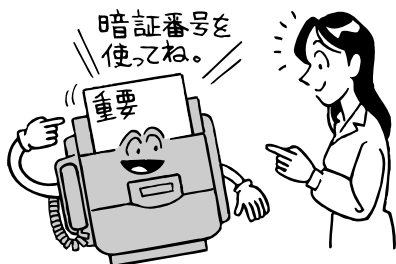


お知らせ

Fネットをご利用の場合、サイファ通信、ポーリング通信はご利用できません。
ダイヤルインとの同時契約はできますが、一部利用形態に制約があります。詳しくはNTTコミュニケーションズへお問い合わせください。

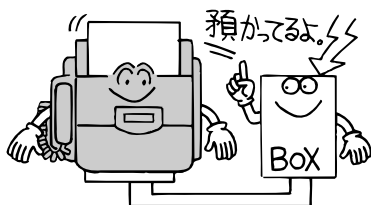
Fネット親展通信 (P108)

暗証番号を使って通信するサービスです。暗証番号を知っている人以外は原稿を取り出せないなので、重要な書類も安心してやりとりできます。



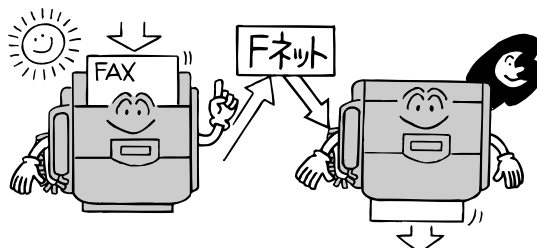
ファクシミリボックス

長時間ファクシミリを使用する場合、ファクシミリボックスをセットすることにより、送信されてきた原稿を預かります。このサービスは、別途契約が必要です。



夜間配送指定通信 (P108)

昼間Fネットへ原稿を送信し、夜間の割引時間帯（午後7時～翌朝8時まで）にFネットから相手先へ送信することができます。料金が約40%割引になります。



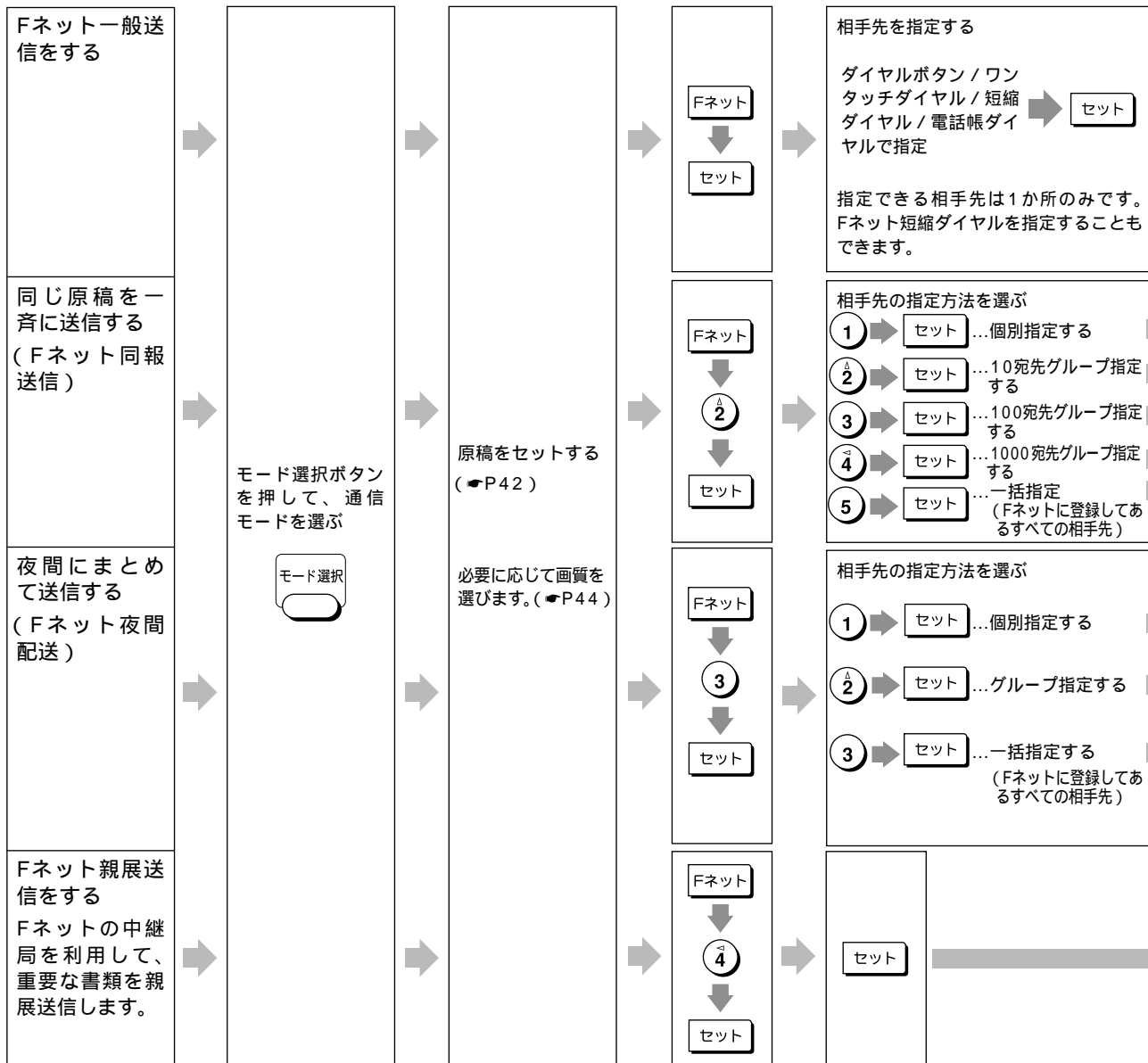
ファクシミリ案内サービス

いろいろな情報（レジャー・スポーツ・観光・金融・暮らしの情報等）を簡単な操作で取り出すことができます。また、料金はFネットの通話料のみという低価格なのでお得です。





Fネット（ファクシミリ通信網）を利用するには （Fネットアクセス）



ワンポイント.....

送信を中止するには
④ ボタンを押します。

メモリに読み込んで送信していた場合は、「通信の予約を解除するには」(P126)を参照してください。

相手先、番号を間違えたときは
クリアボタンを押して入力し直します。

Fネット短縮ダイヤル(*0000~*9999)を指定するには

⑤ ボタン、Fネットに登録した短縮番号の順に押します。
例：「*0010」を指定するとき

⑤ ① ① ① ① を入力します。

個別指定をするには

ファクスのワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで指定するときは、複数の相手先を指定する操作(P77)を参照します。Fネット短縮ダイヤルを指定するときは、⑤ ボタン Fネットに登録した短縮番号の順に押して、相手先を指定します。

● 相手先を1件指定するとき

例：「*0010」を指定する
⑤ ① ① ① ① を入力します。

● 相手先を複数指定するとき

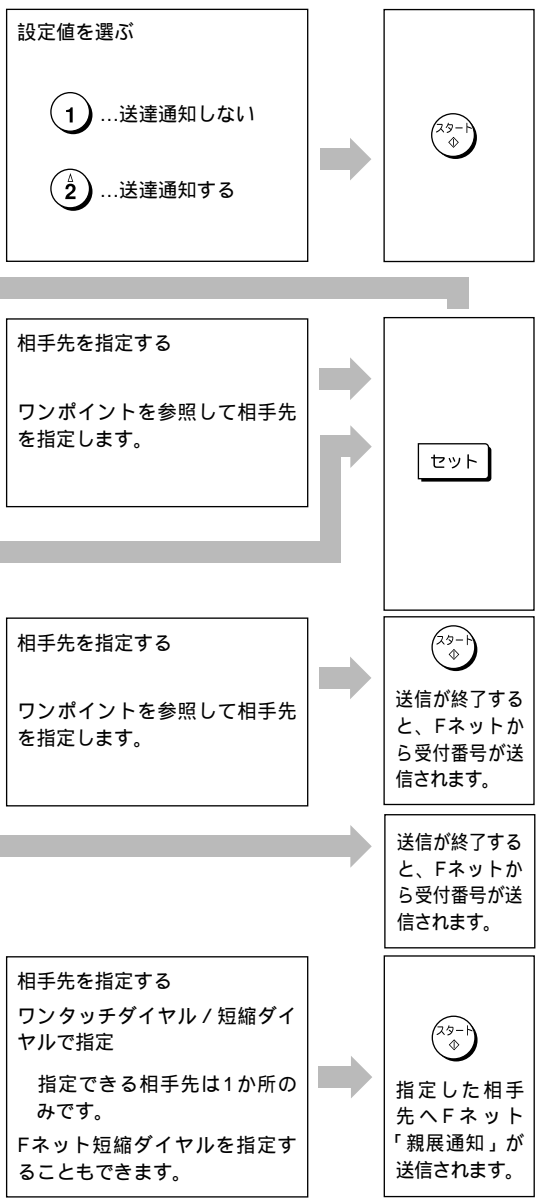
例：「*0010」と「*0012」を指定する
⑤ ① ① ① ⑤ ① ② を入力します。

● ①番~②番までの相手先すべてを指定するとき
①番と②番の間に*を入れます。

例：「*0100~*0109」を指定する

⑤ ① ① ① ① ⑤ * ① ① ① ① ① ① ① ① ① を入力します。

1000番台の異なるFネット短縮ダイヤル(例：*1500と*2500)を同時に指定することはできません。



お知らせ

Fネット短縮ダイヤルをお使いになるには、NTTコミュニケーションズとの利用契約および相手先の登録が必要です。詳しくはNTTコミュニケーションズへお問い合わせください。送達通知は別途料金がかかります。ファクス本体に登録したワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルはそのままFネット操作でも使うことができます。ただし、Fネット短縮ダイヤルと混用して使うことはできません。グループ指定するとき、異なる1000番台にまたがる指定(例：*1500～*2500)はできません。一括指定は、Fネット短縮ダイヤルのご契約が1000以下の方のみご利用になれます。夜間配送の取り消しができるのは、午前8時から午後6時の間です。この時間帯以外は取り消しできません。親展受信を行う場合は、Fネットの1300 Hzサービス(無鳴動自動受信サービス)のご契約が必要です。

ワンポイント.....

- Fネット同報送信でグループ指定をするには
- 10宛先グループを指定するとき
グループ番号 *000～*999で指定します。
*000: 0000～0009の10宛先
*999: 9990～9999の10宛先
 - 100宛先グループを指定するとき
グループ番号 *00～*99で指定します。
*00: 0000～0099の100宛先
*99: 9900～9999の100宛先
 - 1000宛先グループを指定するとき
グループ番号 *0～*9で指定します。
*0: 0000～0999の1000宛先
*9: 9000～9999の1000宛先

- Fネット夜間配送でグループ指定をするには
- 10宛先単位で指定するとき
***①** のあとに短縮番号の「千の位」+「百の位」+「十の位」をダイヤルします。
例：*0010～*0019を指定する
①*①****①**を入力します。
 - 100宛先単位で指定するとき
***②** のあとに短縮番号の「千の位」+「百の位」をダイヤルします。
例：*0100～*0199を指定する
②*①****①**を入力します。
 - 1000宛先単位で指定するとき
***③** のあとに短縮番号の「千の位」をダイヤルします。
例：*1000～*1999を指定する
③*①**を入力します。

相手先、相手先グループを間違えたとき
クリアボタンを押して入力し直します。
また、Fネット短縮ダイヤルを消去するときは、「*」にカーソルを合わせてクリアボタンを押して入力し直します。

Fネット夜間配送を取り消すには
Fネット ボタンを押す **③** を押す セット ボタンを押す **④** を押す セット ボタンを押す 夜間配送を取り消したい受付番号 (Fネットから送信された5桁の数字) を入力する **スタート** ボタンを押す


Fネットヘダイヤルし、指定した受付番号の夜間配送を取り消したあと、Fネットから結果がアナウンスされます。取り消しができなかったときは、最初からやり直します。

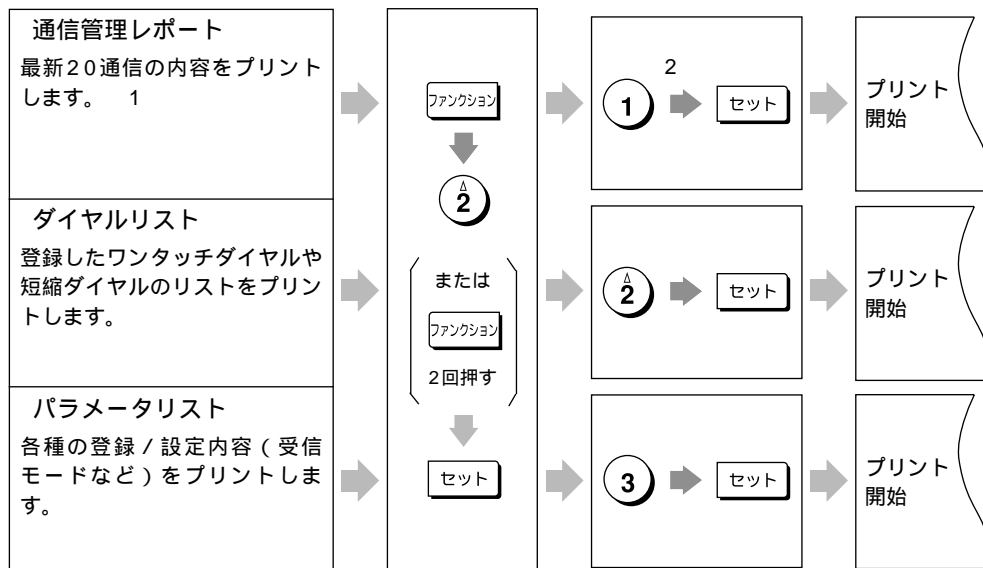
Fネット親展受信をするには
Fネットから「親展通知」が届いたら、以下の操作で親展文書を受信します。親展受信するには、あらかじめ暗証番号をFネットに登録しておきます。詳しくは「Fネットサービスご利用の手引き」をご参照ください。

Fネット ボタンを押す **④** を押す セット ボタンを押す **②** を押す セット ボタンを押す 暗証番号 (4桁の数字) を入力する **スタート** ボタンを押す (Fネットに登録されている親展通信用の暗証番号と照合し、一致したら通信が始まります。) 受信する



レポートやリストをプリントする(リストプリント)

プリントを中止するときは、 ボタンを押します。



1 通信管理レポートは随時プリントできますが、お買い求めのときは、20通信ごとに自動的にプリントするように設定されています。

設定を変更することもできます。(P116)

2 ①は押さなくてもかまいません。

通信管理レポートのプリント例

通信管理レポート		'97 09/19 15:00 ツウキ					
** 送信 **							
受付No.	通信開始日時	相手先	通信時間	枚数	モード	結果	
01	09/19 11:02	ツウキエイゴウ	00'23"	01	ECM 16	OK	
02	09/19 11:04	03 1234 5678	00'30"	01	ECM 16	OK	
03	09/19 11:05	ツウキサービス	00'30"	01	G3 86	OK	
04	09/19 11:07	☎ 555	00'24"	01	G3 C1	OK	
05	09/19 11:10	☎ 03 1234 5678	00'00"	00	ECM 80	NG 400	
** 受信 **							
受付No.	通信開始日時	相手先	通信時間	枚数	モード	結果	
06	09/19 12:58	03 1234 5678	04'30"	10	G3 21 M	OK	
07			03'23"	07	ECM 92 M S	OK	
			02'57"	05	G3 88 M	OK	
				04	ECM 01 M	NG 410	

ダイヤルリストのプリント例

ダイヤル登録リスト		'97 09/19 15:00 ツウキ					
ワンタッチ ダイヤル宛先リスト							
ワンタッチNo	相手先名称	ダイヤル番号	キ-No	通知先	音設	種別	
(01)	ツウキエイゴウ	0312345678	01	3112	シナイ	ジドウ	
(02)	ツウキグループ	{01} {03} {04} *03		6745			
(03)	ツウキサイト	0481234567	03	7698	シナイ	ジドウ	

ダイヤル登録リスト		'97 09/19 15:00 ツウキ					
短縮 ダイヤル宛先リスト							
短縮No	相手先名称	ダイヤル番号	キ-No	通知先	音設	種別	
(01)	ツウキサービス	0612345678	01	2143	シナイ	ジドウ	
(02)	ツウキタマ	0423111111			シナイ	ジドウ	
(03)	ツウキオオサカ	0611112222			シナイ	ジドウ	

パラメータリストのプリント例

音設：発信電話番号着信音設定

パラメータリスト		'97 09/19 15:00 ツウキ	
3. ジュンモード			
(1) ジドウジュン	:	デソウユセシ	
オンセイオウトウ	:	スル	
デソウキヨビダシカイス	:	10カイ	
(2) ルスジュン	:	ルスオウトウ	
(3) タイマキリカエ	:	シナイ	
(4) ダイヤルイン	:	スル	
FAX	:	1234	

1 お使いになる前に

2 電話をかける / 受ける

3 ファックスを送る / 受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

6 プリンタ/スキャナとして使う

7 ナンバーディスプレイを利用する



8 より便利に使う

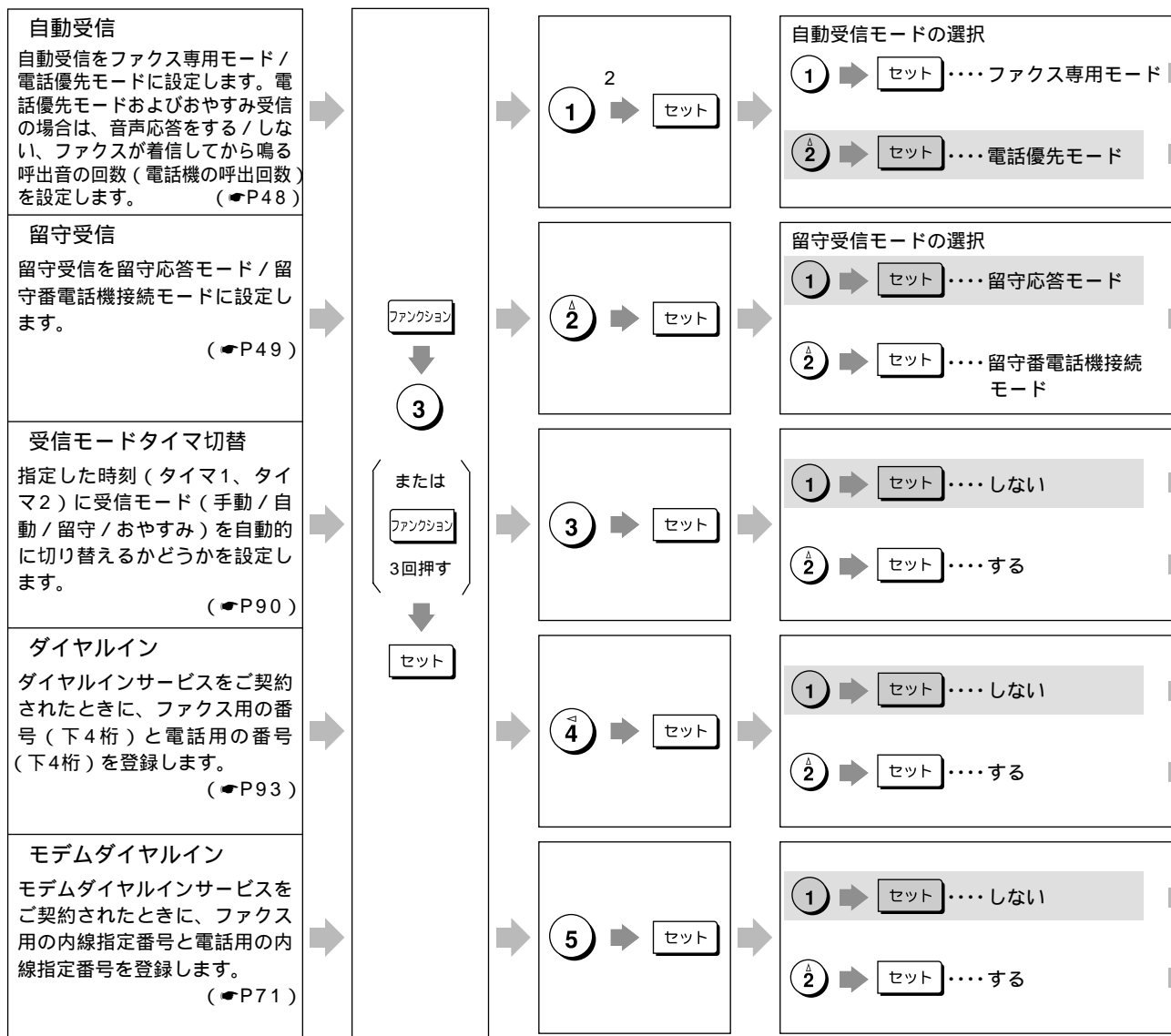
9 登録/設定の操作一覧






10 こんなときには

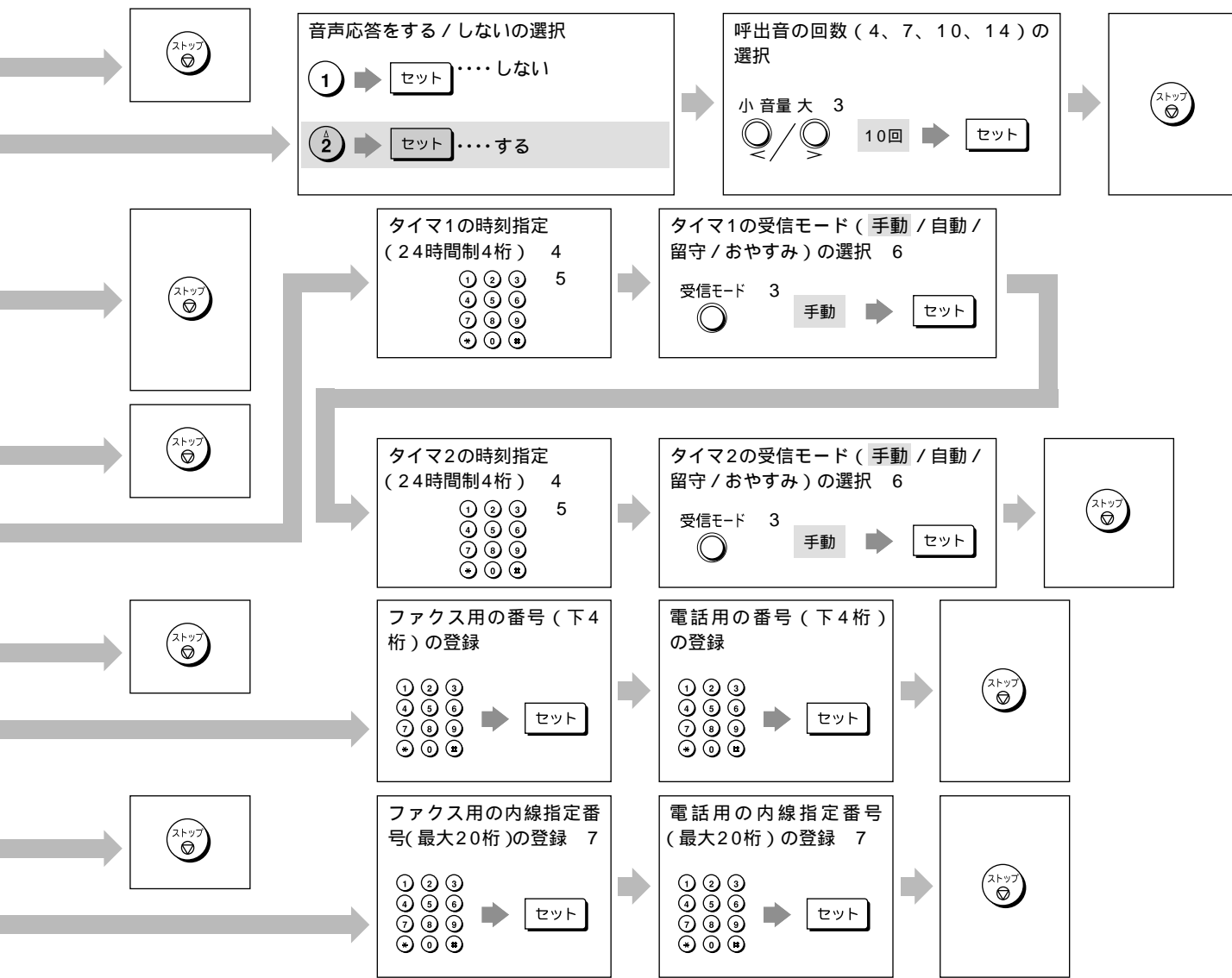


受信関連の設定をする (ジュシンモード)

登録 / 設定を中止するときは、 ボタンを押します。登録 / 設定した内容を変更するときは、同じ手順で登録 / 設定し直します。お買い求めのときは  に設定されています。



- 2  は押さなくてもかまいません。
- 3 <ボタン>、>ボタンや受信モードボタンは、原稿台を開けてから押します。
- 4 例 午後10時5分を指定する場合
    と押します。
- 5 入力を間違えたときは、クリアボタンを押して入力し直します。<ボタン>、>ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動して、入力し直すこともできます。
- 6 例 タイマ1に午前8時30分 / 自動受信、タイマ2に午後9時 / おやすみ受信を指定した場合
 午前8時30分～午後9時 自動受信
 午後9時～午前8時30分 おやすみ受信 に自動的に切り替わります。
- 7 内線指定番号は市外局番から登録します。数字のほかに、ハイフン、スペース、ポーズを入れることもできます。
 (●P57)



お知らせ

自動受信で音声応答を「シナイ」に設定しているとき、ファクスが自動着信すると課金が始まるにもかかわらず、相手には呼出音が聞こえるだけなので注意してください。

受信モードタイマ切替で、自動受信または留守受信を選んだときは、それぞれすでに設定されている受信方法で受信します。あらかじめ選びたい受信方法を設定しておいてください。

ダイヤルインに登録するファクス / 電話用の番号は、ダイヤルインサービス契約時に当社から連絡があった番号の下4桁を登録してください。番号を間違えて登録すると、電話やファクスが受けられなくなります。

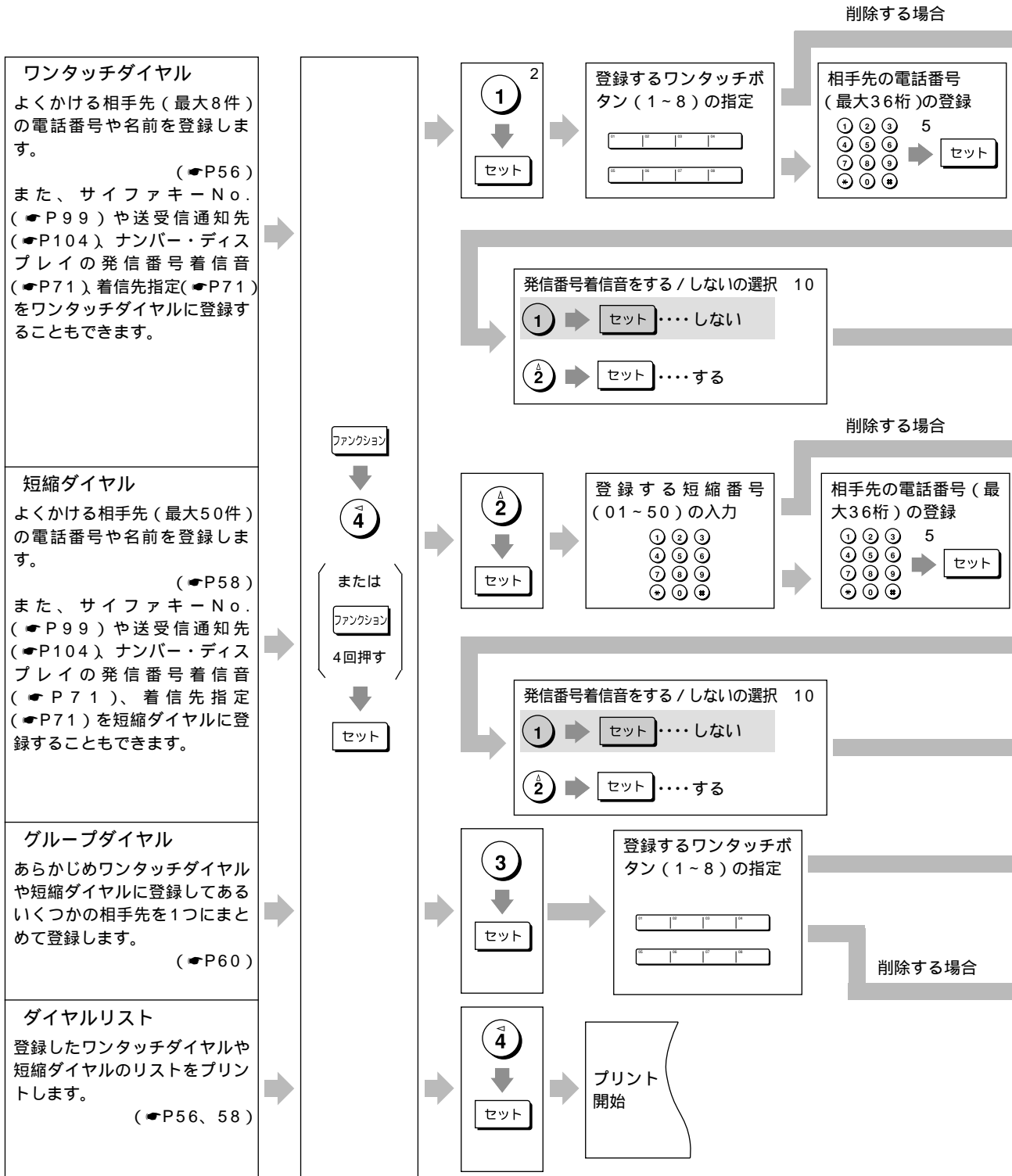
すでに発信電話番号表示 (●P118) が「スル」に設定されているときは、ダイヤルインを「スル」に設定することはできません。

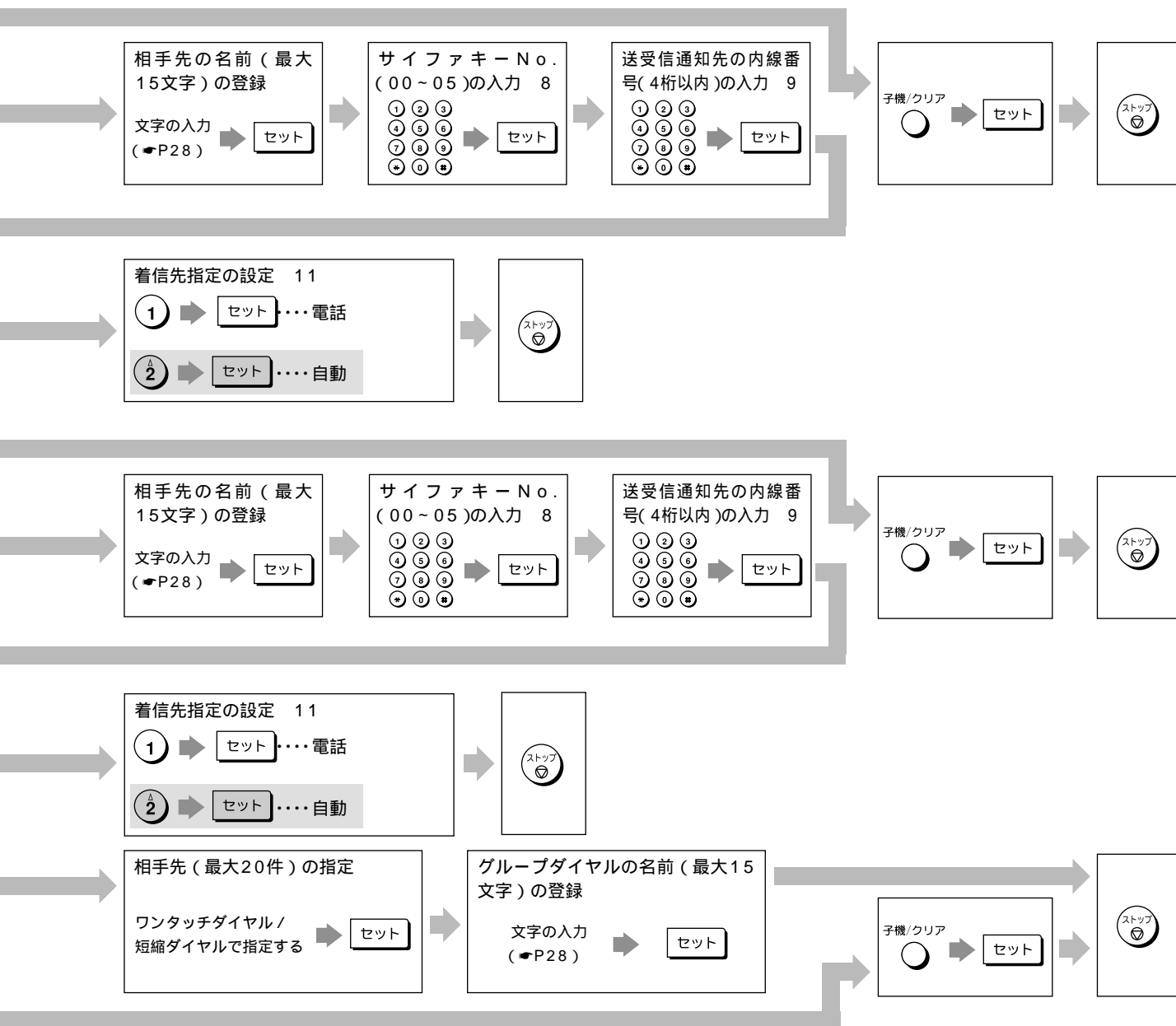
すでに着信先指定 (●P118) が「スル」に設定されているときは、モデムダイヤルインを「スル」に設定することはできません。



ダイヤル登録をする (ダイヤルトウロク)

登録 / 設定を中止するときは、 ボタンを押します。登録 / 設定した内容を変更するときは、同じ手順で登録 / 設定し直します。お買い求めのときは に設定されています。



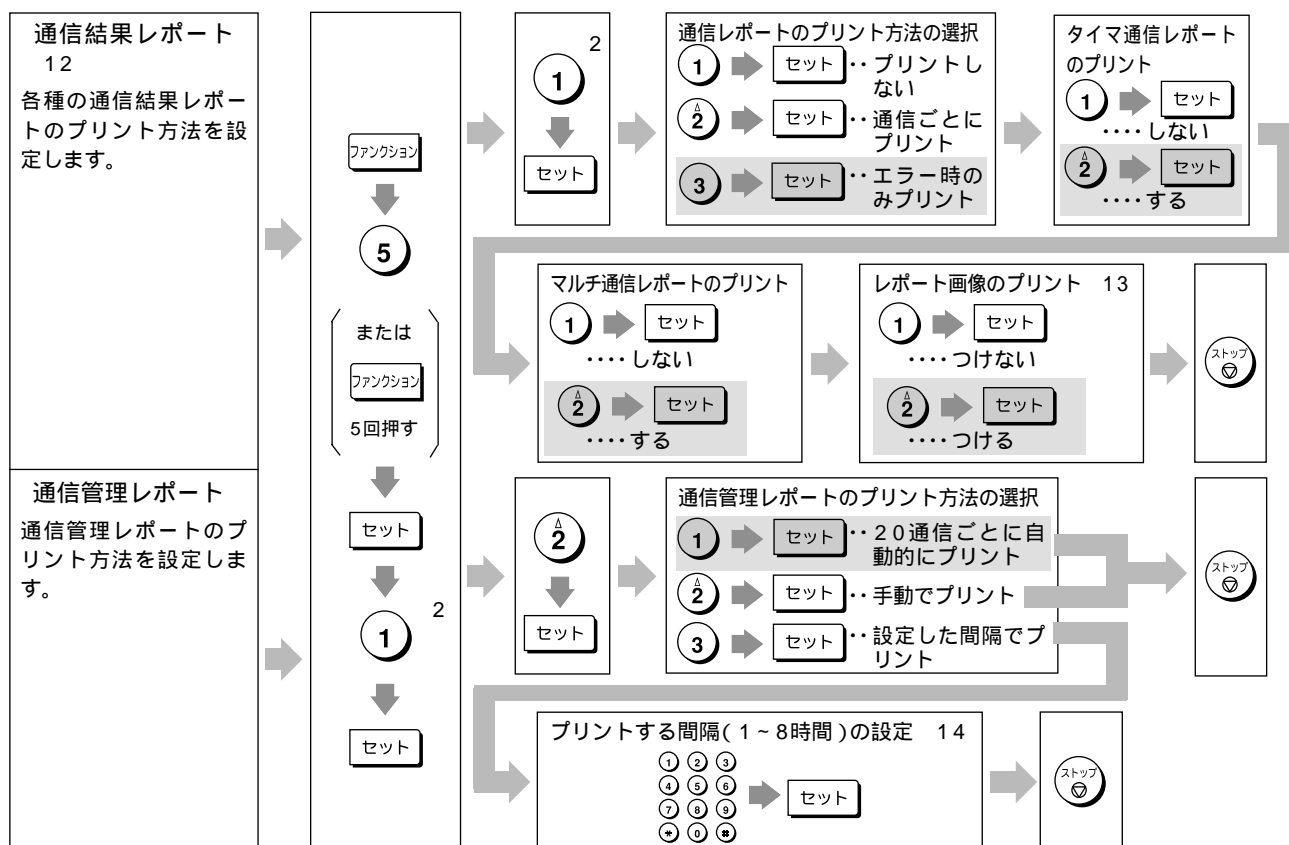


- 2 ①は押さなくてもかまいません。
- 5 入力を間違えたときは、クリアボタンを押して入力し直します。<ボタン、>ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動して、入力し直すこともできます。
- 8 サイファキーを登録している場合のみ、この画面が表示されます。
- 9 送受信通知を「スル」に設定している場合のみ、この画面が登録されます。
- 10 発信電話番号表示と着信音設定を「スル」に設定している場合のみ、この画面が表示されます。
- 11 発信電話番号表示と着信先指定を「スル」に設定している場合 (P118) のみ、この画面が表示されます。



レポートの設定をする (レポートセッテイ)

登録 / 設定を中止するときは、**ストップ** ボタンを押します。登録 / 設定した内容を変更するときは、同じ手順で登録 / 設定し直します。お買い求めのときは **■** に設定されています。



2 ① は押さなくてもかまいません。

12 通信結果レポートには以下の種類があります。

- ・通信レポート：送信、ポーリング受信などの結果をレポートにします。
- ・タイマ通信レポート：タイマ送信の結果をレポートにします。
- ・マルチ通信レポート：複数の相手先を指定したときの結果をレポートにします。

ただし、掲示板とFネットを利用した通信の場合は通信結果レポートはプリントされません。

13 レポート画像をつけるように設定すると、レポート上に送信原稿の一部がプリントされます。

14 例 プリントする間隔を8時間に設定した場合

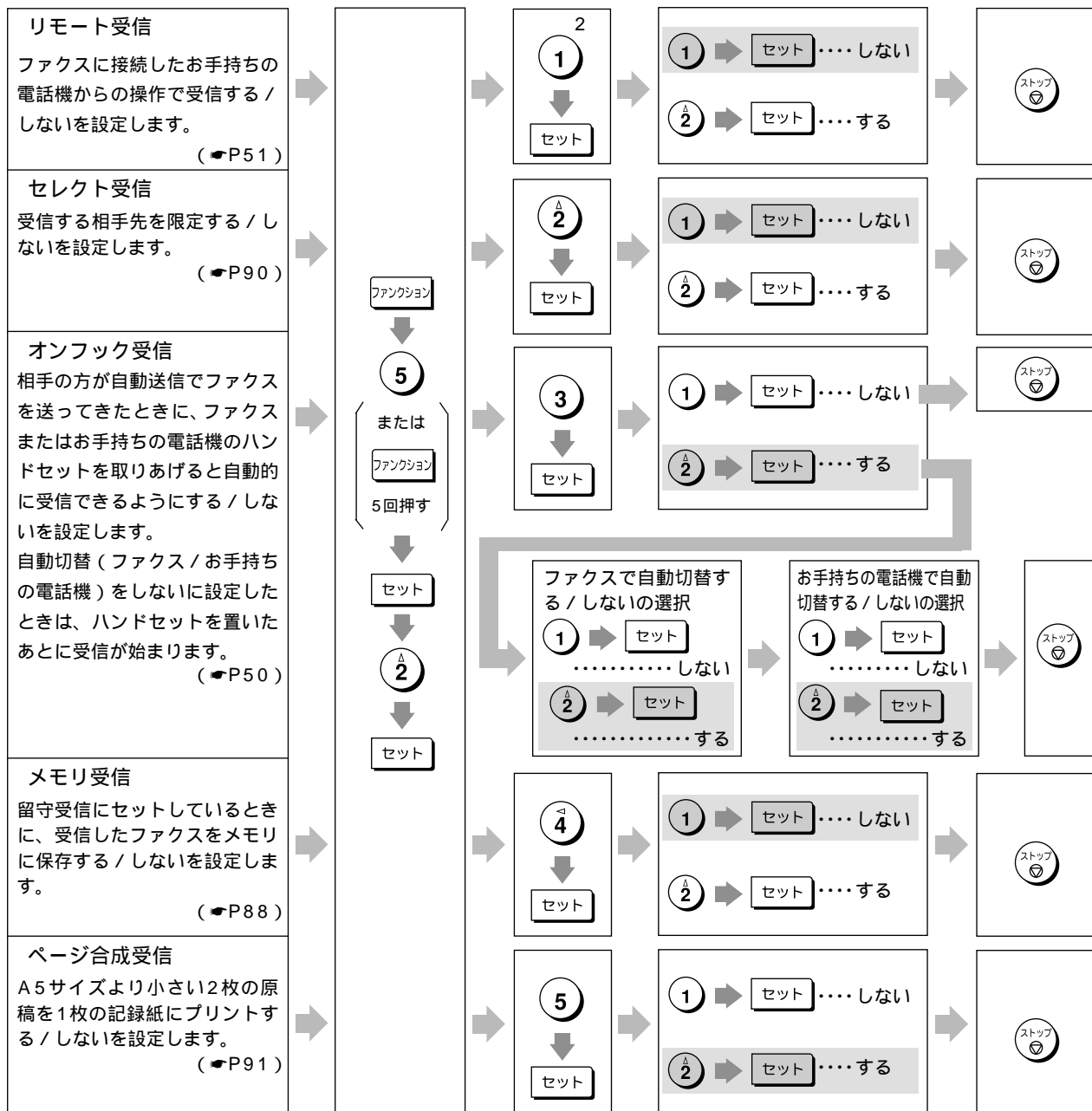
8時間ごとに通信管理レポートがプリントされます。



機能の設定をする

(キノウセツテイ)

登録 / 設定を中止するときは、 ボタンを押します。登録 / 設定した内容を変更するときは、同じ手順で登録 / 設定し直します。お買い求めのときは に設定されています。





- 1 お使いになる前に
- 2 電話をかける / 受ける
- 3 ファクスを送る / 受ける
- 4 コピーをする
- 5 電話番号や名前を登録して使う
- 6 プリンタ / スキャナとして使う
- 7 ナンバーディスプレイを利用する
- 8 より便利に使う
- 9 登録 / 設定の操作一覧
- 10 こんなときには

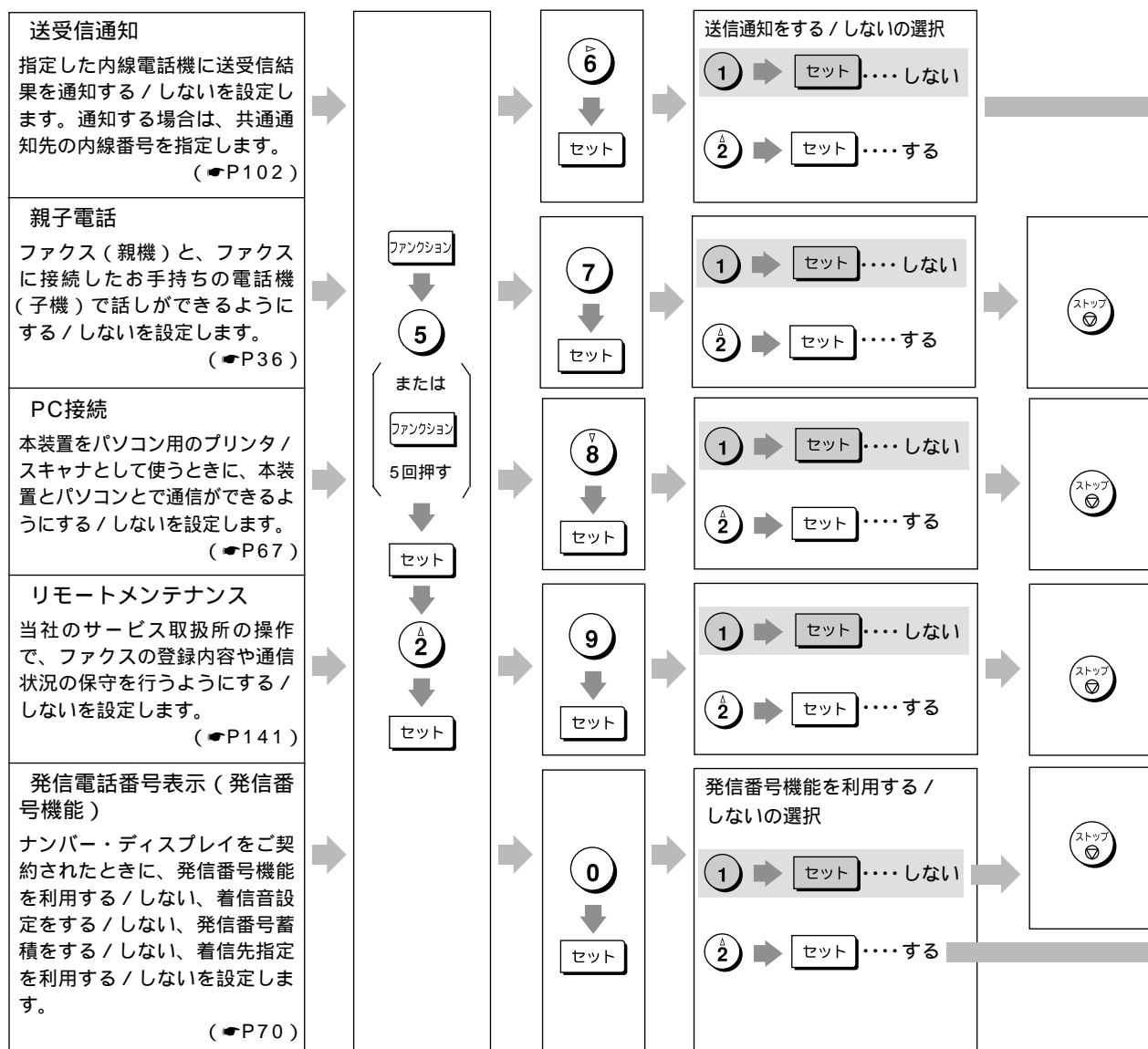
2 ①は押さなくてもかまいません。




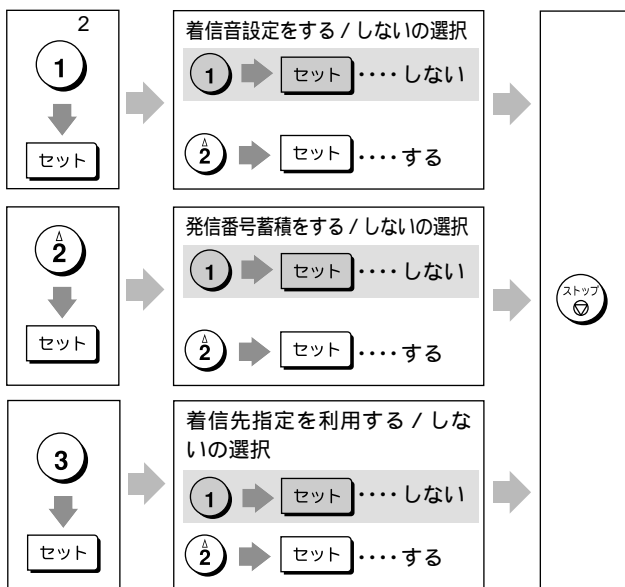
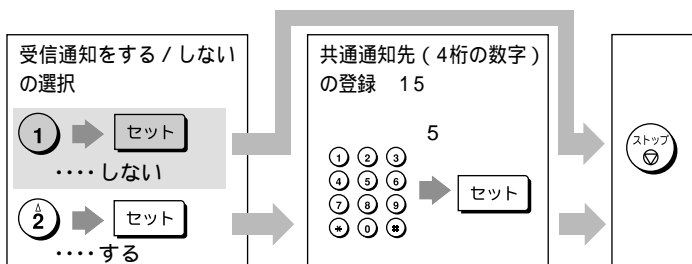
機能の設定をする

(キノウセツテイ)

登録 / 設定を中止するときは、 ボタンを押します。登録 / 設定した内容を変更するときは、同じ手順で登録 / 設定し直します。お買い求めのときは  に設定されています。



- 2  は押さなくてもかまいません。
- 5 入力を間違えたときは、クリアボタンを押して入力し直します。< ボタン、 > ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動して、入力し直すこともできます。
- 15 受信通知を「スル」にして、共通通知先を登録すると、以下の相手からのファクスを受信したときに、共通通知先に受信結果を通知します。
- ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されていない相手
 - 通知先を登録していないワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの相手
- 以上の相手からのファクスの受信結果を通知しないときは、共通通知先を登録しないでください。



お知らせ

すでにダイヤルイン (P112) が「スル」に設定されているときは、発信電話番号表示を「スル」に設定することはできません。

すでにモデムダイヤルイン (P112) が「スル」に設定されているときは、着信先指定を「スル」に設定することはできません。

発信電話番号表示をいったん「スル」にしたあと「シナイ」に設定し、再び「スル」に設定した場合は、発信電話番号表示以下の設定内容は前回のとおりとなります。



STOP お願い

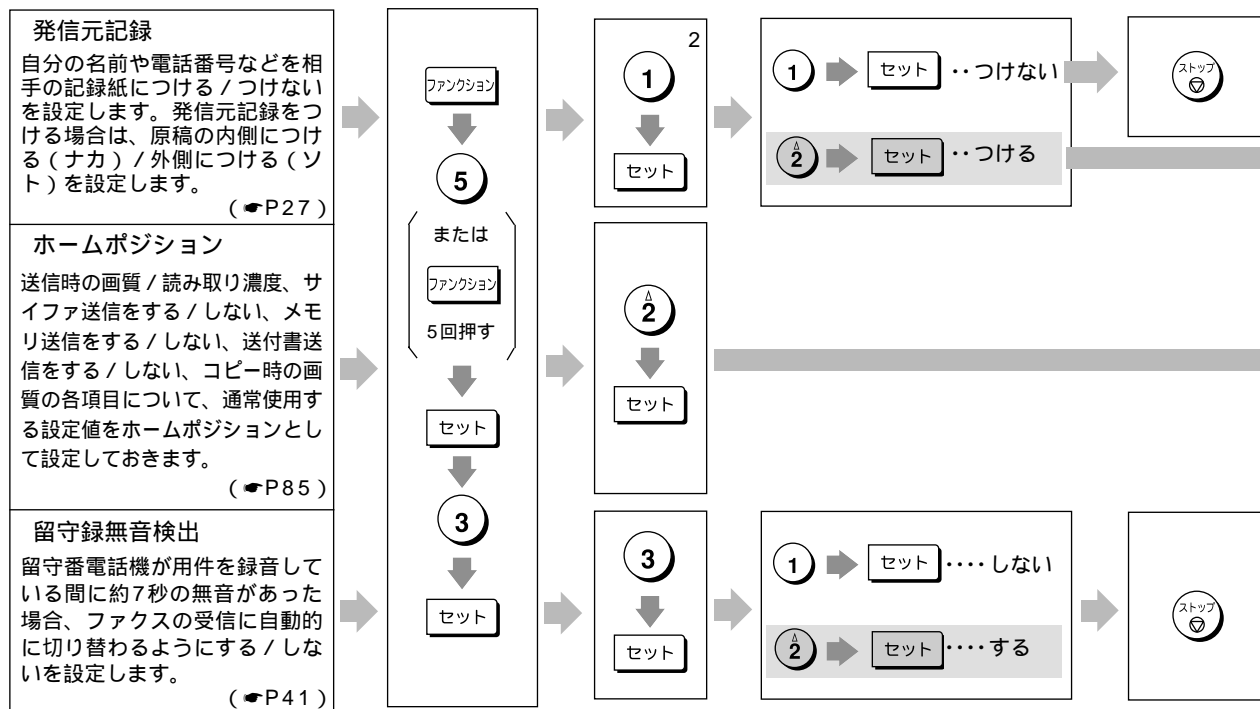
送受信通知のできるビジネスホンやPBXの機種は限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。



装置の設定をする

(ソウチセツテイ)

登録 / 設定を中止するときは、 ボタンを押します。登録 / 設定した内容を変更するときは、同じ手順で登録 / 設定し直します。お買い求めのときは  に設定されています。



2 ① は押さなくてもかまいません。

1 お使いになる前に

2 電話をかける / 受ける

3 ファックスを送る / 受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

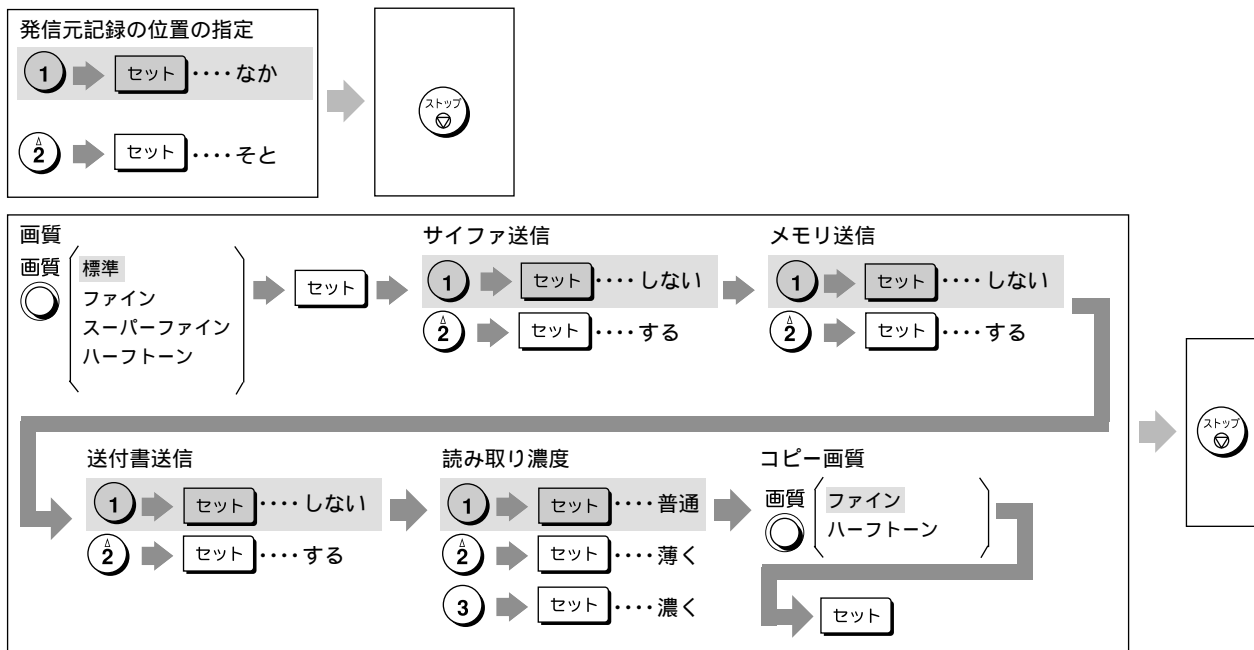
6 プリンタ / スキャナとして使う

7 ナンバー・ディスプレイを利用する

8 より便利に使う

9 登録 / 設定の操作一覧

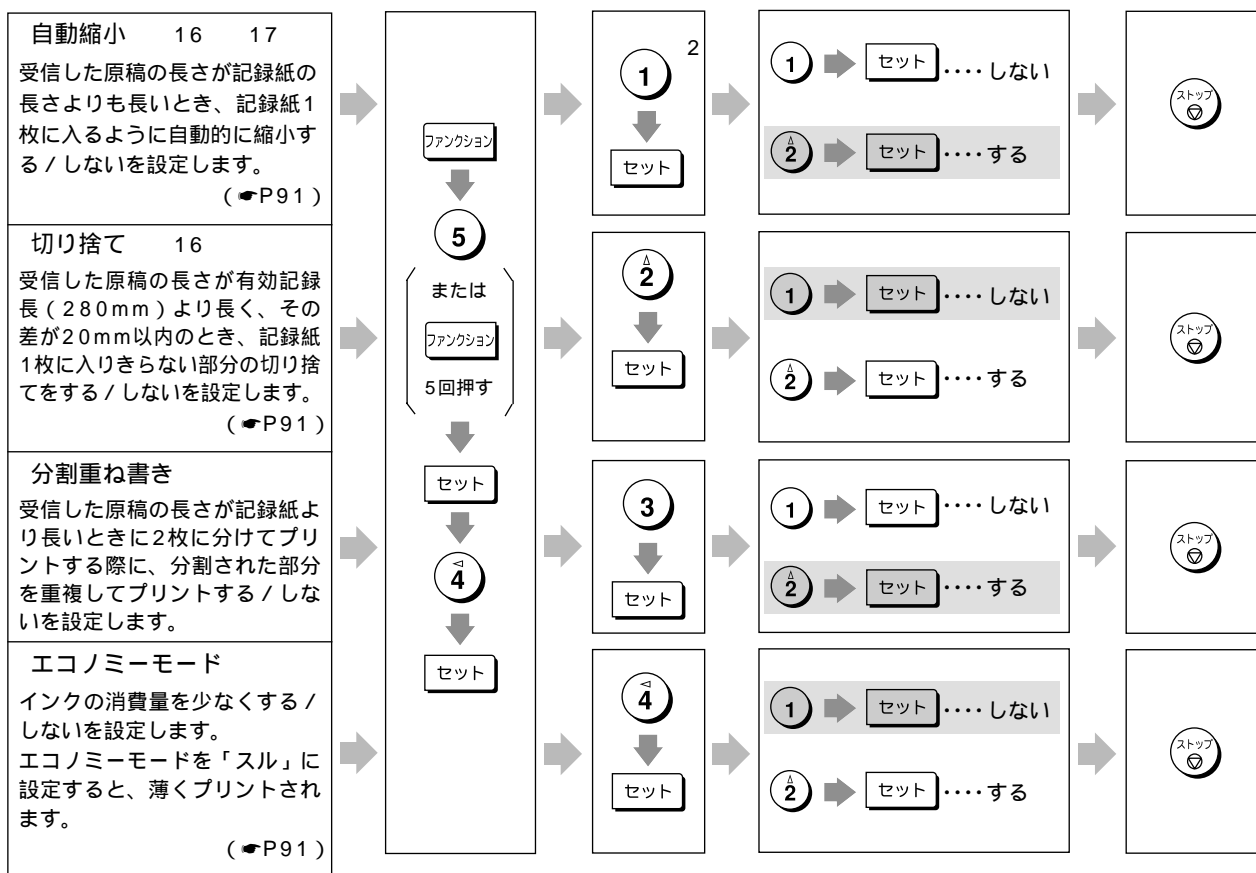
10 こんなときには





プリンタの設定をする (プリンタセッテイ)

登録 / 設定を中止するときは、 ボタンを押します。登録 / 設定した内容を変更するときは、同じ手順で登録 / 設定し直します。お買い求めのときは に設定されています。




2 ①は押さなくてもかまいません。

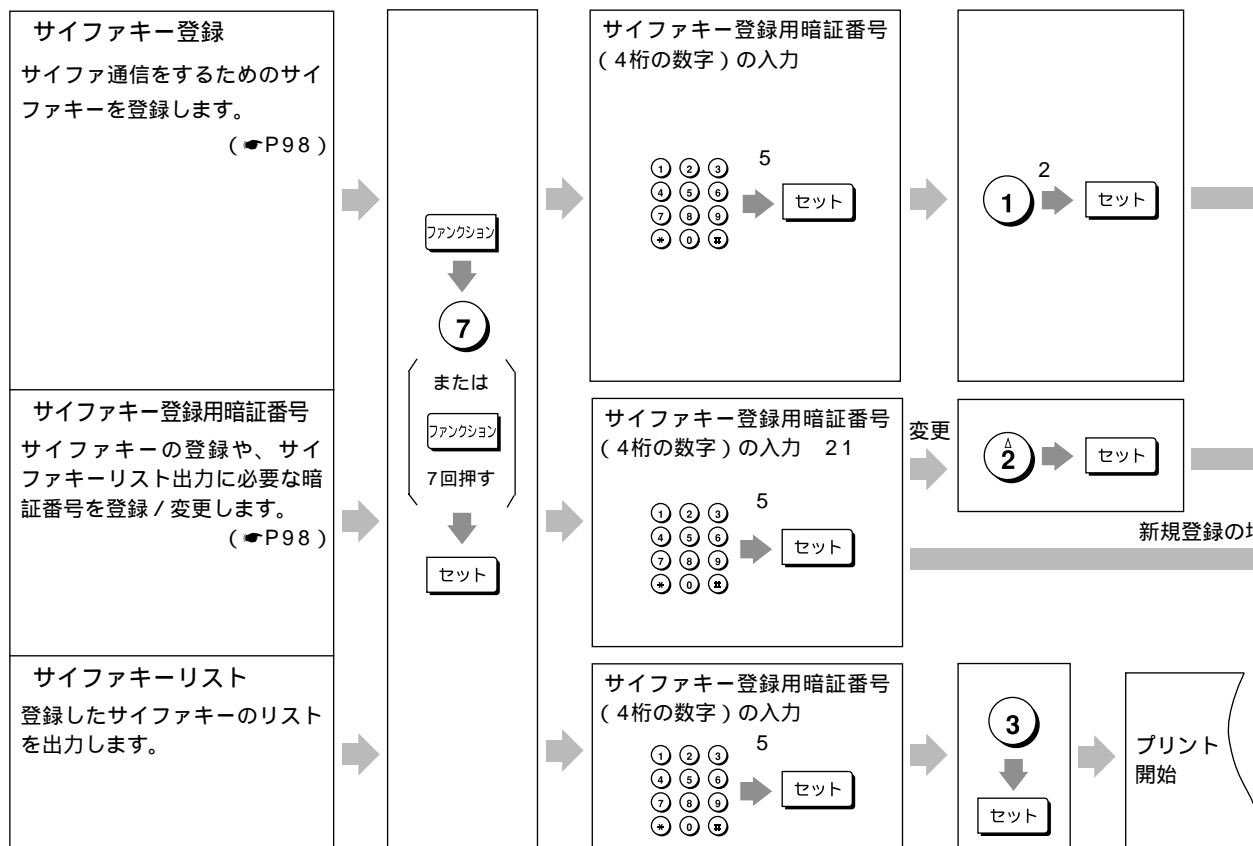
16 自動縮小と切り捨ての両方を「スル」に設定しているときは、受信した原稿の長さが有効記録長 (280mm) より長く、その差が20mm以内のときは、縮小されずに切り捨てられます。

17 ただし、縮小率が70%以上必要な場合は、分割されてプリントされます。



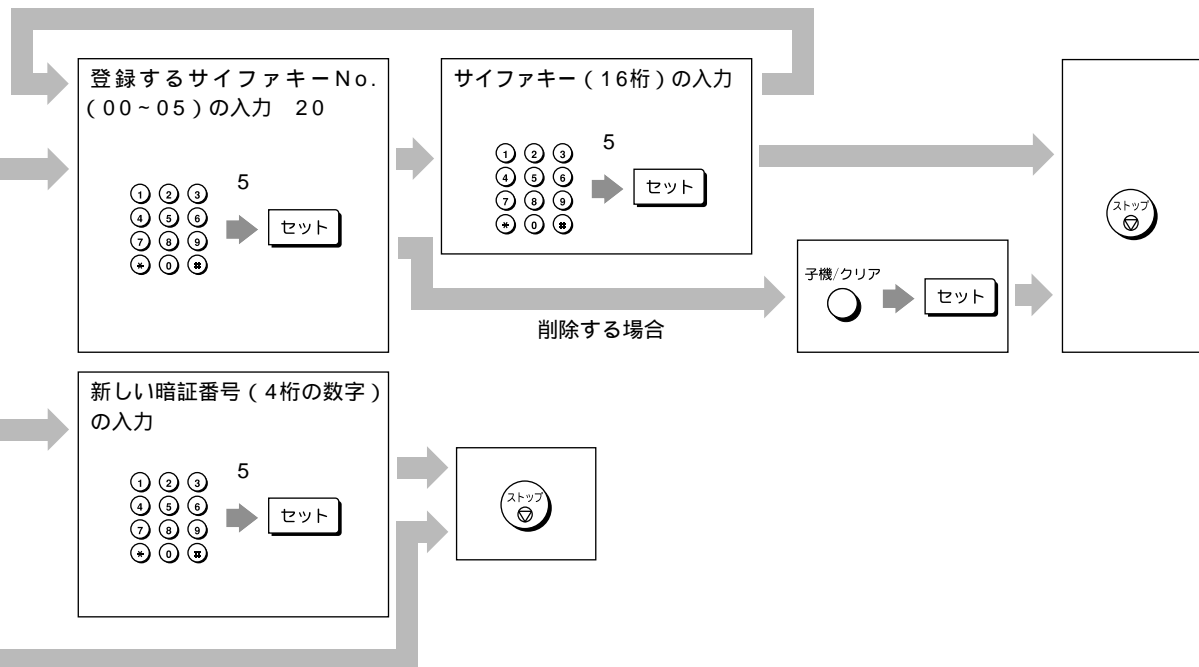
サイファ通信関連の登録をする (サイファトウロク)

登録 / 設定を中止するときは、 ボタンを押します。登録 / 設定した内容を変更するときは、同じ手順で登録 / 設定し直します。



- 2 ① は押さなくてもかまいません。
- 5 入力を間違えたときは、クリアボタンを押して入力し直します。サイファキー (16桁) を修正するときは、< ボタン、> ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動して、入力し直します。
- 20 登録済みのサイファキーを削除するときは、そのサイファキーNo.を入力します。
- 21 新規登録のときは新しい暗証番号、変更するときは現在の暗証番号を入力します。

登録を続ける場合



削除する場合



ワンポイント.....

サイファキーリストのプリント例

サイファキーリスト		'97 09/19 15:30 ツキ
サイファキー-No.	サイファキー	
(00)	1234 5678 ABCD 0000	
(01)	1234 5678 90AB CDEF	
(02)	1111 2222 3333 4444	
(03)	AAAA BBBB CCCC DDDD	
(04)	<input type="text"/> —サイファキー未登録は空欄	

サイファキーの入力方法

サイファキーには数字の0～9と、A～Fの英字を入力することができます。

- 数字を入力するとき
ダイヤルボタンの **0** ～ **9** を押します。
- 英字を入力するとき
ダイヤルボタンの ***** と **1** ～ **6** を使って入力します。

- A : * + **1**
- B : * + **2**
- C : * + **3**
- D : * + **4**
- E : * + **5**
- F : * + **6**



お知らせ

サイファキー登録用の暗証番号を忘れたときは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。



通信の予約を解除するには

メモリ送信や受信を中止したり、予約されている通信や自動再ダイヤル送信を解除することができます。原稿をメモリに読み込まずに送信中のときは、 ボタンを押すだけで送信を中断することができます。

1 ボタンを押します。

チュウダ'ン/ヨyakカイジ' ョ(1-2)
1:ソウシン 2:ジ ユシン

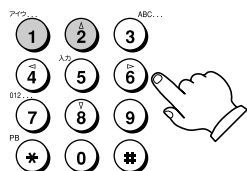


2 ① または ② を押して、予約を解除する通信を選びます。

- ① 「ソウシン」：メモリ送信の中止および送信の予約を解除する
- ② 「ジュシン」：受信の中止、PCプリントの中止およびポーリング受信の予約を解除する

例：「ソウシン」

チュウダ'ン/ヨyakカイジ' ョ(1-2)
1:ソウシン 2:ジ ユシン



「ジュシン」を選んだときは、手順7へ進みます。

3 ボタンを押します。

ソウシン (1-2)
1:ダ イレクト 2:メモリ

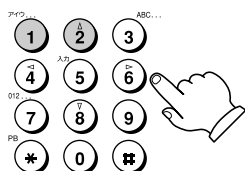


4 ① または ② を押して、予約を解除する送信の種類を選びます。

- ① 「ダイレクト」：原稿をメモリに読み込んでいない場合の送信予約および再ダイヤル送信を解除する
- ② 「メモリ」：原稿をメモリに読み込んでいる場合の送信予約および再ダイヤル送信を解除する

例：「メモリ」

ソウシン (1-2)
1:ダ イレクト 2:メモリ



「ダイレクト」を選んだときは手順7へ進みます。

5 ボタンを押します。

予約されている内容が表示されます。

メモリカイジ' ョ[3]Tソウシン
19 =ツウキエイギ' ョウ



6 原稿台を開け、< ボタン、または > ボタンで、予約を解除する通信を選びます。

メモリカイジ' ョ[1]ト' ウホウ
21 =ツウキケ' ループ



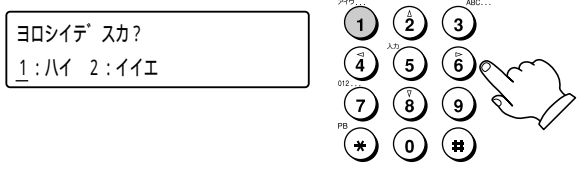
7 ボタンを押します。

ヨロシイデ' スカ?
1:ハイ 2:イイエ



8 ①を押します。

- ① 「ハイ」：選んだ通信の予約を解除する
 - ② 「イイエ」：選んだ通信の予約を解除しない
- 例：「ハイ」



9 セット ボタンを押します。

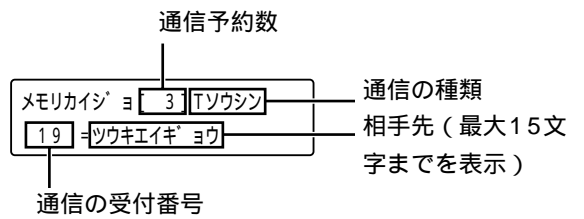
通信の予約が解除されます。



受信の予約を解除したときは「ジュシン ヲ チュウダ'ン シマシタ」と表示されます。

ディスプレイの見方

手順5、6で表示されるディスプレイは以下のように見ます。



通信の種類とディスプレイ表示について

通信の種類	ディスプレイ表示
メモリ送信	ソウシン
順次同報送信	ト' ウホウ
Fネットアクセス通信	Fネット
スキャナ	PCスキャナ
ポーリング通信、掲示板	ポーリング

時刻を指定したときは通信の種類の前に「T」を付加して表示します。
 ダイヤルボタンで送信したとき、またはワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに相手先名を登録していないときは、相手先には電話番号が表示されます。

ワンポイント.....

通信の予約解除を中止するには
 (ストップ) ボタンを押します。

お知らせ

順次同報通信を中断 / 予約解除をしたときは、指定した相手先すべての送信を中断 / 予約解除します。



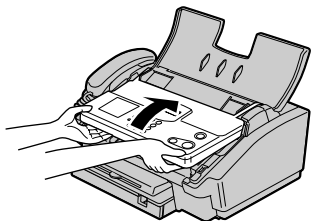
原稿がつまったら

原稿がつまったときは、ディスプレイにエラー番号「030」または「031」が表示され、アラームランプが点灯し、アラーム音が鳴ります。以下のようにしてつまった原稿を取り除いてください。

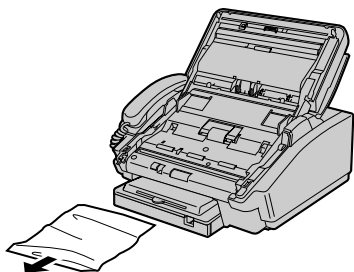
- 1 **ストップ** ボタンを押してアラーム音を止め、原稿台に残っている原稿を取り除きます。



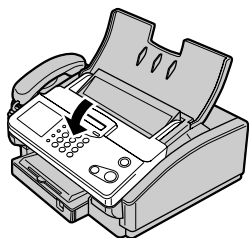
- 2 送信開閉部を開けます。



- 3 つまっている原稿を取り除きます。



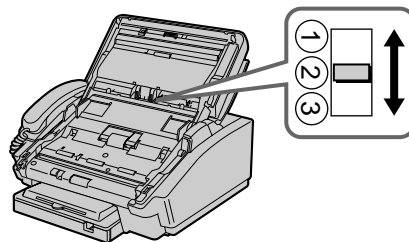
- 4 送信開閉部を閉めます。



自動給紙圧を調整する

原稿が繰り込まれなかったときや、重なって繰り込まれるときは、送信開閉部を開けて自動給紙圧を調整してください。

- 1 紙圧調整スイッチ（青色）を上下に動かして調整します。



こんなときには	スイッチの位置
原稿が繰り込まれない	
標準位置 (通常はここにしておきます)	
2枚以上の原稿が同時に繰り込まれる	

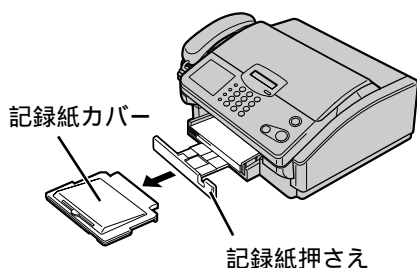


記録紙が詰まったら

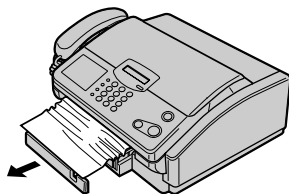
記録紙が詰まったときは、ディスプレイにエラー番号が表示され、アラームランプが点灯し、アラーム音が鳴ります。以下のようにして記録紙を取り除いてください。


エラー番号001が表示されたとき

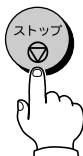
- ① 記録紙カバーを取り外し、記録紙押さえを引き出します。



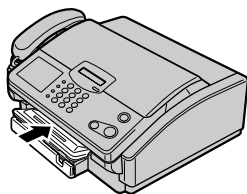
- ② つまった記録紙を取り除きます。






- ③  ボタンを押します。



- ④ 記録紙押さえを戻し、記録紙カバーを取り付けます。

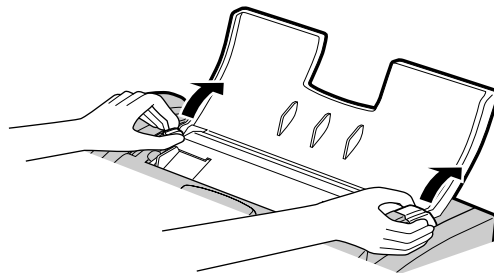


STOP お願い

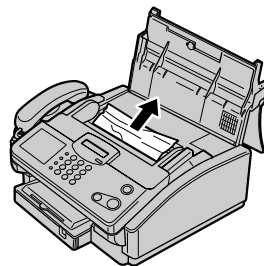
必ずつまった記録紙を取り除いてから  ボタンを押してください。記録紙を取り除く前に  ボタンを押したり、押し忘れたりしたときは、エラーが解除されません。ブックフィーダで読み取った原稿をコピー中に記録紙が詰まったときは、アラーム音が鳴り終わったあと、「1:コピー 2:ソウシン 3:PC」の画面に戻ります。このとき  ボタンを押すと、読み取ったデータが消えてしまうので、「エラー番号002または016が表示されたとき」の手順で記録紙を取り除いてください。

エラー番号002または016が表示されたとき

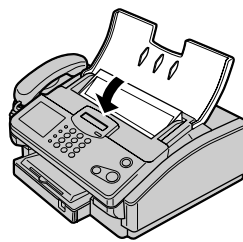
- ① 原稿台を開け、受信開閉部を開けます。



- ② つまった記録紙を取り除きます。



- ③ 受信開閉部と原稿台を閉めます。



STOP お願い

記録紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さずすべて取り除いてください。受信開閉部が確実に閉まっていないと、アラームランプが点灯し、ファクス通信やコピーができなくなります。また、インクが固まる原因となり、プリントできなくなります。インクが固まったときは、固まったインクを取り除いてください。(P132)

⚠ 注意

インクカートリッジの交換や紙づまりなどで開閉部などを開けるときは、突起物に引っかかり、開閉部で手を挟むとけがの原因となることがあります。

1 お使いになる前に

2 電話をかける/受ける

3 ファクスを送る/受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

6 プリンタ/スキャナとして使う

7 ナンバー・ディスプレイを利用する

8 より便利に使う

9 登録/設定の操作/一覧の

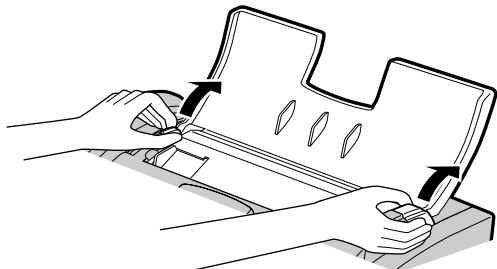
10 こんなときには



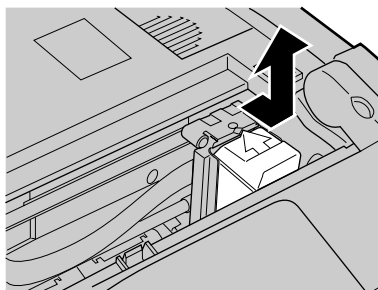
インクカートリッジを交換するには

インクカートリッジのインクがなくなったときは、ディスプレイに「インク ガ アリマセン」と表示され、アラームランプが点灯します。以下のようにしてインクカートリッジを交換してください。

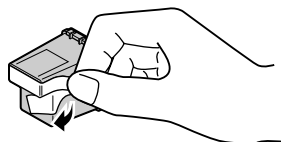
- ① 原稿台を開け、受信開閉部を開けます。



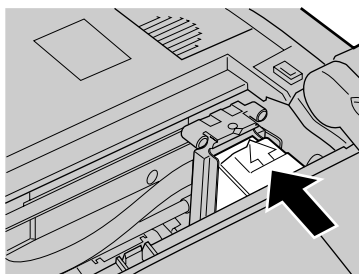
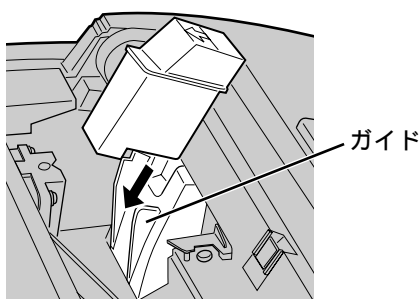
- ② インクカートリッジを取り出します。インクカートリッジ（緑色）を持ち、手前に引いて取り出します。



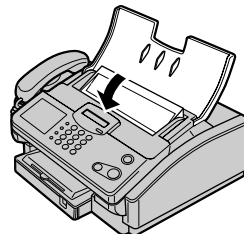
- ③ 新しいインクカートリッジを用意します。新しいインクカートリッジを取り出し、先端のテープをはがします。



- ④ インクカートリッジを取り付けます。ガイドに沿ってインクカートリッジを差し込み、矢印の方向に押しします。

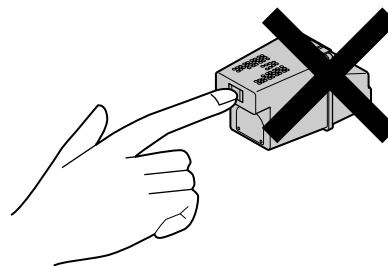


- ⑤ 受信開閉部と原稿台を閉めます。



STOP お願い

インクカートリッジの改造やインクの補充をしないでください。インク漏れなどの故障の原因となります。インクカートリッジの先端部には手を触れないでください。画質異常の原因となります。



受信開閉部が確実に閉まっていないと、アラームランプが点灯し、ファクス通信やコピーができなくなります。また、インクが固まる原因となり、プリントできなくなります。インクが固まったときは、固まったインクを取り除いてください。（●P132）

新品のインクカートリッジに交換しても「インク ガ アリマセン」と表示される場合は、なるべく文字や絵が多い原稿を2～3枚コピーしてから、もう一度そのインクカートリッジをセットしてください。（●P52）

⚠ 注意

インクカートリッジの交換や紙づまりなどで開閉部などを開けるときは、突起物に引っかかり、開閉部で手を挟むとけがの原因となることがあります。

⚠ 警告

インクカートリッジは火の中に絶対に投げないでください。爆発したり激しく燃えて、火災ややけどの原因となることがあります。使用後のインクカートリッジは、ビニール袋などに入れて燃えないゴミとして処理してください。

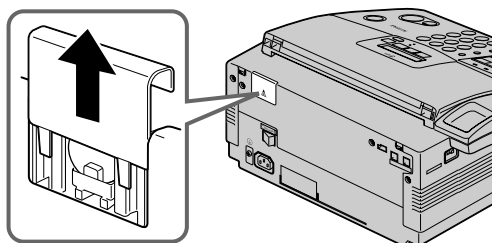
電池を交換するには

停電のときなど電源が切れているときに、日付・時刻や送信予約の指示内容を保持しています。電池がなくなると、ディスプレイに「デンチヲ コウカン シテクダサイ」と表示されます。以下のようにして電池を交換してください。

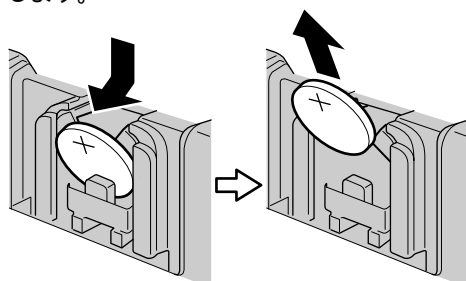
① 「通信の予約を解除するには」の操作（●P126）をして送信予約されている内容がないことを確認します。

② 電源スイッチを「」（切）にします。

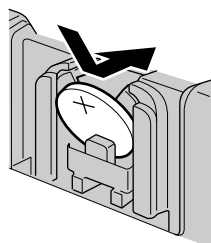
③ 電池カバーを取り外します。



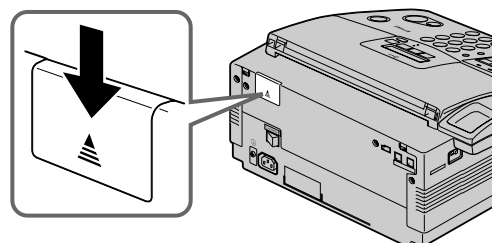
④ 電池を取り外します。電池を下に押し込みながら外側に倒して、取り外します。



⑤ 新しい電池を取り付けます。プラス（+）面を外側にして、下に押し込んで取り付けます。



⑥ 電池カバーを取り付けます。



⑦ 電源スイッチを「I」（入）にします。メモリ受信などの画情報があるときは、自動的にプリントを始めます。

⑧ 日付/時刻を合わせます。（●P25）

電池回収のお願い

不要となった電池は、当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社の販売担当者にお渡しいただければ廃棄します。なお、電池を分別廃棄している市町村がありますので、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄してください。



お知らせ

電池は市販されている電池（CR2032）をご使用ください。

送信予約されている内容があるときは、予約されている送信が終わってから電池を交換してください。

電源が消えた状態で、約1年間日付・時刻や送信予約の指示内容を保持することができます。

STOP お願い

電池を交換するときは、必ず電源スイッチを「」（切）にしてください。

電池の交換が終わったら、できるだけ早く電源スイッチを「I」（入）にしてください。電源スイッチを「」（切）のままにすると電池が消耗します。



警告

電池は、充電、ショート、分解、変形、加熱、火に入れるなどしないでください。この電池は、リチウム、有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、発火、発熱、破裂の原因となることがあります。

電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属と混ぜると発火、破裂の原因となることがあります。

電池は、幼児の手の届かなくところに置いてください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

1 お使いになる前に

2 電話をかける/受ける

3 ファックスを送る/受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

6 プリンタ/スキャナとして使う

7 ナンバーディスプレイを利用する

8 より便利に使う

9 登録/設定の操作/一覧

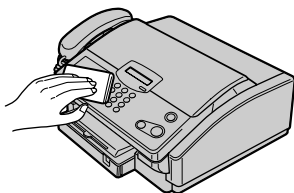
10 こんなときには



お手入れするには

キャビネットのお手入れ

柔らかい布に薄い台所用中性洗剤を含ませよく絞って、汚れをふき取ったあと、からぶきをしてください。



STOP **お願い**

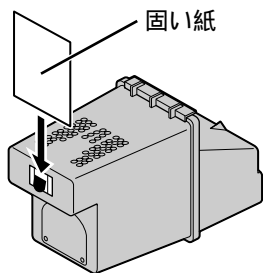
ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、みがき粉、熱湯、アルコールなどは使わないでください。キャビネットが変色したり変形することがあります。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

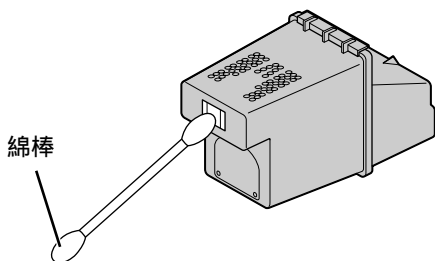
インクヘッドのお手入れ

インクカートリッジを長時間放置して、インクが固まってしまったときは、以下のようにして乾いたインクを取り除いてください。

- 1 乾いたインクは、名刺などの固い紙を使って、取り除いてください。



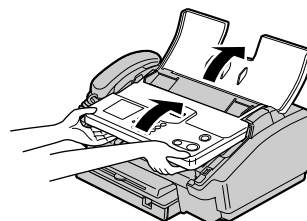
- 2 きれいな布または綿棒を水で少しぬらし、ノズル部を軽くふいてください。



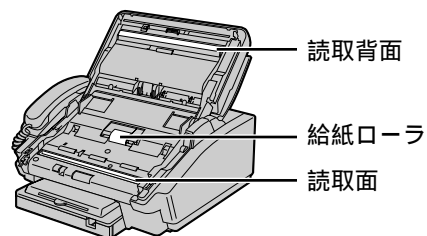
読取部・給紙ローラのお手入れ

相手の方が受信した記録紙や、コピーした記録紙が黒く汚れてきたら、読取部のお手入れをしてください。また、原稿がつかったり、給紙が悪くなってきたときは、給紙ローラのお手入れをしてください。

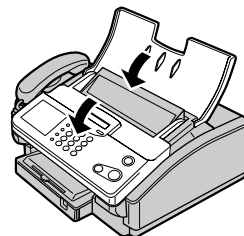
- 1 原稿台を開け、送信開閉部を開けます。



- 2 読取面（ガラス面）、読取背面（白色部）、給紙ローラをふきます。柔らかい布に水を含ませ、よく絞ってからふきます。



- 3 送信開閉部と原稿台を閉めます。



STOP **お願い**

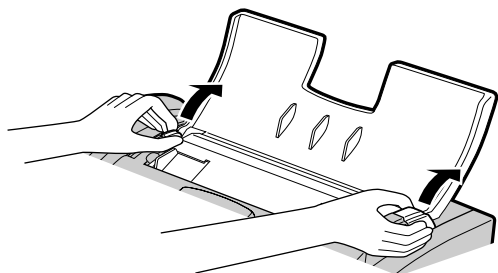
読取面（ガラス面）に傷をつけないようご注意ください。

ローラをふくときは、ふいたあとにゴミの残るティッシュペーパーなどは使わないでください。

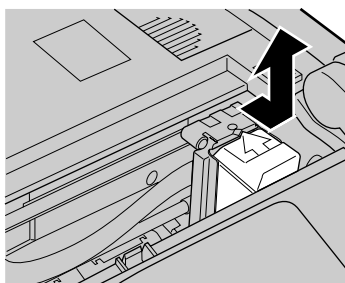
インクカートリッジのお手入れ

受信した原稿やコピーした原稿の内容が白く抜けたり、かすれたりしたときは、インクカートリッジのお手入れをしてください。

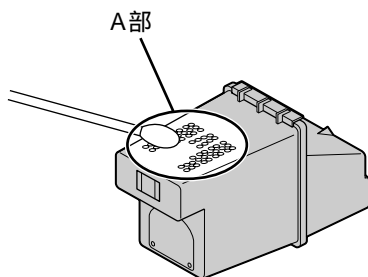
- ① 原稿台を開け、受信開閉部を開けます。



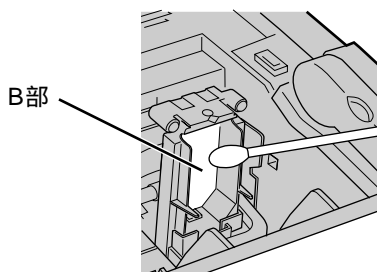
- ② インクカートリッジを取り出します。インクカートリッジ（緑色）を持ち、手前に引いて取り出します。



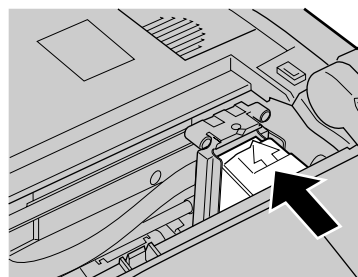
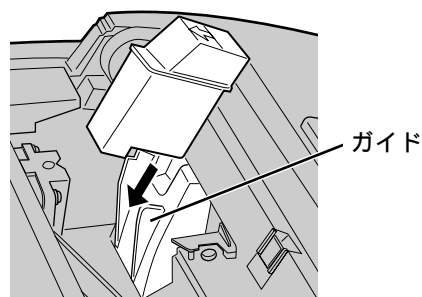
- ③ インクカートリッジと本体内部をふきます。綿棒でA部をふきます。



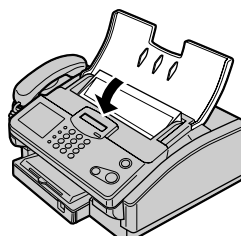
本体内部のB部をふきます。



- ④ インクカートリッジを取り付けます。ガイドに沿ってインクカートリッジを差し込み、矢印の方向に押しします。



- ⑤ 受信開閉部と原稿台を閉めます。



STOP お願い

受信開閉部が確実に閉まっていないと、アラームランプが点灯し、ファクス通信やコピーができなくなります。また、インクが固まる原因となり、プリントできなくなります。インクが固まったときは、固まったインクを取り除いてください。(P132)

⚠ 注意

インクカートリッジの交換や紙づまりなどで開閉部などを開けるときは、突起物に引っかいたり、開閉部で手を挟むとけがの原因となることがあります。

1 お使いになる前に

2 電話をかける / 受ける

3 ファクスを送る / 受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

6 プリンタ/スキャナとして使う

7 ナンバー・ディスプレイを利用する

8 より便利に使う

9 登録 / 設定の操作 / 一覧の

10 こんなときには



故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理をご依頼になる前に次の点をご確認ください。

	こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
一般	ディスプレイに何も表示されない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに正しく接続してください	●P21
		電源スイッチが「」（切）になっている	電源スイッチを「I」（入）にしてください	●P18
	ダイヤル終了後、呼出音が聞こえはじめるまでの時間が長い	相手の方がナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、長くなる場合があります	故障ではありません	
ファクス	原稿が引き込まれない	原稿の紙が厚すぎる	ブックフィーダで原稿を読み取ってください	●P54
		自動給紙圧の調整が合っていない	自動給紙圧の調節をしてください	●P128
		原稿を21枚以上入れている	21枚目からは1枚ずつ入れてください	●P42
		給紙ローラが汚れている	汚れをふき取ってください	●P132
	送信できない	原稿がセットされていない	原稿をセットしてください	●P42
	受信（コピー）ができないまたは白紙になる	記録紙がない	記録紙をセットしてください	●P23
		セレクト受信を設定している	セレクト受信の設定を解除してください	●P117
			相手先の電話番号を正しく登録してください	●P56、58
		相手先が原稿を表裏逆に入れている	相手先に確認してください	
		コピー原稿が表向きにセットされている	裏向きにセットしてください	●P42
		受信開閉部が開いている	受信開閉部を正しく閉めてください	
		インクカートリッジの異常	インクカートリッジを交換してください	●P130
		受信（コピー）したとき黒い筋や点がプリントされる	インクカートリッジの異常	インクカートリッジを交換してください
	受信（コピー）記録が薄いまたは部分的にプリントされない	指定の記録紙を使っていない	指定の記録紙をお使いください	●P23
		原稿が薄い鉛筆で書かれている	（受信）相手先に確認してください	
			（コピー）読み取り濃度を「コク」にしてください	●P85
		記録紙が湿気を含んでいる、または折り目やシワがある	新しい包装の記録紙を補充してください	●P23
インクカートリッジの異常	インクカートリッジを交換してください	●P130		

	こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
ファクス	送信（コピー）した原稿の画質が悪い	読取部が汚れている	汚れをふき取ってください	●P132
	受信（コピー）原稿の画質が悪い	電話回線の状態が悪い	相手先へもう一度送信を依頼してください	
		ファクス受信中にキャッチホンの着信があった	相手先へもう一度送信を依頼してください	
		指定の記録紙を使っていない	指定の記録紙をお使いください	●P23
		インクカートリッジが汚れている	インクカートリッジのお手入れをしてください	●P133
	記録紙が出てこない	記録紙が正しくセットされていない	記録紙を正しくセットしてください	●P23
		記録紙がつまっている	つまった記録紙を取り除いてください	●P129
		記録紙が無くなっている	新しい記録紙をセットしてください	●P23
		メモリ受信にセットされている	故障ではありません 受信内容はメモリに保存されています	●P88
	サイファ通信ができない	相手先のサイファキーと合っていない	相手先とサイファキーを合わせてください	●P124
		相手先にサイファ通信機能がない	この場合はサイファ通信できません 通常の送信操作をしてください	
		ファクシミリ通信網を利用してサイファ通信をしている	この場合はサイファ通信できません	
		サイファキーを登録していない	サイファキーを登録してください	●P124
ID番号を正しく登録していない		ID番号を正しく登録してください	●P26	
メモリに読み込まれている原稿の送信を解除またはプリントしてもメモリの使用量が変わらない	送信を解除またはプリントしたメモリ内容が少ないときはディスプレイのメモリ使用量が変わらない場合があります	故障ではありません		
PCプリントができない	パソコンなどの設定がダイヤルトーン検出後に発信する設定になっていると、PCプリントができない場合があります	ダイヤルトーンを検出しない設定にしてください (詳しくはパソコンなどに添付された取扱説明書をご覧ください)	●P68	
モデム ダイヤル イン	受信ができない	ファクス用の内線指定番号を正しく登録していない	ファクス用の内線指定番号を正しく登録してください	●P112



故障かな？と思ったら

	こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
電話	ファクスが使えない、またはハンドセットを取りあげても「ツー」という発信音が聞こえない	お手持ちの電話機が使用中	お手持ちの電話機が使用中のときは、ファクスは使えません	
		電話機コードが正しく接続されていない	正しく接続してください	●P21
	呼出音が鳴らない	呼出音が「切」になっている	音量小、音量大ボタンを押して、聞きやすい音量に調節してください	●P32
	モニタボタンを押したとき「ツー」という発信音が聞こえない	モニタ音量が「切」になっている	音量小、音量大ボタンを押して、聞きやすい音量に調節してください	●P31
	電話はかかってくるが、かけても相手につながらない	電話回線の種別が正しく設定されていない	電話回線の種別を正しく設定してください	●P22
	お手持ちの電話機から電話がかけられない	ファクスが使用中	終了後にかけてください	
	リモート受信できない	お手持ちの電話機がファクスと正しく接続されていない	正しく接続してください	●P21
		リモート受信が「シナイ」に設定されている	リモート受信を「スル」に設定してください	●P117
		お手持ちの電話機からかけている	この場合はできません	
	留守番電話機に相手の声が録音されない	留守番電話機の用件がいっぱいになっている	留守番電話機の取扱説明書に従って用件を消去してください	
		手動送信のファクスを受信している	この場合は相手の声は録音されません	
		留守受信に設定されていない	留守ランプを点灯させてください	●P40
			留守受信の設定を「留守番電話機接続モード」にしてください	●P112
	電話がかかってきたとき、接続してあるお手持ちの電話機で受けたときに「ブルブル」という音が聞こえる	ダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイをご利用になっていて、親子電話を「スル」に設定しているときは「ブルブル」という音が聞こえることがあります	故障ではありません	
	お手持ちの電話機に発信電話番号が表示されない	本装置に接続された単体電話機等では、ナンバー・ディスプレイ(発信電話番号表示サービス)は利用できません	故障ではありません	



主なエラー番号

ディスプレイや通信管理レポートなどにエラー番号が表示またはプリントされたときは、番号に対する処置をしてください。それでもエラーが発生し続ける場合は、局番なしの113番へご連絡ください。

エラー番号	原因	処置	参照ページ
001、002、016	記録紙づまり	つまった記録紙を取り除いてください	●P129
010	記録紙がない、または残り少ない	記録紙をセットしてください	●P23
014	インクカートリッジが入っていない	インクカートリッジをセットしてください	●P24
015	インクカートリッジのインクがきれている	インクカートリッジを交換してください	●P130
030	原稿が繰り込まれない	原稿をセットし直してください	●P42
		自動給紙圧を調整してください	●P128
031	原稿の長さが1 mを超えている	原稿を1 m以内にしてください	●P42
	原稿づまり	つまった原稿を取り除いて、セットし直してください	●P128
060	受信開閉部が開いている	受信開閉部を正しく閉めてください	
061	送信開閉部が開いている	送信開閉部を正しく閉めてください	
400、402、404、405、407～410、412、416～495	回線異常、または相手機異常 (400または420のときは相手機がファクスでないことがあります)	相手に確認して、もう一度通信してください	
403	ポーリング受信時、相手にポーリング機能がない	ポーリング受信できません	
	ポーリング受信時、相手がポーリング送信をセットしていない	相手にポーリング送信をセットしてもらってください	
406	セレクト受信設定時、相手のID番号が違うため正常に受信できない	セレクト受信を「シナイ」に設定してください	●P117
		相手のID番号を確認してください	●P90
411、414、415	ポーリング通信時、相手とパスワードが一致しない	ポーリング通信用のパスワードを確認して、もう一度通信してください	●P123
564	相手にサイファ通信機能がない	サイファ送信を指定しないで、送信してください	
566、567	サイファキーが違うため正常に通信できない	サイファキーを相手と合わせてください	●P124
623	原稿が正しくセットされていない	原稿をセットし直してください	●P42
630	自動再ダイヤルをしてもつながらない	もう一度通信してください	
634	自動再ダイヤルをしてもつながらない	相手の方がファクスでない場合があります。番号を確認してから、もう一度通信してください。	
636	サイファキーNo.に対応するサイファキーが登録されていない	サイファキーを登録してください	●P124
638	通信中、電源が切れた	電源が入ってから、もう一度通信してください	
870	原稿読み取り中、メモリがいっぱいになった	相手に何ページまで送信したかを確認し、残りの原稿を送信し直してください	●P74
879	代行受信またはメモリ受信時、メモリがいっぱいになった	メモリに受信された内容をプリントしてください	●P88

ここに示した以外エラー番号が表示またはプリントされた場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 ファクスを送る／受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

6 プリンタ／スキャナとして使う

7 ナンバーディスプレイを利用する

8 より便利に使う

9 登録／設定の操作一覧

10 こんなときには



主な仕様

外観・仕様などは改良のため予告なしに変更することがあります。

認定機種名 G3 - 50 J11 - FAX

型名	NTTFAX J-11
使用回線	一般加入電話回線、ファクシミリ通信網(*1)
圧縮方式	MH・MR・MMR
通信モード	G3(*2) ECM
走査方式	CCDによる固体平面走査
走査線密度	主：8本/mm(標準/ファイン/スーパーファイン) 副：3.85本/mm(標準)、7.7本/mm(ファイン)、15.4本/mm(スーパーファイン：送信時のみ)(*3)
記録方式	インクジェットによる普通紙記録
表示装置	液晶ディスプレイ(20桁×2行)
通信速度	14 400 / 12 000 / 9 600 / 7 200 / 4 800 / 2 400 bit/s：自動フォールバック
電送時間	約6秒(*4)
中間調電送	あり(64階調)
記録紙サイズ	A4(カット紙)
原稿サイズ	最大257×1 000 mm 最小148×105 mm
有効記録幅	203 mm
有効読取幅	252 mm(B4) 208 mm(A4)
外付電話端子出力電流	20 mA
直流抵抗値	277
大きさ	幅約380×奥行約374×高さ196 mm(突起部を除く)
重さ	約8.2 kg(記録紙を除く)
電源	AC 100 ±10 V 50 / 60 Hz
消費電力	約11 W(待機時) 約54 W(最大)
使用環境	温度 5～35 湿度 15～85 %

*1 本装置は1 300 Hz対応機です。

*2 本装置で送受信できるのは、相手側もG3規格のファクシミリに限られます。

*3 ITU-T(国際規格)準拠

*4 A4判700字程度 of 原稿を標準的画質(8×3.85本/mm)で高速モード(14 400 bit/s)で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送速度で通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機、回線の状態によって異なります。



保守サービスのご案内

保守サービスのご案内

保証について

保証期間(1年間)中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。(詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。)

保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心してご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	修理に要した費用をいただきます。 (修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。) (故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。) 当社のサービス取扱所まで本商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

故障した場合のお問い合わせは

局番なしの113番へご連絡ください。

お話し中調べ

局番なしの114番へご連絡ください。

その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター：☎0120-109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、最低7年間保有しています。

リモートメンテナンスサービスについて

ファクスの登録内容や通信状況などを当社のサービス取扱所の操作で自動的に取り出し保守します。リモートメンテナンスを「スル」に設定してください。(●P118)

お買い求めのときは「シナイ」に設定されています。

1 お使いになる前に

2 電話をかける/受ける

3 ファックスを送る/受ける

4 コピーをする

5 電話番号や名前を登録して使う

6 プリンタ/スキャナとして使う

7 ナンバーディスプレイを利用する

8 より便利に使う

9 登録/設定の操作/一覧の

10 こんなときには



索引

アルファベット

DP PB切替	35
FAX情報取出アシスト	96
登録	97
FAX情報ボタン	19
Fネット	106
Fネットアクセス	106
Fネット一般送信	108
Fネット親展受信	109
Fネット親展送信	108
Fネット同報送信	108
Fネット夜間配送	108
Fネット夜間配送を取り消す	109
Fネットボタン	19
ID番号(電話番号)	
登録	26,123
PCスキャナボタン	19
PC接続	67,118

五十音

【ア行】

アース端子	18
宛先カード	134
アラームランプ	20
暗証番号変更	124
インクカートリッジ	17,24,130,133,134
インクヘッド	132
液晶ディスプレイ	18
エコノミーモード	91,122
親子電話	36,38,118
保留転送	38
おやすみランプ	20
オンフック受信	50,117
オンフックダイヤル	31
オンフックボタン	19
オンフックランプ	20
音量	
受話音量を調節する	30
モニタ音量を調節する	31
呼出音量を調節する	32
音量小ボタン	19
音量大ボタン	19

【カ行】

海外通信	84
海外通信ボタン	19
回線種別切替スイッチ	18

回線用差込口	18
画質ボタン	19
切り捨て	91,122
記録紙	
セットする	23
つまったら	129
記録紙カセット	18
記録紙スタッカ	18
クリアボタン	19
グループダイヤル	
登録	60,114
掲示板	94
原稿	
画質を選ぶ	44
原稿の大きさと読み取りできる範囲	43
原稿の読み取り濃度を設定する	85
セットする	42
つまったら	128
原稿ガイド	18
原稿台	18
子機ボタン	19
コピーする	52

【サ行】

再ダイヤル	
電話をかける	34
ファクスを送る	47
再ダイヤル送信	47
再ダイヤルボタン	19
サイファキー	
短縮ダイヤルに登録する	99,114
登録	124
登録用暗証番号を登録する	124
ワンタッチダイヤルに登録する	99,114
サイファキー登録用暗証番号	
登録	124
サイファキーリスト	124
サイファ受信	100
サイファ送信	100
サイファ送信ボタン	19
サイファ通信	98
自動再ダイヤル	46,47,123
自動縮小	91,122
自動受信	48,112
自動受信ランプ	20
自動送信	46
受信	
Fネット親展受信	109
おやすみ受信	49
オンフック受信	50
サイファ受信	100
自動受信	48



索引

通信管理レポート	110
プリント設定	116
通信結果レポート	
種類	116
プリント設定	116
通信の予約解除	126
停電	135
電源コード差込口	18
電源スイッチ	18
電池カバー	18
電話回線の種別	22
電話がかかってきたとき	32
相手の方に待っていただく	33
外からの電話を取りつく	38
電話機呼出回数	48,112
電話帳ダイヤル	
電話をかける	63
ファクスを送る	66
電話帳ボタン	19
電話をかける	30
再ダイヤル	34
短縮ダイヤルでかける	62
電話帳ダイヤルでかける	63
発信電話番号にかける	73
ワンタッチダイヤルでかける	62
登録	
FAX情報取出アシストをワンタッチ	
ダイヤルに登録する	97
ID番号(電話番号)	26,123
グループダイヤル	60,114
サイファキー	124
サイファキーを短縮ダイヤルに登録する	99,114
サイファキーをワンタッチダイヤルに	
登録する	99,114
サイファキー登録用暗証番号	124
送受信通知先を短縮ダイヤルに	
登録する	104,114
送受信通知先をワンタッチダイヤルに	
登録する	104,114
短縮ダイヤル	58,114
着信先指定を短縮ダイヤルに登録する	114
着信先指定をワンタッチダイヤルに	
登録する	114
発信番号着信音を短縮ダイヤルに	
登録する	114
発信番号着信音をワンタッチ	
ダイヤルに登録する	114
発信元データ	26,123
ポーリングパスワード	123
メモリ受信リモート取り出し用	
パスワード	123
ワンタッチダイヤル	56,114
時計セット	25,123

【ナ行】

内線通話	36,38
内線電話	
送受信通知	102
ナンバー・ディスプレイ	70
サービスを利用した便利な機能	71
受信した電話番号に電話をかける	73
受信した電話番号を個別に消去する	73
受信した電話番号を表示させる	73
停電のときの電話の受け方	72
電話がかかってきた/ ファクスが送られてきたとき	70
電話をかける/ファクスを送るとき	70
発信電話番号蓄積	71,118
発信電話番号着信音設定	71,114,118
発信電話番号着信先指定	71,114,118
モデムダイヤルイン	71,112

【ハ行】

ハイフンボタン	19
パソコンに接続する	67
発信電話番号蓄積	71
発信電話番号蓄積を設定する	118
発信電話番号着信音設定	71
短縮ダイヤルに登録する	114
着信音設定をする	118
ワンタッチダイヤルに登録する	114
発信電話番号着信先指定	71
短縮ダイヤルに登録する	114
着信先指定を設定する	118
ワンタッチダイヤルに登録する	114
発信元記録	120
発信元データ	
登録	26,123
ハーフトーンランプ	20
パラメータリスト	110
ハンドセット	18
ハンドセットコード	18
ハンドセットコード差込口	18
日付/時刻を合わせる	25,123
ファインランプ	20
ファクシミリ情報	96
FAX情報取出アシストを	
ワンタッチボタンに登録する	97
Fネット方式で取り出す	96
ガイダンス方式で取り出す	96
ポーリング方式で取り出す	96
ワンタッチボタンを使って取り出す	97
ファクシミリ通信網	106

ファクスを受ける

お手持ちの電話機で受ける	51
おやすみ受信	49
オンフック受信	50
自動受信	48
手動受信	49,50
ベル回数を設定する	123
メモリ代行受信	48
リモート受信	51
留守受信	49

ファクスを送る

再ダイヤル送信	47
自動再ダイヤル	47
自動送信	46
手動送信	45
短縮ダイヤルで送る	65
電話帳ダイヤルで送る	66
ワンタッチダイヤルで送る	64

ファクスを接続する

ファクションボタン	19
ブックフィーダ	54
プッシュホンサービス	35
プリンタとして使う	68
分割重ね書き	91,122
ページ合成受信	91,117
ベル回数	48,123
ポーズボタン	19
ホームポジション	85,120
保留	33
保留転送	38
保留ボタン	19
ポーリング受信	94
ポーリング受信ボタン	19
ポーリング送信	94
ポーリング通信	94
ポーリングパスワード	
登録	123

【マ行】

メモリ受信	88
メモリ受信リモート取り出し	89
パスワードを登録する	123
メモリ送信	74
メモリ送信ボタン	19
メモリ代行受信	48
メモリランプ	20
文字の入力	28
モデムダイヤルイン	71
モデムダイヤルインを設定する	112
モード選択ボタン	19
モニタ音量を調節する	31

【ヤ行】

優先通信	78
優先通信ボタン	19
呼出音量を調節する	32

【ラ行】

ランプ表示	20
リスト・レポート	
サイファキーリストをプリントする	124
リストやレポートをプリントする	110
リモート受信	51
リモートメンテナンス	118,141
留守受信	49
留守番電話機	
接続して使うには	40
留守録無音検出を設定する	120
留守ランプ	20
留守録無音検出	40,41,120

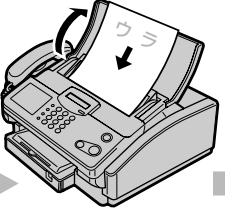


【ワ行】

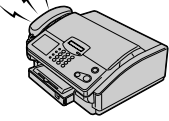
ワンタッチダイヤル	
電話をかける	62
登録	56
ファクスを送る	64
ワンタッチボタン	19

NTTFAX J-11 操作ガイド

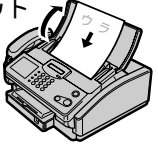



電源スイッチは、常に「 | 」(入)の状態にしてください。

詳しくは取扱説明書をご覧ください。

ファクスを送る	モード選択	原稿セット (P42)	画質の設定 (P44)	自動送信 (P46)	自動的にダイヤルします。	送信を開始します。 送信終了
	モード選択ボタンを押して、通信モードを選びます。	送る面を下にして、原稿をセットします。 	原稿の文字の大きさに合わせて、画質ボタンを押してモードを選びます。 	 <p>以下いずれかの操作でも送信できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワンタッチダイヤル (P64) 短縮ダイヤル (P65) 電話帳ダイヤル (P66) 		
	モード選択	原稿は一度に20枚までセットすることができます。	画質	手動送信 (P45)		

ファクスを受ける	手動受信 (P50)	呼出音が鳴ります。 	相手の方がファクスするとき	相手の方が電話するとき	相手の方が自動送信のときは、「ポー・ポー...」という音が聞こえます。	ファクスの受信を開始します。	ハンドセットを置きます。	受信終了
	相手の方が電話するとき	相手の方が電話するとき	相手の方が電話するとき	相手の方が電話するとき	相手の方が電話するとき	相手の方が電話するとき	相手の方が電話するとき	相手の方が電話するとき

日付/時刻を合わせる (P25)	ファンクション	6	セット 2回押す	日付と時刻を入力します。	セット	セット終了
			現在の日付と時刻が表示されます。	時刻は24時間制で入力してください。		

コピーする (P52)	モード選択	原稿セット (P42)	画質の設定 (P44)	コピーする部数を入力します。	コピーが終了します。
	モード選択ボタンを押して、コピーモードを選びます。	コピーする面を下にして、原稿をセットします。 	原稿の文字の大きさに合わせて、画質ボタンを押してモードを選びます。 	 <p>最大99部まで設定できます。</p>	<p>原稿の読み取りを開始します。部数が1部の場合はコピーを開始します。</p> 

NTTFAX J-II 操作ガイド

電源スイッチは、常に「|」(入)の状態にしてください。

詳しくは取扱説明書をご覧ください。

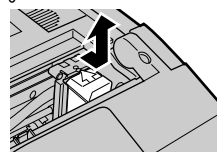
インクカートリッジを交換する

(P130)

原稿台を開け、受信開閉部を開けます。

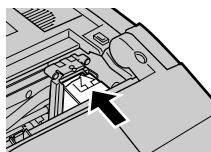


インクカートリッジ(緑色)を持ち、手前に引いて取り出します。

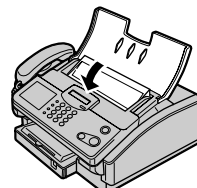


新しいインクカートリッジは、先端のテープをはがしておきます。

インクカートリッジを取り付けます。インクカートリッジを差し込み、矢印の方向に押しします。



受信開閉部と原稿台を閉めます。



注意

インクカートリッジの交換や紙づまりなどで閉閉部などを開けるときは、突起物に引っ掛けたり、閉閉部で手を挟むとけがの原因となることがあります。

警告

インクカートリッジは火の中に絶対に投げないでください。爆発したり激しく燃えて、火災ややけどの原因となることがあります。使用後のインクカートリッジは、ビニール袋などに入れて燃えないゴミとして処理してください。

本や厚い原稿を読み取る

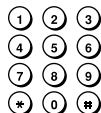
(P54)

モード選択ボタンを押して、ブックモードを選びます。



① または ② を押して、原稿サイズを選びます。

- ① 「B4」：原稿がA4サイズより大きいとき
- ② 「A4」：原稿がA4サイズより小さいとき

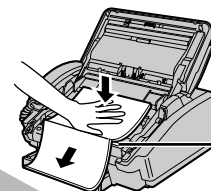


セット

原稿台を開け、送信開閉部を開けます。



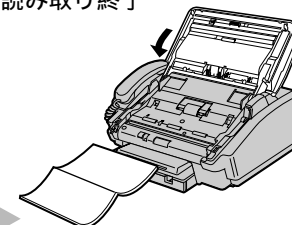
本の中央を緑色のシールに合わせて、軽く本を押さえてください。



緑色のシール

「ピピピピッピー」と鳴り、本が動き始め、読み取りを始めます。

本が送り出され、1ページ分の読み取りが終わりです。読み取り終了

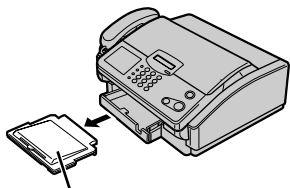


続けて他のページを読み取るときは1つ前の手順から行ってください。読み取りが終わったら送信開閉部を閉めてください。

記録紙のセット

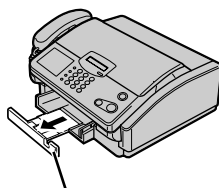
(P23)

記録紙カバーを取り外します。



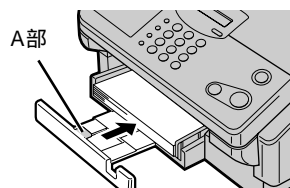
記録紙カバー

記録紙押さえを引き出します。



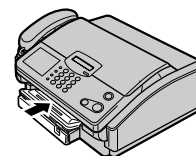
記録紙押さえ

記録紙をA部より下にセットします。



記録紙押さえを使って記録紙の先端をそろえてください。

記録紙押さえを戻し、記録紙カバーを取り付けます。



注意

原稿の読み取り中は、髪の毛やネックレスなどがローラに巻き込まれないようご注意ください。巻き込まれるとけがや本装置の故障の原因となることがあります。

注 意

本製品は、外国為替および外国貿易法が定める規制貨物に該当いたします。
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.



この取扱説明書は、
エコマーク認定の
再生紙を使用して
います。

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ： ☎ 0120 - 109217

トークニーナ

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。



©1999 NTT EAST・NTT WEST

本1729-8(2000.5)

J-11トリセツ

A08971-7050

DZSD000617-7